

平成 30 年度  
牧之原市 市民意識調査

～ 報 告 書 ～

平成 30 年 6 月  
牧 之 原 市



1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
(1) 調査結果の要約	2
①牧之原市での暮らしについて	2
②原子力発電について	2
③子育て環境について	3
④“公共施設の更新問題”について	3
⑤産業・雇用について	4
⑥地域活動について	5
⑦市からの情報発信について	6
⑧牧之原市の行政サービスについて	7
⑨全ての取り組みの満足度・重要度の評価点順位	8
(2) 調査結果の詳細	9
①牧之原市での暮らしについて	9
(1) 今後の居住継続意向	9
(2) 他の場所へ移りたい理由	11
(3) 今現在、幸せだと思うか	14
(4) 幸せだと思う理由	16
②原子力発電について	19
(5) 浜岡原子力発電所の今後について	19
③子育て環境について	21
(6) 牧之原市は子どもを産み育てやすい環境か	21
(7) 子どもを産み育てやすい環境にするため市が取り組むべきこと	23
④“公共施設の更新問題”について	26
(8) “公共施設の更新問題”の把握状況	26
(9) “公共施設の更新問題”への牧之原市の取り組みの把握状況	28
(10) “公共施設の更新問題”への牧之原市の取り組みの情報源	30
(11) 施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか	33
⑤産業・雇用について	35
(12) 市の産業に活力があると思うか	35
(13) 活力があると思う産業	37
(14) 産業が活力を持つために市が力を入れるべき取り組み	39
⑥地域活動について	42
(15) 週あたりの外出頻度	42
(16) 外出の目的	44
(17) 週あたりの30分以上の運動をする頻度	47
(18) 現在参加している地域活動	49
(19) 地域活動の活発・活性化に必要なこと	52

⑦市からの情報発信について	55
(20) 市から得たい情報	55
(21) 市からの情報の情報源	58
(22) 読んでいる広報まきのはらのページ	61
(23) 広報まきのはらの構成や内容について ①文字の大きさ	64
(24) 広報まきのはらの構成や内容について ②文字の量	66
(25) 広報まきのはらの構成や内容について ③ページ数	68
(26) 広報まきのはらの構成や内容について ④見やすさ	70
(27) 広報まきのはらの構成や内容について ⑤内容	72
⑧牧之原市の行政サービスについて	74
(28) 満足度・重要度について	74
(29) 満足度・重要度【健康福祉】	75
(30) 満足度・重要度【教育文化】	78
(31) 満足度・重要度【産業経済】	81
(32) 満足度・重要度【生活基盤】	84
(33) 満足度・重要度【防災】	87
(34) 満足度・重要度【市政経営】	90
⑨回答者自身のことについて	93
(35) 回答者の属性 ①性別	93
(36) 回答者の属性 ②年齢	93
(37) 回答者の属性 ③同居世帯の構成	94
(38) 回答者の属性 ④子どもの有無・一番上の子どもの年ごろ	94
(39) 回答者の属性 ⑤職業	95
(40) 回答者の属性 ⑥居住地域	95

3. 調査票	96
--------	----

# 1. 調査概要

## (1) 調査の目的

この調査は、市の様々な取り組みに対する市民の意識を把握し、市政に反映させるとともに、平成27年度からスタートした第2次総合計画推進のための資料とすることを目的としています。

## (2) 調査項目

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| ①牧之原市での暮らしについて | ②原子力発電について         |
| ③子育て環境について     | ④“公共施設の更新問題”について   |
| ⑤産業・雇用について     | ⑥地域活動について          |
| ⑦市からの情報発信について  | ⑧牧之原市の行政サービスについて   |
| ⑨回答者自身のことについて  | ⑩日ごろ思うこと（自由意見）【別冊】 |

## (3) 調査の設計

- ・調査対象：牧之原市在住（市内に住民票がある人）の16歳以上の男女
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・調査期間：平成30年4月27日～平成30年5月11日
- ・発送数：1,400人

## (4) 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,396人	796票	57.0%

※抽出数は1,400人であるが、事前転居や宛先不明により市内に居住が認められない4人については対象外とした。

※回収数801票のうち、無効票は5票

## ◎報告書を見る際の注意事項

- ・回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しています。
- ・百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ・1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ・選択肢の文章が長い場合、グラフ上では省略して表記していることがあります。
- ・サンプル数が少ないものについては、コメントを割愛しています。

## 2. 調査結果

### (1) 調査結果の要約

#### ①牧之原市での暮らしについて

##### 6割以上が今の居住場所に「住み続けたい」

##### 問1 今後の居住継続意向

今後の居住継続意向は、「住み続けたい」が62.2%と最も多く、次いで「市外へ移りたい」が17.2%、「わからない」が13.9%などとなっています。

##### 「公共施設や大きな商店がない」、「被災のおそれがある」が約半数

##### 問2 他の場所へ移りたい理由

他の場所へ移りたい理由は、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が50.5%と最も多く、次いで「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が50.0%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が39.6%などとなっています。

昨年度と比較すると、「人間関係やしきたり等が煩わしいから」(昨年度19.8%)が6.0ポイント高く、「勤めたい会社が市内にないから」(昨年度7.8%)が5.1ポイント低くなっています。

##### 約7割が幸せだと『思う』

##### 問3 今現在、幸せだと思うか

今現在、幸せだと思うかについては、「ある程度思う」が51.1%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が19.7%、「大いに思う」が17.5%などとなっています。また、『思う』(「大いに思う」+「ある程度思う」)は68.6%、『思わない』(「あまり思わない」+「まったく思わない」)は9.7%となっています。

##### 「健康」、「家族や友人との関係」が半数以上

##### 問4 幸せだと思う理由

幸せだと思う理由は、「健康であるから」が58.6%と最も多く、次いで「家族や友人との関係が良好だから」が55.3%、「住まいがあるから」が48.2%などとなっています。

#### ②原子力発電について

##### 約半数が浜岡原子力発電所は「停止しておいたほうがよい」

##### 問5 浜岡原子力発電所の今後について

浜岡原子力発電所の今後については、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が49.4%と最も多く、次いで「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が23.6%、「どちらともいえない」が17.3%などとなっています。

## ③子育て環境について

子どもを産み育てやすい環境と『思う』が3割以上、  
『思わない』が約2割、「どちらともいえない」が2割以上

## 問6 牧之原市は子どもを産み育てやすい環境か

牧之原市は子どもを産み育てやすい環境かについては、「ある程度思う」が30.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が25.0%、「あまり思わない」が16.3%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は34.8%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は20.7%となっています。

「医療機関の充実」が約7割と、次点の「経済的支援」を2割以上上回る

## 問7 子どもを産み育てやすい環境にするため市が取り組むべきこと

子どもを産み育てやすい環境にするため市が取り組むべきことは、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が68.8%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が44.0%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が33.7%などとなっています。

## ④“公共施設の更新問題”について

「聞いたことがある」が約4割、「知っている」・「知らない」がそれぞれ約3割

## 問8 “公共施設の更新問題”の把握状況

“公共施設の更新問題”の把握状況は、「聞いたことがある」が41.6%と最も多く、次いで「知らない」が28.5%、「知っている」が28.0%となっています。

「知っている」が約1割、「知らない」が6割以上

## 問9 “公共施設の更新問題”への牧之原市の取り組みの把握状況

“公共施設の更新問題”への牧之原市の取り組みの把握状況は、「知らない」が62.1%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が25.0%、「知っている」が10.1%となっています。

6割以上が「広報まきのはら」で牧之原市の取り組みに関する情報を入手

## 問10 “公共施設の更新問題”への牧之原市の取り組みの情報源

“公共施設の更新問題”への牧之原市の取り組みの情報源は、「広報まきのはら」が65.6%と最も多く、次いで「家族や知人」が29.7%、「市民グループの会合」が15.4%などとなっています。昨年度と比較すると、「広報まきのはら」（昨年度70.6%）が5.0ポイント低くなっています。

施設の廃止や使用料の値上がりを『容認できる』が8割以上

## 問11 施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか

施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるかについては、「ある程度までは容認できる」が72.4%と最も多く、次いで「容認できない」が13.6%、「容認できる」が10.6%となっています。また、『容認できる』（「容認できる」＋「ある程度までは容認できる」）は、83.0%となっています。

## ⑤産業・雇用について

市の産業に活力があると『思う』が約1割、  
『思わない』が約4割、「どちらともいえない」が3割以上

### 問 12 市の産業に活力があると思うか

市の産業に活力があると思うかについては、「どちらともいえない」が 33.9%と最も多く、次いで「あまり思わない」が 32.0%、「わからない」が 11.7%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は 11.3%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は 41.7%となっています。

「工業」に活力があると思う人が6割以上

### 問 13 活力があると思う産業

活力があると思う産業は、「工業」が 63.3%と最も多く、次いで「農業」が 42.2%、「商業」が 17.8%などとなっています。

昨年度と比較すると、「水産業」（昨年度 13.5%）が 5.7 ポイント低くなっています。

「企業誘致」、「後継者の育成」、「市外へのPR」が上位

### 問 14 産業が活力を持つために市が力を入れるべき取り組み

産業が活力を持つために市が力を入れるべき取り組みは、「企業誘致の促進」が 47.0%と最も多く、次いで「後継者の育成への支援」が 35.9%、「特産品・製品の市外へのPR」が 31.3%などとなっています。



## ⑥地域活動について

### 4割以上が「毎日」外出している

#### 問15 週あたりの外出頻度

週あたりの外出頻度は、「毎日（週に6～7日）」が46.1%と最も多く、次いで「週に2～3日」が21.1%、「週に4～5日」が20.5%などとなっています。

昨年度と比較すると、「週に2～3日」（昨年度15.9%）が5.2ポイント高くなっています。

### 外出の目的は「買い物」が8割以上、「仕事」が約6割

#### 問16 外出の目的

外出の目的は、「買い物」が82.5%と最も多く、次いで「仕事（農作業含む）」が61.9%、「医療機関への通院」が38.6%などとなっています。

### 30分以上の運動習慣は「ほとんどない」が4割以上

#### 問17 週あたりの30分以上の運動をする頻度

週あたりの30分以上の運動をする頻度は、「ほとんどない」が46.7%と最も多く、次いで「週に2～3日」が18.7%、「週に1日」が13.3%などとなっています。

### 地域活動に「参加していない」が約4割、「自治会の行事」が3割以上で続く

#### 問18 現在参加している地域活動

現在参加している地域活動は、「参加していない」が38.9%と最も多く、次いで「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」が33.9%、「防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）」が17.8%などとなっています。

### 「住民の自治意識の向上」が4割以上

#### 問19 地域活動の活発・活性化に必要なこと

地域活動の活発・活性化に必要なことは、「住民の自治意識の向上」が46.7%と最も多く、次いで「行政と住民との地域情報の共有」が35.8%、「人材育成」が25.8%などとなっています。

昨年度と比較すると、「人材育成」（昨年度31.1%）が5.3ポイント低くなっています。

## ⑦市からの情報発信について

### 「健康・医療・福祉」が6割以上、「防災・防犯」が4割以上

#### 問 20 市から得たい情報

市から得たい情報は、「健康・医療・福祉」が 65.6%と最も多く、次いで「防災・防犯」が 44.3%、「観光・イベント」が 25.9%などとなっています。  
昨年度と比較すると、「防災・防犯」（昨年度 49.9%）が 5.6 ポイント低くなっています。

### 「広報まきのはら」を情報源としている人が7割以上

#### 問 21 市からの情報の情報源

市からの情報の情報源は、「広報まきのはら」が 74.4%と最も多く、次いで「家族や知人」が 37.7%、「区、町内会の会合」が 27.5%などとなっています。

### 約6割が広報まきのはらを「全て」読んでいる

#### 問 22 読んでいる広報まきのはらのページ

読んでいる広報まきのはらのページは、「全て」が 59.5%と最も多く、次いで「特集・お知らせ」が 19.8%、「生活情報」が 18.4%などとなっています。

昨年度と比較すると、「特集・お知らせ」（昨年度 25.8%）、「まちのわだい」（昨年度 24.1%）、「健康ひろば（各検診日程等）」（昨年度 18.9%）が少なくなっています。

### 文字の大きさ・文字の量・ページ数は「ちょうど良い」が8割を超え、

### 見やすさ・内容も『見やすい』・『良い』が6割を超える

#### 問 23 広報まきのはらの構成や内容について ①文字の大きさ

広報まきのはらの文字の大きさは、「ちょうど良い」が 85.6%と、最も多くなっています。

#### 問 23 広報まきのはらの構成や内容について ②文字の量

広報まきのはらの文字の量は、「ちょうど良い」が 81.9%と、最も多くなっています。

#### 問 23 広報まきのはらの構成や内容について ③ページ数

広報まきのはらのページ数は、「ちょうど良い」が 80.5%と、最も多くなっています。

#### 問 23 広報まきのはらの構成や内容について ④見やすさ

広報まきのはらの見やすさは、「どちらかといえば見やすい」が 45.5%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 22.4%、「見やすい」が 19.7%などとなっています。また、『見やすい』（「見やすい」＋「どちらかといえば見やすい」）は 65.2%、『見にくい』（「どちらかといえば見にくい」＋「見にくい」）は 4.6%となっています。

#### 問 23 広報まきのはらの構成や内容について ⑤内容

広報まきのはらの内容は、「どちらかといえば良い」が 44.2%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 26.8%、「良い」が 18.0%などとなっています。また、『良い』（「良い」＋「どちらかといえば良い」）は 62.2%、『悪い』（「どちらかといえば悪い」＋「悪い」）は 2.6%となっています。

## ⑧牧之原市の行政サービスについて

### 《3 こども医療費制度》が満足度・重要度ともに最も高い

#### 【健康福祉】 支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり

満足度・重要度ともに、《3 こども医療費制度》が最も高く、『満足』は70.5%（評価点1.01点）、『高い』は76.8%（評価点1.30点）となっています。

### 《12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み》の重要度が最も高い

#### 【教育文化】 地域全体で学び、育てる教育の場づくり

満足度は、《14 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供》で、『満足』が57.5%、評価点が0.42点と、最も高くなっています。

重要度は、《12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み》で、『高い』が66.8%、評価点が0.98点と、最も高くなっています。

### すべての項目が、満足度が低く、重要度が高い第2象限に位置

#### 【産業経済】 活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

満足度は、《29 各種イベントの開催》で、『満足』が35.3%、評価点が-0.25点と、最も高くなっています。

重要度は、《24 企業誘致の取り組み》で、『高い』が59.9%、評価点が0.69点と、最も高くなっています。

### 《34 生活環境対策などへの取り組み》が満足度・重要度ともに最も高い

#### 【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

満足度・重要度ともに、《34 生活環境対策などへの取り組み》が最も高く、『満足』は54.3%（評価点0.25点）、『高い』は72.9%（評価点1.01点）となっています。

### 《42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み》の重要度が最も高い

#### 【防災】 安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

満足度は、《47 学校や地域で子どもを守る取り組み》で、『満足』が56.3%、評価点が0.34点と、最も高くなっています。

重要度は、《42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み》で、『高い』が74.3%、評価点が1.26点と、最も高くなっています。

### 《55 広報紙などによる十分な情報発信》が満足度・重要度ともに最も高い

#### 【市政経営】 実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり

満足度は、・重要度ともに、《55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信》、が最も高く、『満足』は48.8%（評価点0.14点）、『高い』は59.0%（評価点0.51点）となっています。

※『満足』は満足度「満足」+「やや満足」、『高い』は重要度「高い」+「やや高い」を指します。

◎全ての取り組みの満足度・重要度の評価点順位

		満足度					重要度				
		順位	30年度 (A)	29年度 (B)	差 (A) - (B)		順位	30年度 (A)	29年度 (B)	差 (A) - (B)	
健康福祉	1 子育て支援の取り組み	7	0.26	0.23	0.03	↗	6	1.09	1.05	0.04	↗
	2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	2	0.49	0.44	0.05	↗	3	1.14	1.13	0.01	↗
	3 こども医療費制度	1	1.01	1.00	0.01	↗	1	1.30	1.29	0.01	↗
	4 高齢者への福祉サービスの取り組み	11	0.16	0.09	0.07	↗	9	0.99	1.04	-0.05	↘
	5 障がい者への福祉サービスの取り組み	10	0.23	0.12	0.11	↗	16	0.85	0.96	-0.11	↘
	6 福祉施設などの整備	23	0.01	-0.15	0.16	↗	14	0.87	0.92	-0.05	↘
	7 健康づくりサービスの推進	6	0.29	0.23	0.06	↗	22	0.69	0.81	-0.12	↘
	8 健康相談などの日常的な保健活動	4	0.36	0.34	0.02	↗	46	0.38	0.60	-0.22	↘
	9 公共スポーツ施設の整備	34	-0.14	-0.14	0.00	⇒	46	0.38	0.38	0.00	⇒
	10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	54	-0.76	-0.80	0.04	↗	5	1.10	1.16	-0.06	↘
	11 地域福祉活動を行うボランティア等への支援	26	-0.03	-0.05	0.02	↗	50	0.37	0.48	-0.11	↘
教育文化	12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み	15	0.13	0.09	0.04	↗	10	0.98	1.03	-0.05	↘
	13 小・中学校施設の整備	21	0.04	0.04	0.00	⇒	19	0.82	0.88	-0.06	↘
	14 生涯学習など教養を高める機会の提供等	3	0.42	0.36	0.06	↗	46	0.38	0.52	-0.14	↘
	15 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取り組み	20	0.09	0.04	0.05	↗	21	0.78	0.89	-0.11	↘
	16 文化や芸術に触れる機会を提供する取り組み	30	-0.12	-0.22	0.10	↗	53	0.23	0.36	-0.13	↘
	17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み	18	0.11	-0.05	0.16	↗	51	0.32	0.43	-0.11	↘
	18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	51	-0.55	-0.52	-0.03	↘	40	0.50	0.61	-0.11	↘
産業経済	19 農林漁業の担い手への支援の取り組み	50	-0.53	-0.55	0.02	↗	27	0.60	0.68	-0.08	↘
	20 特産品の消費推進の取り組み	41	-0.33	-0.33	0.00	⇒	26	0.61	0.70	-0.09	↘
	21 荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	57	-0.97	-1.05	0.08	↗	31	0.55	0.62	-0.07	↘
	22 茶業安定のための取り組み	48	-0.51	-0.63	0.12	↗	37	0.52	0.61	-0.09	↘
	23 サガラメなどの繁殖する藻場の復元への取り組み	44	-0.42	-0.46	0.04	↗	56	0.12	0.18	-0.06	↘
	24 企業誘致の取り組み	53	-0.66	-0.72	0.06	↗	22	0.69	0.77	-0.08	↘
	25 起業支援、産業雇用支援の取り組み	47	-0.50	-0.59	0.09	↗	27	0.60	0.64	-0.04	↘
	26 商工業の振興の取り組み	46	-0.47	-0.46	-0.01	↘	35	0.53	0.63	-0.10	↘
	27 商店街の魅力向上の取り組み	55	-0.80	-0.75	-0.05	↘	33	0.54	0.53	0.01	↗
	28 観光誘客促進のための取り組み	52	-0.65	-0.63	-0.02	↘	31	0.55	0.52	0.03	↗
	29 各種イベントの開催	38	-0.25	-0.27	0.02	↗	46	0.38	0.37	0.01	↗
経済基盤	30 道路や河川の補修・整備	40	-0.31	-0.36	0.05	↗	13	0.89	0.92	-0.03	↘
	31 上水道施設整備の取り組み	15	0.13	0.04	0.09	↗	17	0.84	0.90	-0.06	↘
	32 計画的な土地利用の推進	48	-0.51	-0.51	0.00	⇒	29	0.59	0.64	-0.05	↘
	33 公園・緑地の管理や整備の取り組み	45	-0.46	-0.43	-0.03	↘	35	0.53	0.55	-0.02	↘
	34 生活環境対策などへの取り組み	9	0.25	0.38	-0.13	↘	8	1.01	1.03	-0.02	↘
	35 公害防止対策への取り組み	11	0.16	0.20	-0.04	↘	25	0.65	0.71	-0.06	↘
	36 再生可能エネルギーの活用への取り組み	25	-0.02	0.07	-0.09	↘	30	0.57	0.69	-0.12	↘
	37 街並みや周辺の景観・美観への取り組み	39	-0.29	-0.37	0.08	↗	37	0.52	0.41	0.11	↗
	38 自然環境の保全への取り組み	29	-0.08	-0.19	0.11	↗	43	0.46	0.45	0.01	↗
	39 空港を活用するための取り組み	36	-0.22	-0.34	0.12	↗	24	0.67	0.55	0.12	↗
	40 公共交通の充実	56	-0.85	-0.87	0.02	↗	15	0.86	0.79	0.07	↗
	41 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	43	-0.41	-0.45	0.04	↗	52	0.29	0.24	0.05	↗
防災	42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	35	-0.19	-0.22	0.03	↗	2	1.26	1.29	-0.03	↘
	43 自主防災組織の強化のための取り組み	21	0.04	0.08	-0.04	↘	4	1.11	1.15	-0.04	↘
	44 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	30	-0.12	-0.23	0.11	↗	18	0.83	0.88	-0.05	↘
	45 消防体制の整備への取り組み	7	0.26	0.24	0.02	↗	10	0.98	1.02	-0.04	↘
	46 盗難などの犯罪防止に対する取り組み	30	-0.12	-0.49	0.37	↗	19	0.82	0.86	-0.04	↘
	47 学校や地域で子どもを守る取り組み	5	0.34	0.30	0.04	↗	7	1.05	1.07	-0.02	↘
	48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	17	0.12	0.02	0.10	↗	33	0.54	0.53	0.01	↗
	49 道路交通の安全対策	42	-0.34	-0.31	-0.03	↘	12	0.95	0.88	0.07	↗
市政経営	50 自治会の住民自治活動への支援	30	-0.12	-0.15	0.03	↗	42	0.49	0.43	0.06	↗
	51 地区公民館などの活動拠点の施設整備	27	-0.05	0.09	-0.14	↘	44	0.44	0.48	-0.04	↘
	52 安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備	28	-0.07	-0.11	0.04	↗	55	0.20	0.21	-0.01	↘
	53 行政と一緒に課題解決やイベントなどの事業を行う取り組み	23	0.01	-0.04	0.05	↗	53	0.23	0.31	-0.08	↘
	54 行政改革の取り組み	37	-0.24	-0.26	0.02	↗	40	0.50	0.53	-0.03	↘
	55 広報紙などによる十分な情報発信	13	0.14	0.22	-0.08	↘	39	0.51	0.56	-0.05	↘
	56 情報通信の環境整備の取り組み	19	0.10	0.21	-0.11	↘	45	0.41	0.45	-0.04	↘
	57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み	13	0.14	0.23	-0.09	↘	57	0.02	0.11	-0.09	↘

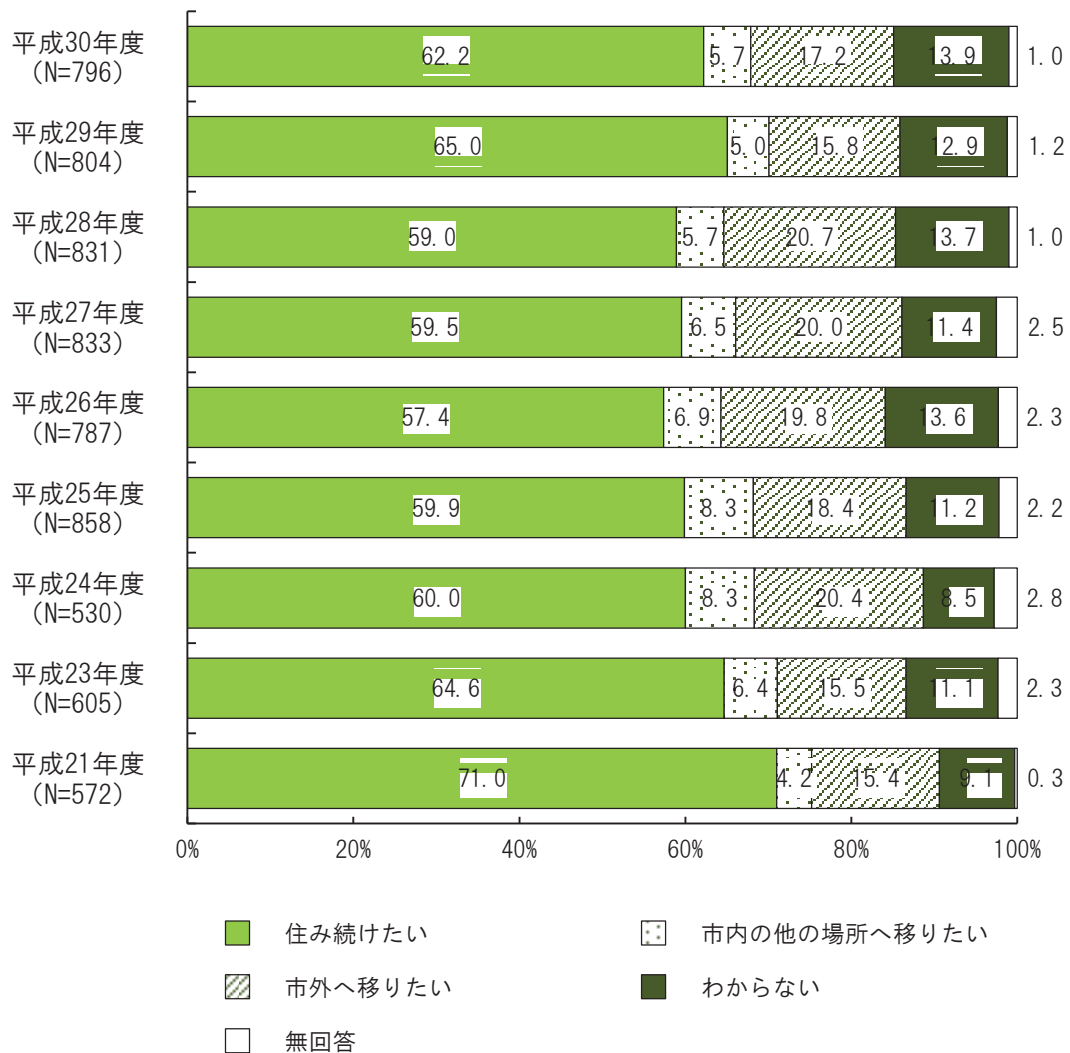
※全ての取り組みの満足度・重要度の評価点順位は、上表の通りです。  
 ※上位5項目と、昨年度調査よりも評価が高い項目は、網掛けが付いています。

## (2) 調査結果の詳細

## ①牧之原市での暮らしについて

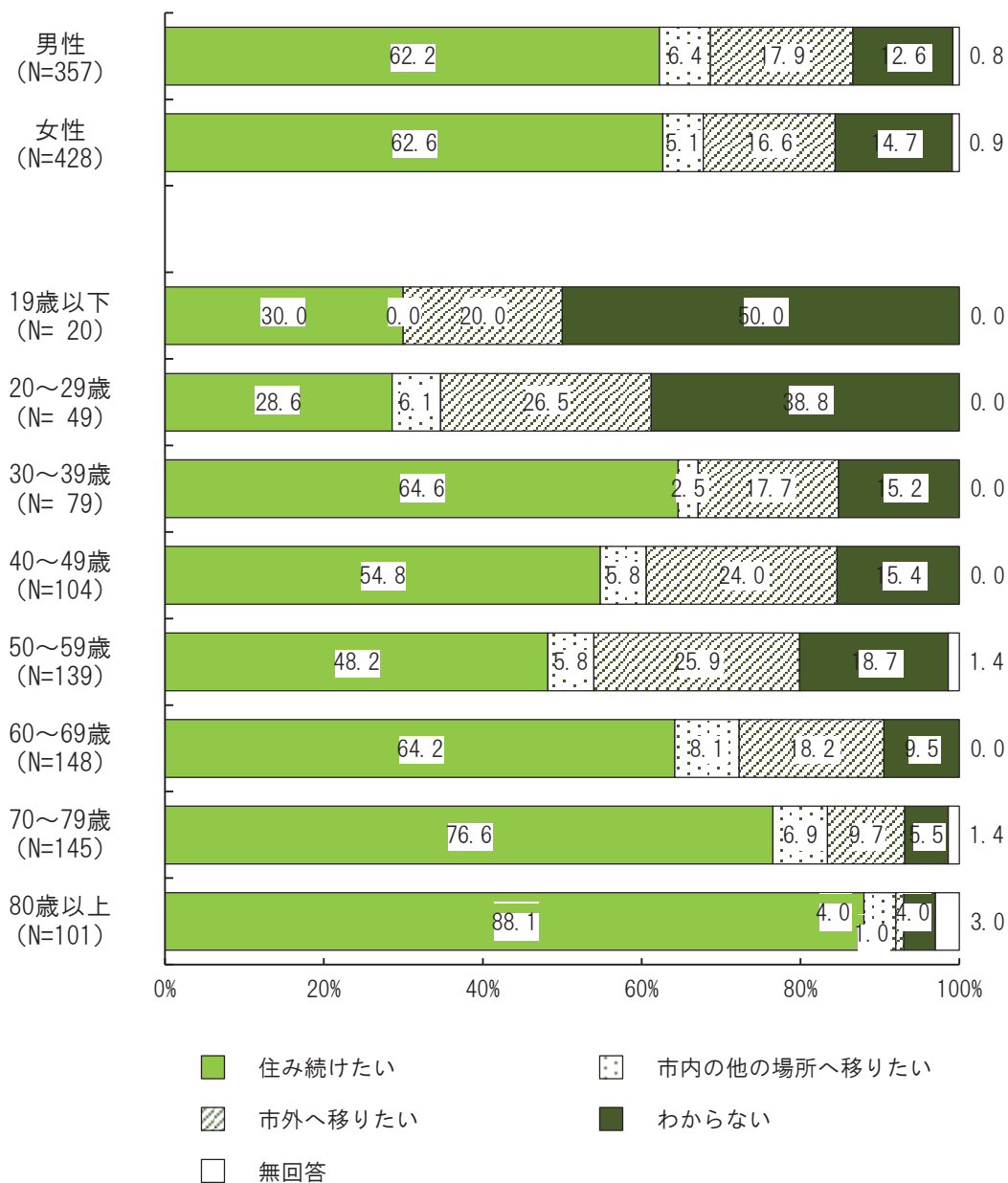
## (1) 今後の居住継続意向

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後も住み続けたいと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



今後の居住継続意向は、「住み続けたい」が62.2%と最も多く、次いで「市外へ移りたい」が17.2%、「わからない」が13.9%などとなっています。昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）

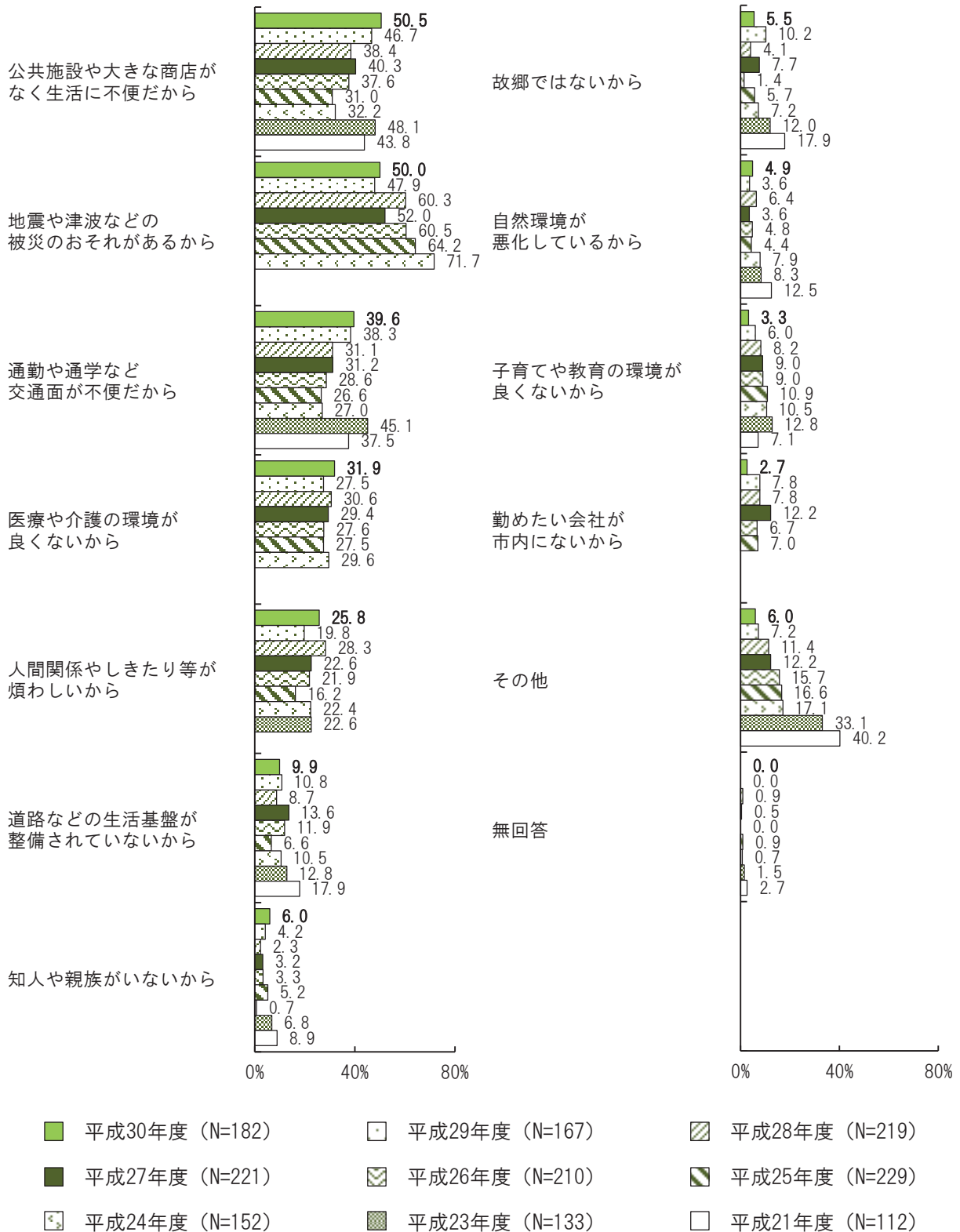


【性別】：大きな差異はみられません。

【年齢別】：29歳以下において「住み続けたい」が3割前後と少なく、「わからない」が最も多くなっています。また、70歳以上において「住み続けたい」が7割を超えています。

(2) 他の場所へ移りたい理由

問1で「市内の他の場所へ移りたい」または「市外へ移りたい」と答えた方のみ  
 問2 他の場所へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



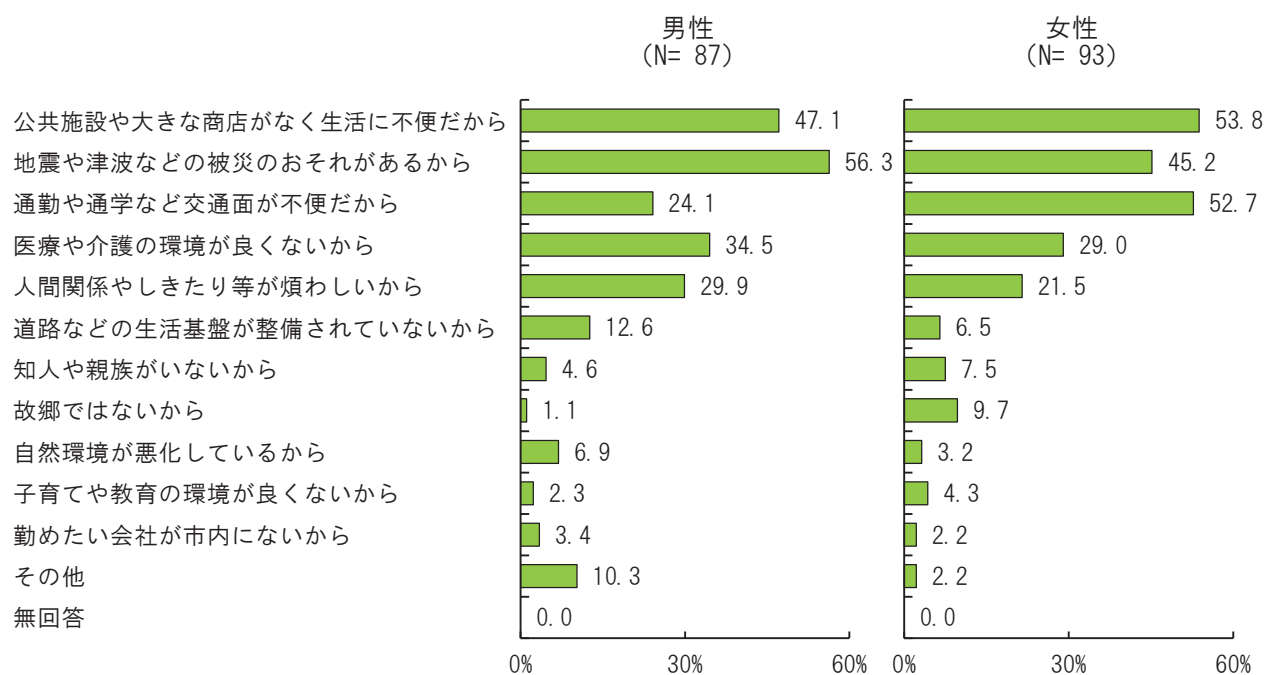


※「人間関係やしきたり等が煩わしいから」は平成 23 年度に追加された選択肢、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」、「医療や介護の環境が良くないから」は平成 24 年度に追加された選択肢、「勤めたい会社が市内にないから」は平成 25 年度に追加された選択肢です。

他の場所へ移りたい理由は、「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が 50.5%と最も多く、次いで「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が 50.0%、「通勤や通学など交通面が不便だから」が 39.6%などとなっています。

昨年度と比較すると、「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が 6.0 ポイント高く、「勤めたい会社が市内にないから」が 5.1 ポイント低くなっています。

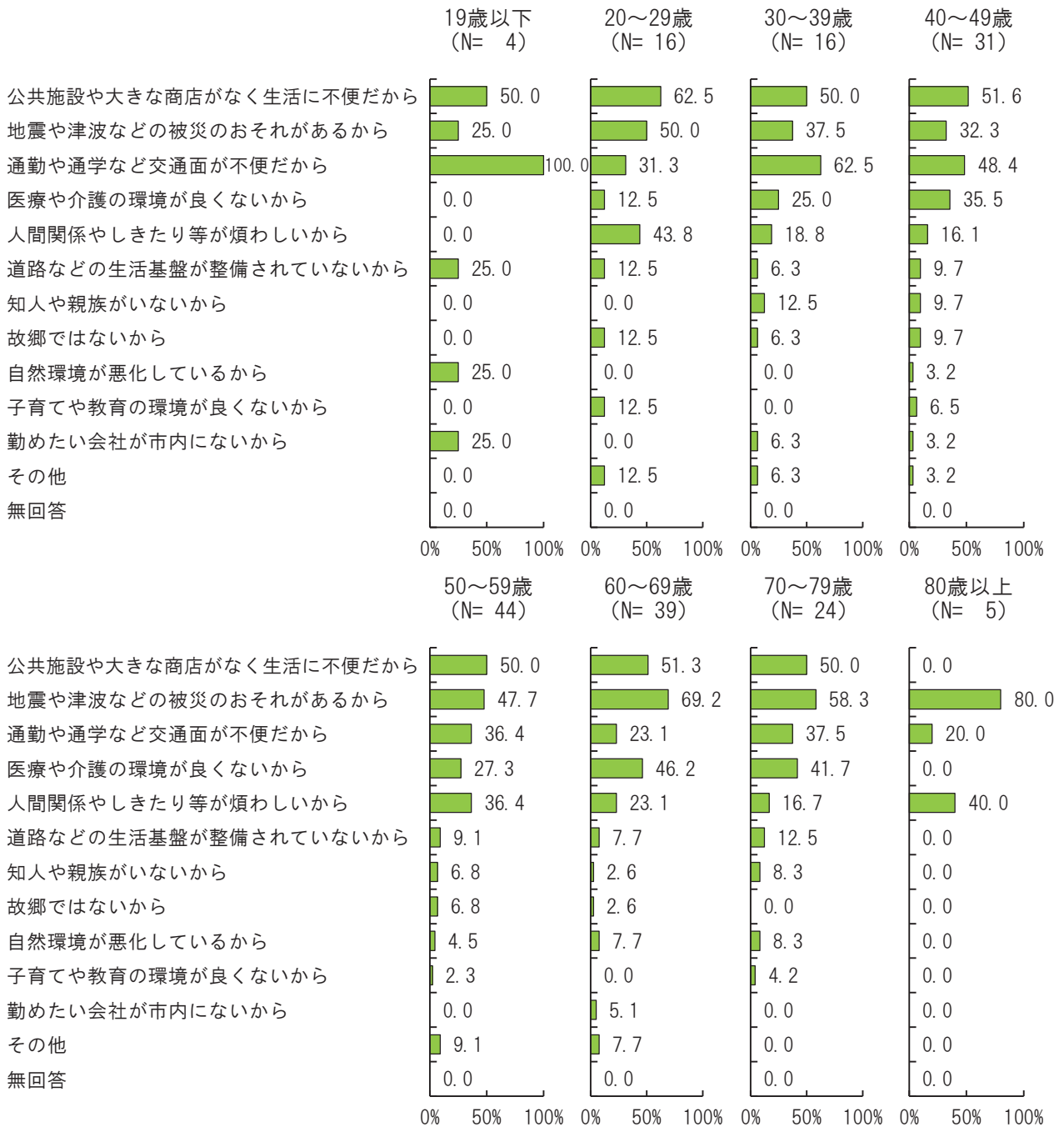
クロス集計（性別）



【性別】：男性において「地震や津波などの被災のおそれがあるから」、「医療や介護の環境が良くないから」、「人間関係やしきたり等が煩わしいから」、「道路などの生活基盤が整備されていないから」、「その他」が女性より多く、女性において「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」、「通勤や通学など交通面が不便だから」、「故郷ではないから」が男性より多くなっています。



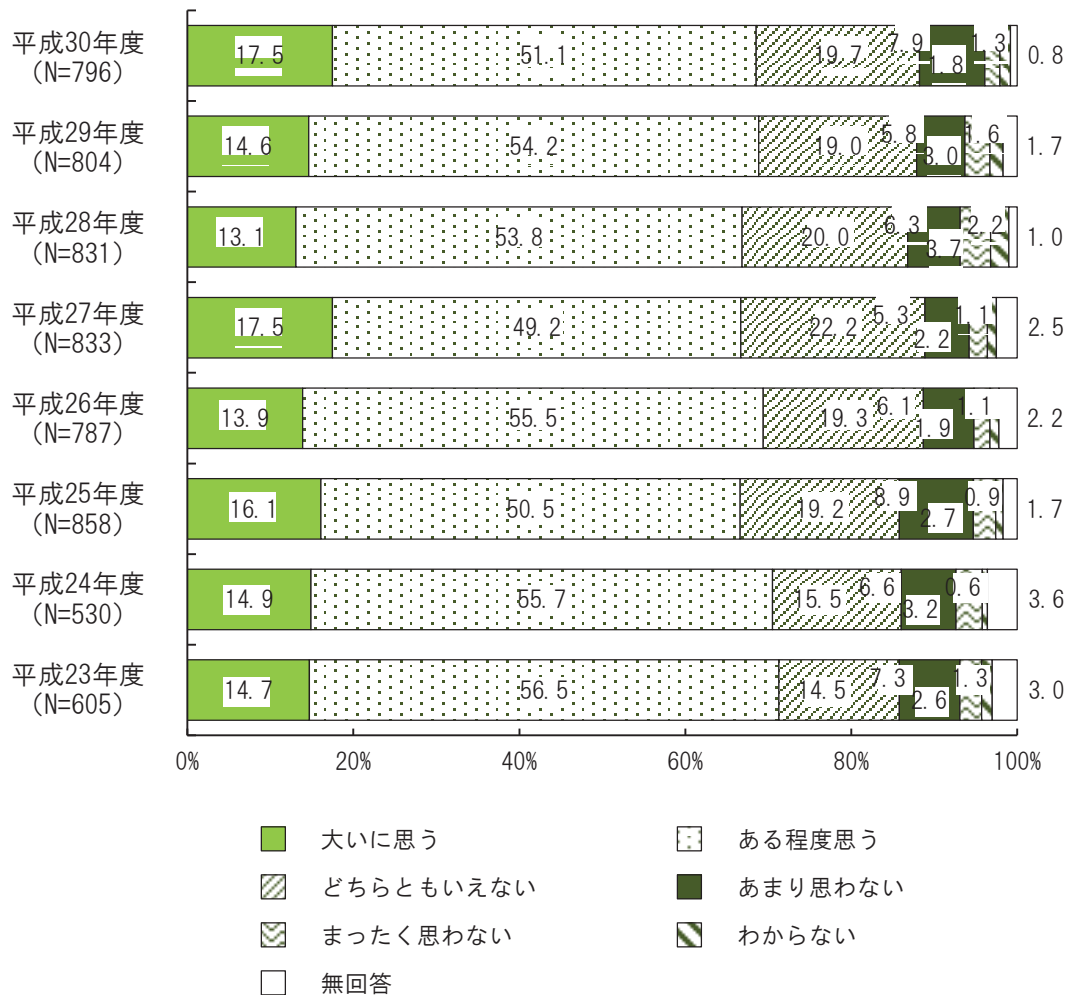
## クロス集計（年齢別）



【年齢別】: 40~49歳において「通勤や通学など交通面が不便だから」が48.4%と多くなっています。また、50~59歳において「医療や介護の環境が良くないから」が27.3%と少なく、「人間関係やしきたり等が煩わしいから」が36.4%と多くなっています。さらに、60~69歳・70~79歳においては「地震や津波などの被災のおそれがあるから」、「医療や介護の環境が良くないから」が多くなっています。(サンプル数の少ない年齢区分については、コメントを割愛しています。)

(3) 今現在、幸せだと思うか

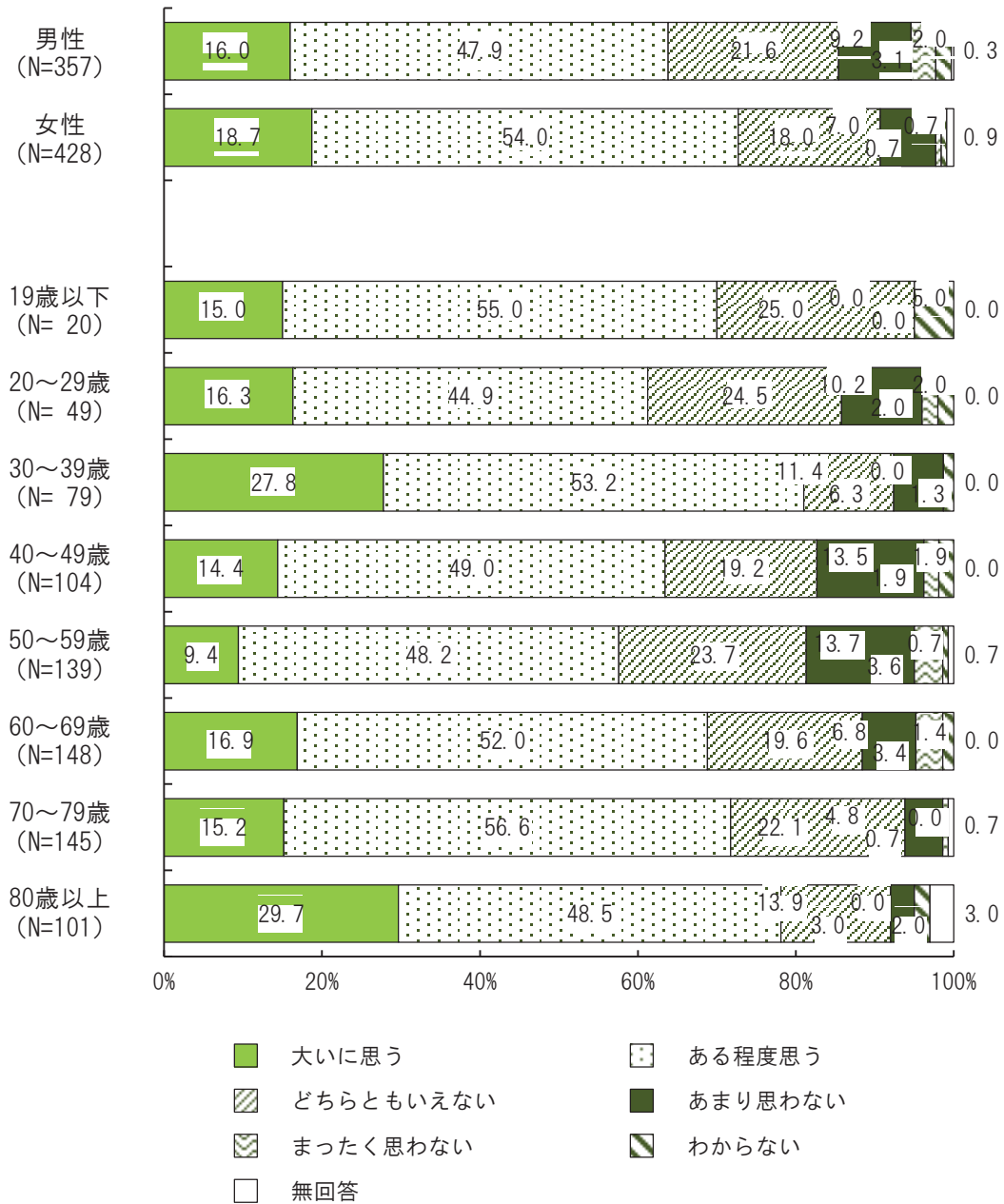
問3 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



今現在、幸せだと思うかについては、「ある程度思う」が51.1%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が19.7%、「大いに思う」が17.5%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は68.6%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は9.7%となっています。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

## クロス集計（性別・年齢別）



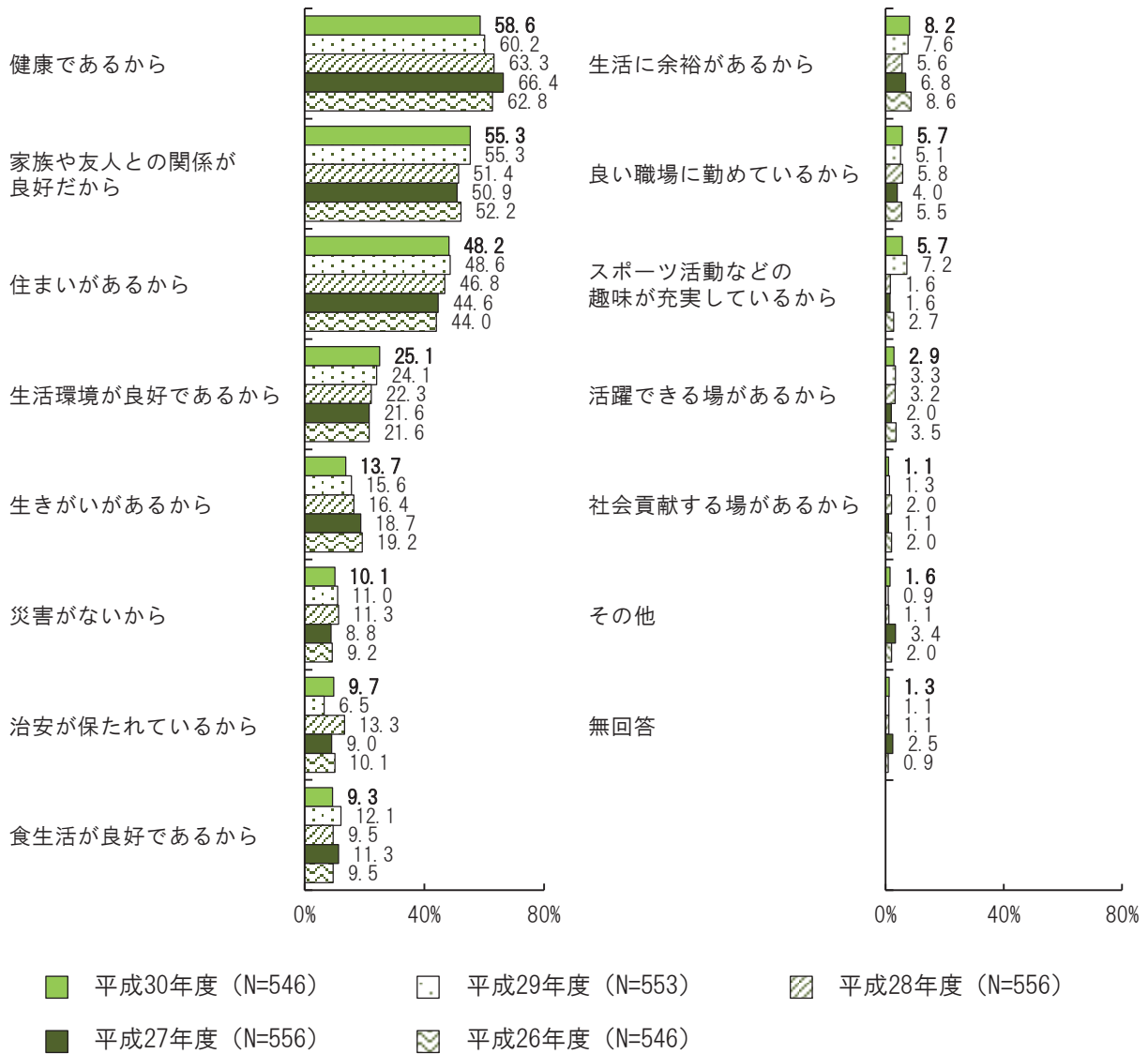
【性別】：女性において「ある程度思う」が54.0%と、男性より6.1ポイント高くなっています。また、『思う』は、男性が63.9%、女性が72.7%と、女性の方が多くなっています。

【年齢別】：20～29歳・40～49歳・50～59歳において「あまり思わない」が1割を超えて多く、30～39歳・80歳以上において「大いに思う」が2割を超えて多くなっています。また、『思う』は、30～39歳において81.0%と最も多く、50～59歳において57.6%と最も少なくなっています。

(4) 幸せだと思う理由

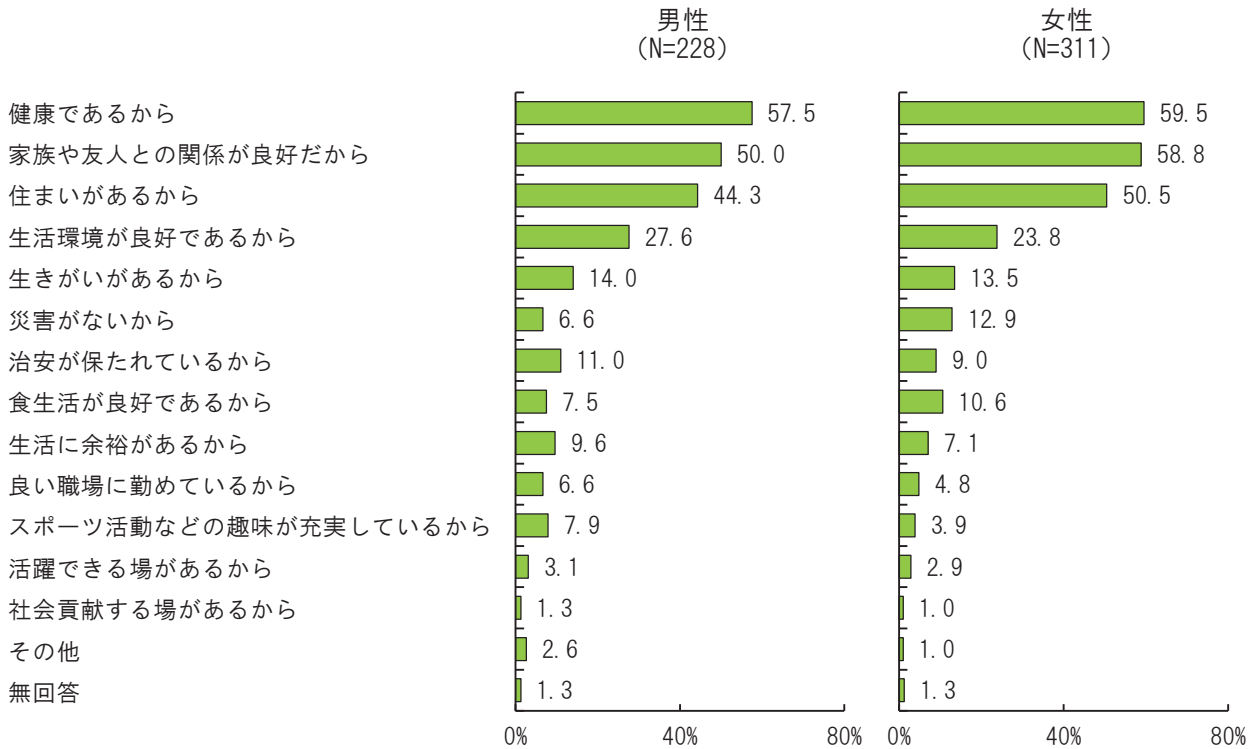
問3で「大いに思う」または「ある程度思う」と答えた方のみ

問4 幸せだと思う理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



幸せだと思う理由は、「健康であるから」が58.6%と最も多く、次いで「家族や友人との関係が良好だから」が55.3%、「住まいがあるから」が48.2%などとなっています。  
昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

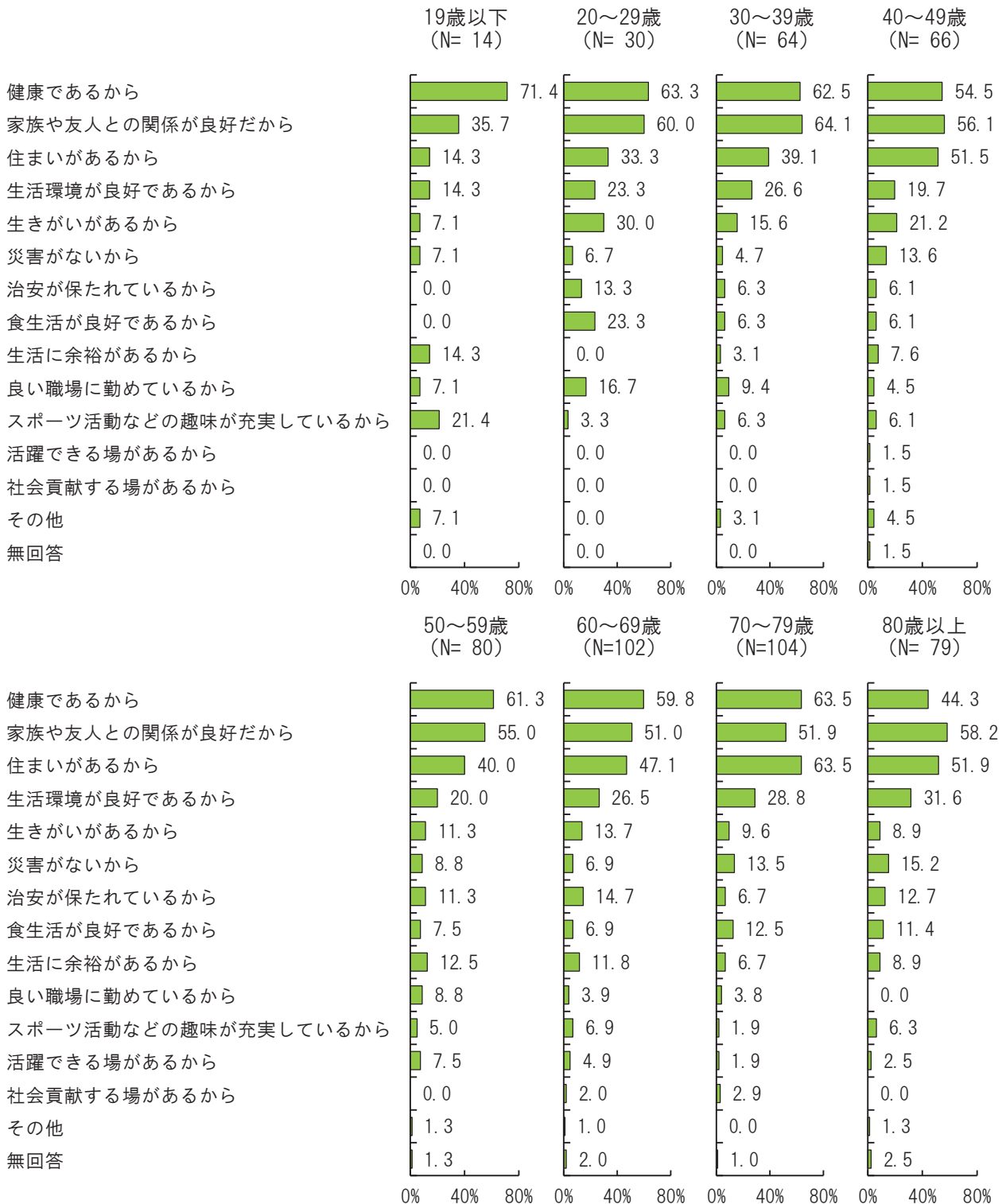
## クロス集計（性別）



【性別】：女性において「家族や友人との関係が良好だから」、「住まいがあるから」、「災害がないから」が男性より多くなっています。

【年齢別】：20～29歳において「生きがいがあるから」、「食生活が良好であるから」、「良い職場に勤めているから」が多く、20～29歳・30～39歳において「家族や友人との関係が良好だから」が6割を超えています。また、70～79歳において「住まいがあるから」が63.5%と多くなっています。さらに、80歳以上においては「健康であるから」が44.3%と少なくなっています。（サンプル数の少ない年齢区分については、コメントを割愛しています。）

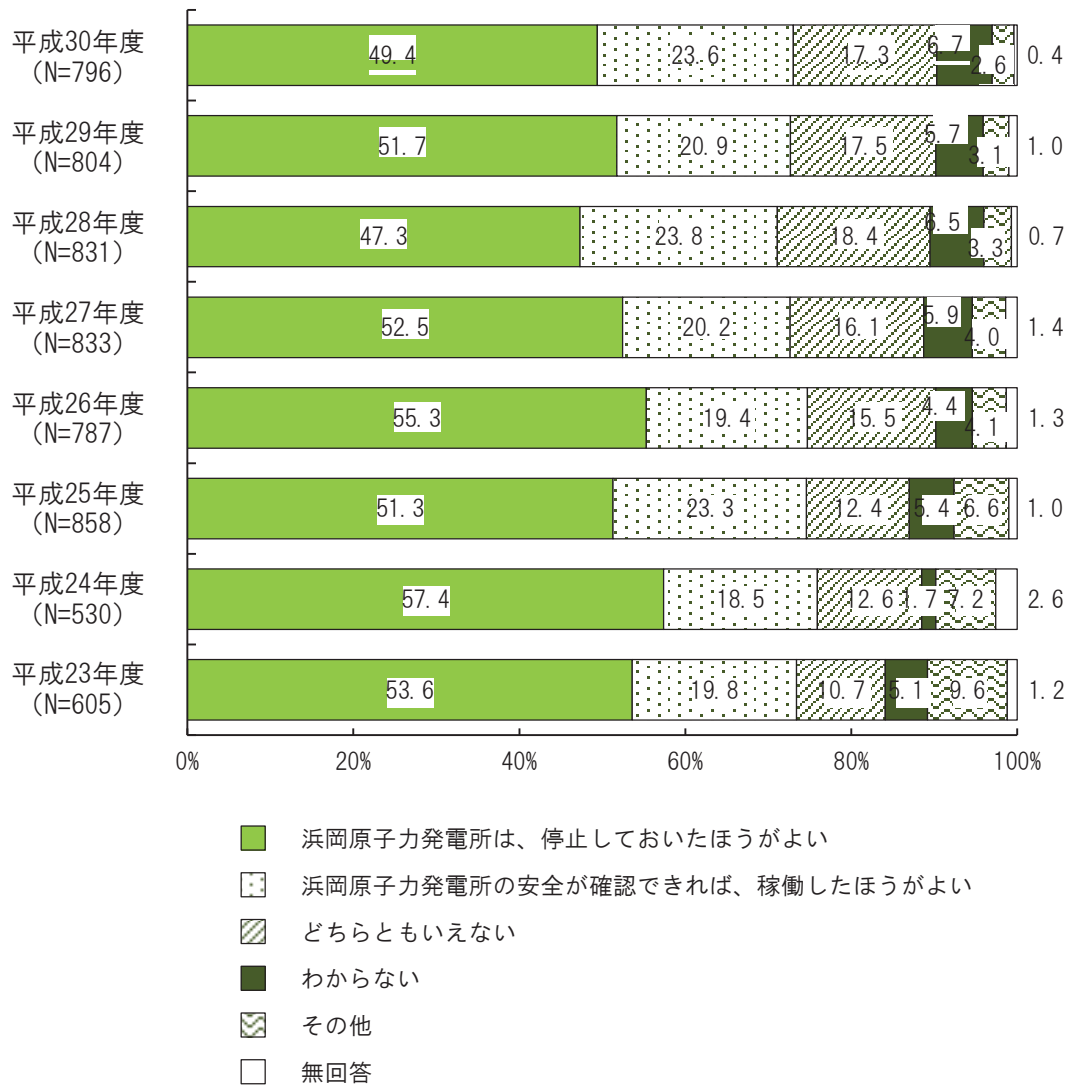
クロス集計（年齢別）



## ②原子力発電について

## (5) 浜岡原子力発電所の今後について

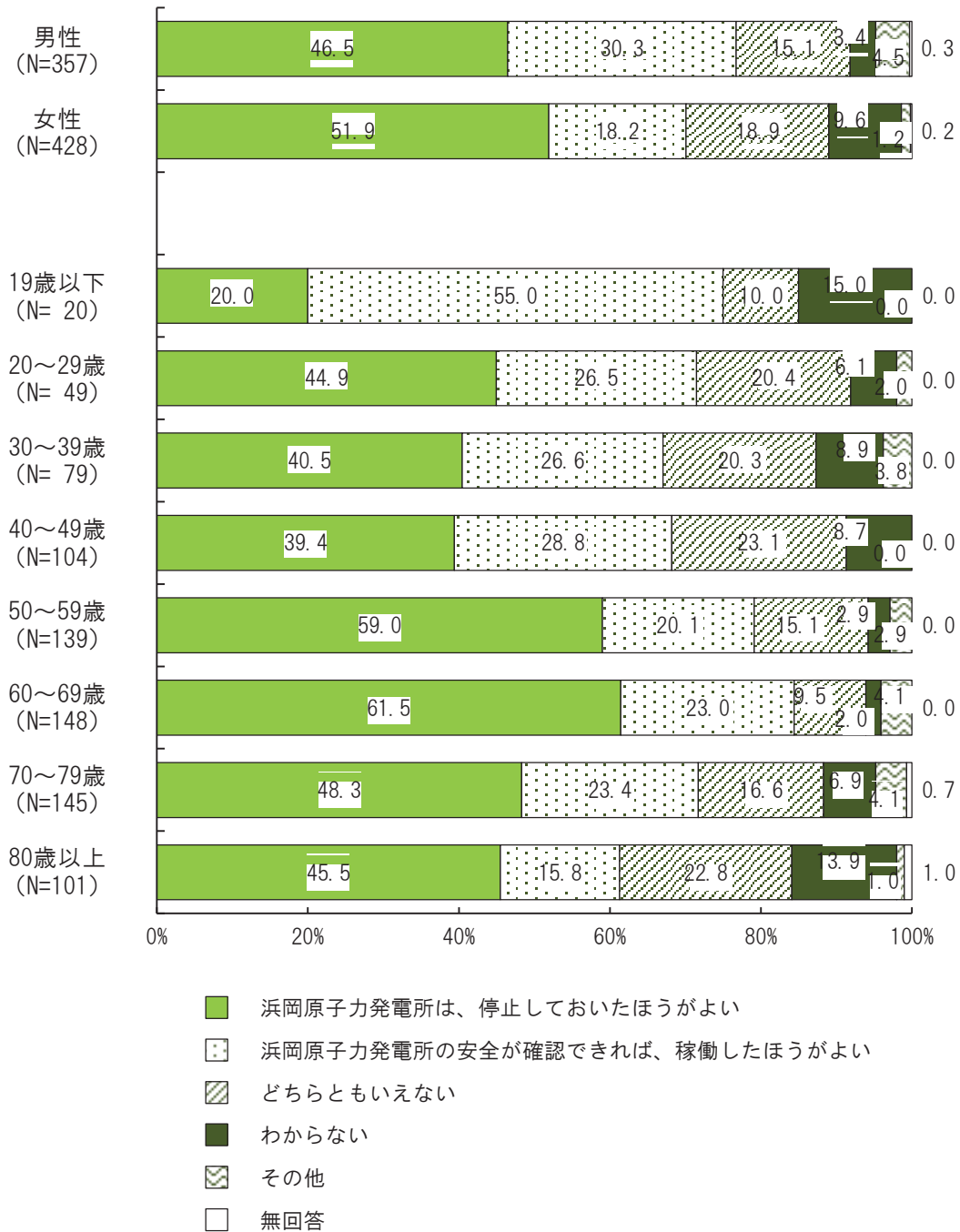
問5 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



浜岡原子力発電所の今後については、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が49.4%と最も多く、次いで「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が23.6%、「どちらともいえない」が17.3%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）



【性別】：男性において「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が30.3%と女性より12.1ポイント高く、女性において「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」、「わからない」が男性より多くなっています。

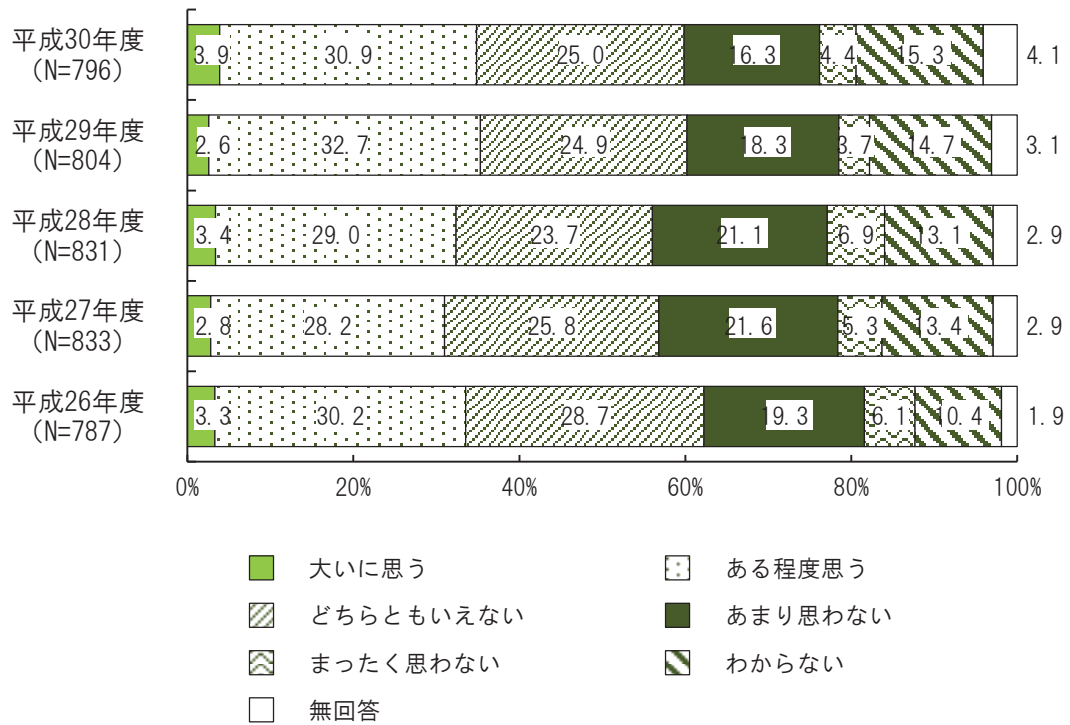
【年齢別】：19歳以下において「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が55.0%と多く、50～59歳・60～69歳において「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が6割前後と多くなっています。



## ③子育て環境について

## (6) 牧之原市は子どもを産み育てやすい環境か

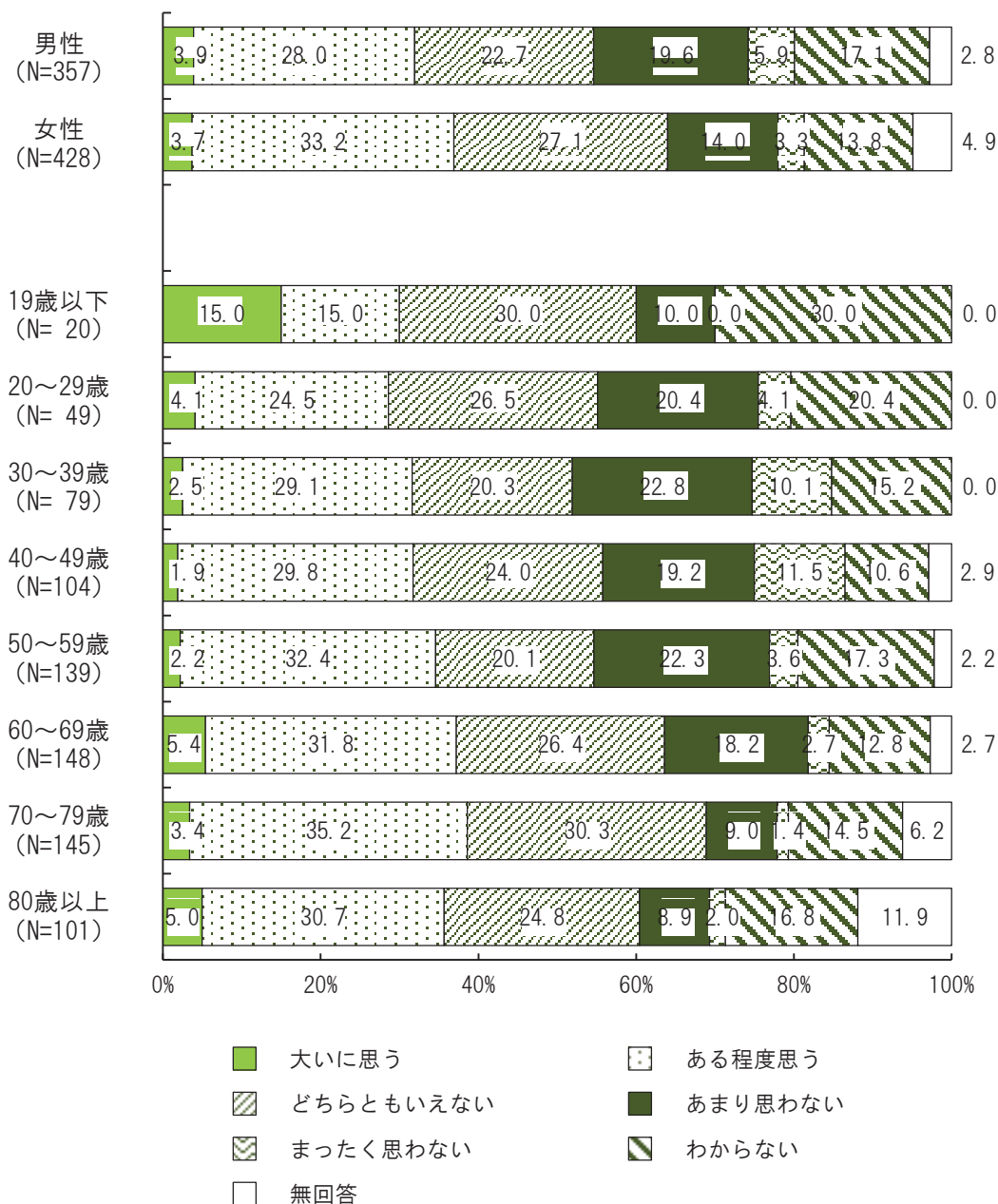
問6 あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



牧之原市は子どもを産み育てやすい環境かについては、「ある程度思う」が30.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が25.0%、「あまり思わない」が16.3%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は34.8%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は20.7%となっています。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）

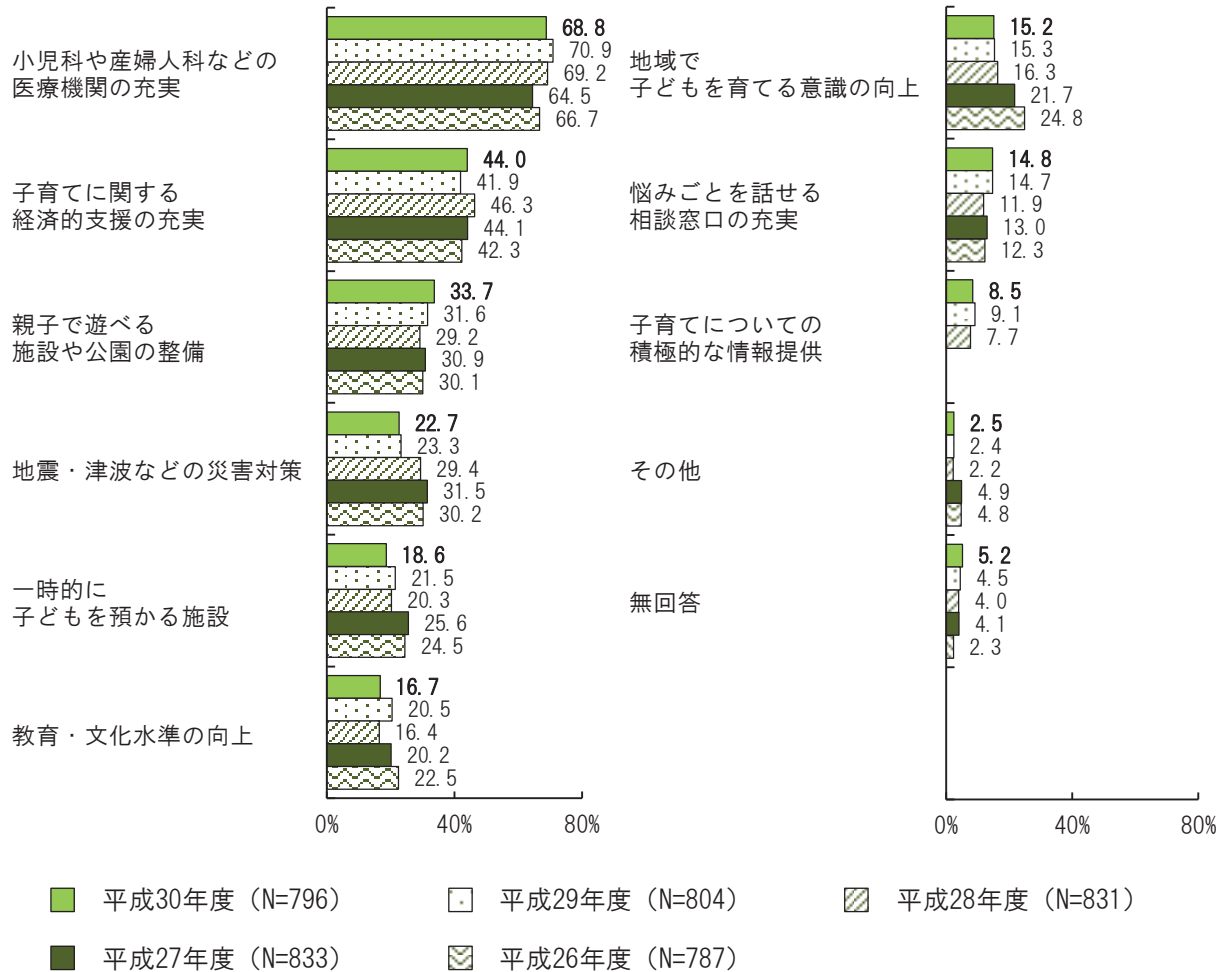


【性別】：男性において「あまり思わない」が19.6%と女性より5.6ポイント高く、女性において「ある程度思う」が33.2%と男性より5.2ポイント高くなっています。また、『思う』は、男性が31.9%、女性が36.9%と女性の方が多く、『思わない』は、男性が25.5%、女性が17.3%と男性の方が多くなっています。

【年齢別】：19歳以下において「ある程度思う」が15.0%と少なく、29歳以下において「わからない」が2割を超えています。また、『思わない』は30～39歳・40～49歳において3割を超えています。

(7) 子どもを産み育てやすい環境にするため市が取り組むべきこと

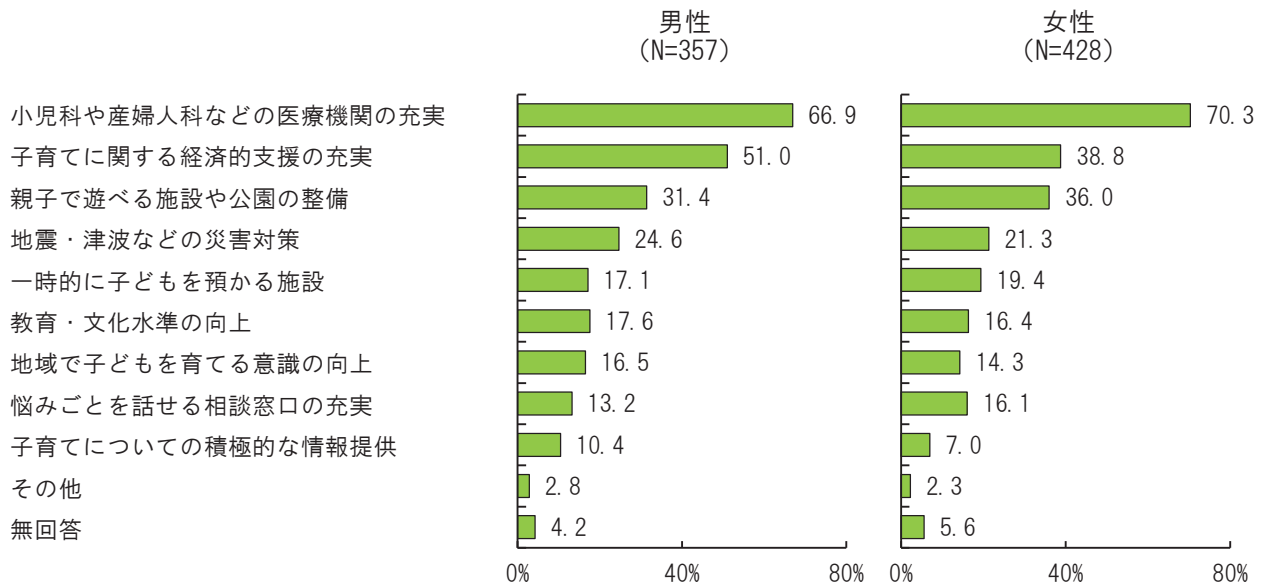
問7 あなたは、子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことはどれだと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



※「子育てについての積極的な情報提供」は平成28年度に追加された選択肢です。また、「子育てに関する経済的支援の充実」は、平成27年度以前は「医療費の無料化」と掲載していました。

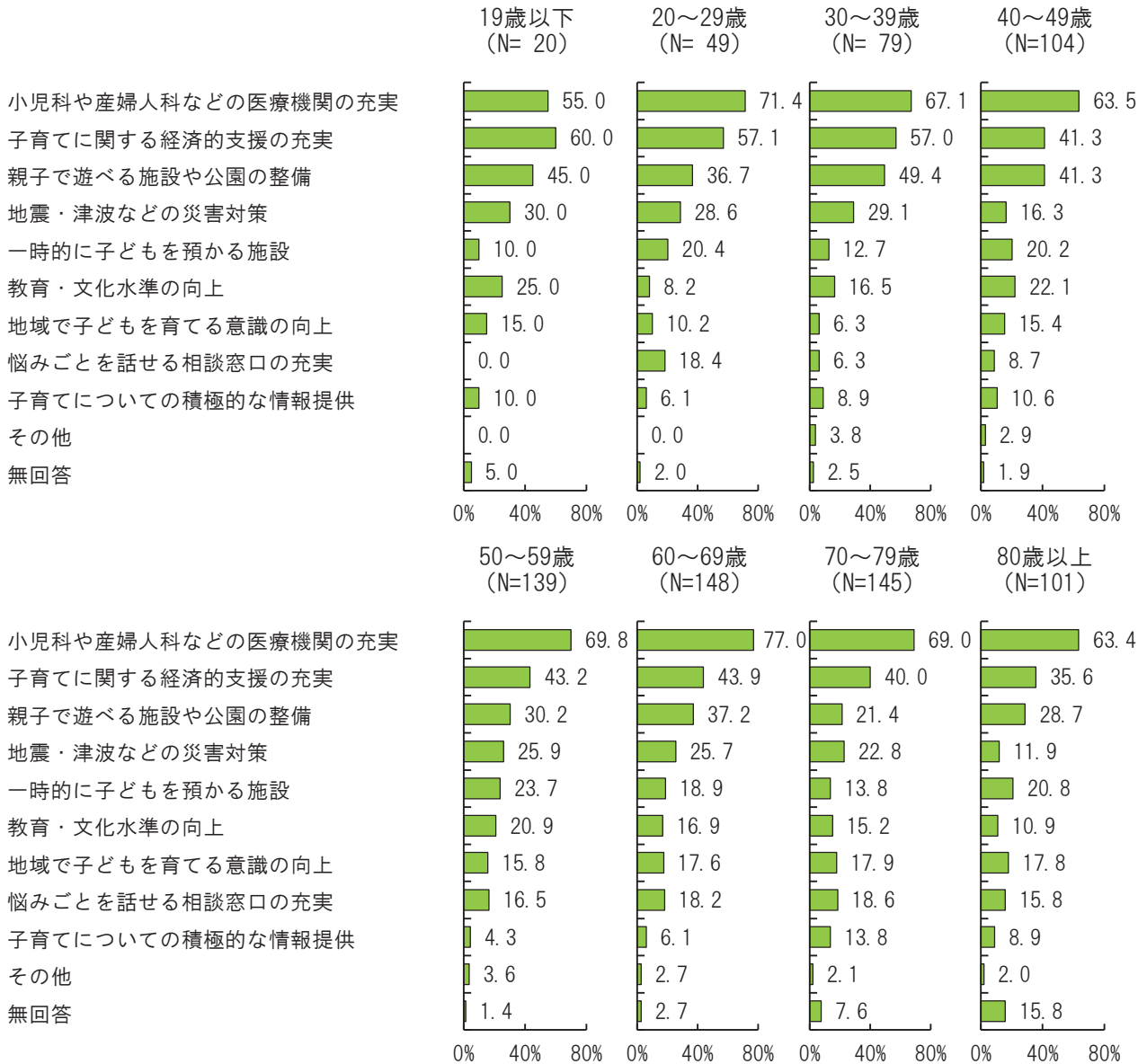
子どもを産み育てやすい環境にするため市が取り組むべきことは、「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が68.8%と最も多く、次いで「子育てに関する経済的支援の充実」が44.0%、「親子で遊べる施設や公園の整備」が33.7%などとなっています。  
 昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別）



【性別】：男性において「子育てに関する経済的支援の充実」が 51.0%と、女性より 12.2 ポイント高くなっています。

## クロス集計（年齢別）

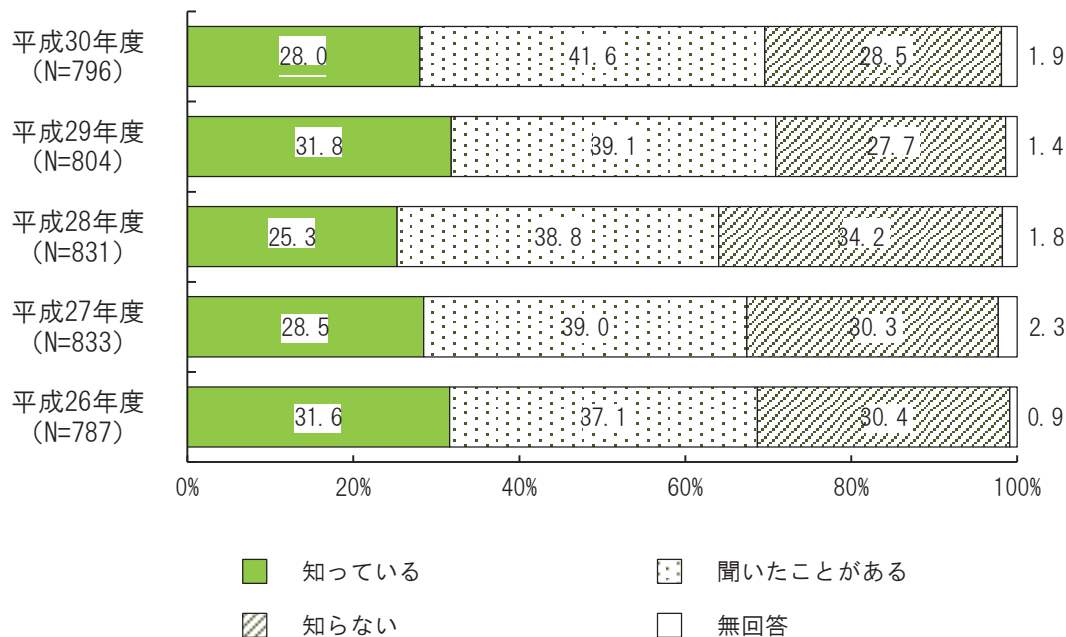


【年齢別】：19歳以下において「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」が55.0%と少なくなっています。また、19歳以下・30~39歳・40~49歳において「悩みごとを話せる相談窓口の充実」が1割を下回って少なく、20~29歳において「教育・文化水準の向上」が8.2%と少なくなっています。さらに、70~79歳においては「親子で遊べる施設や公園の整備」が21.4%と少なくなっています。

#### ④ “公共施設の更新問題” について

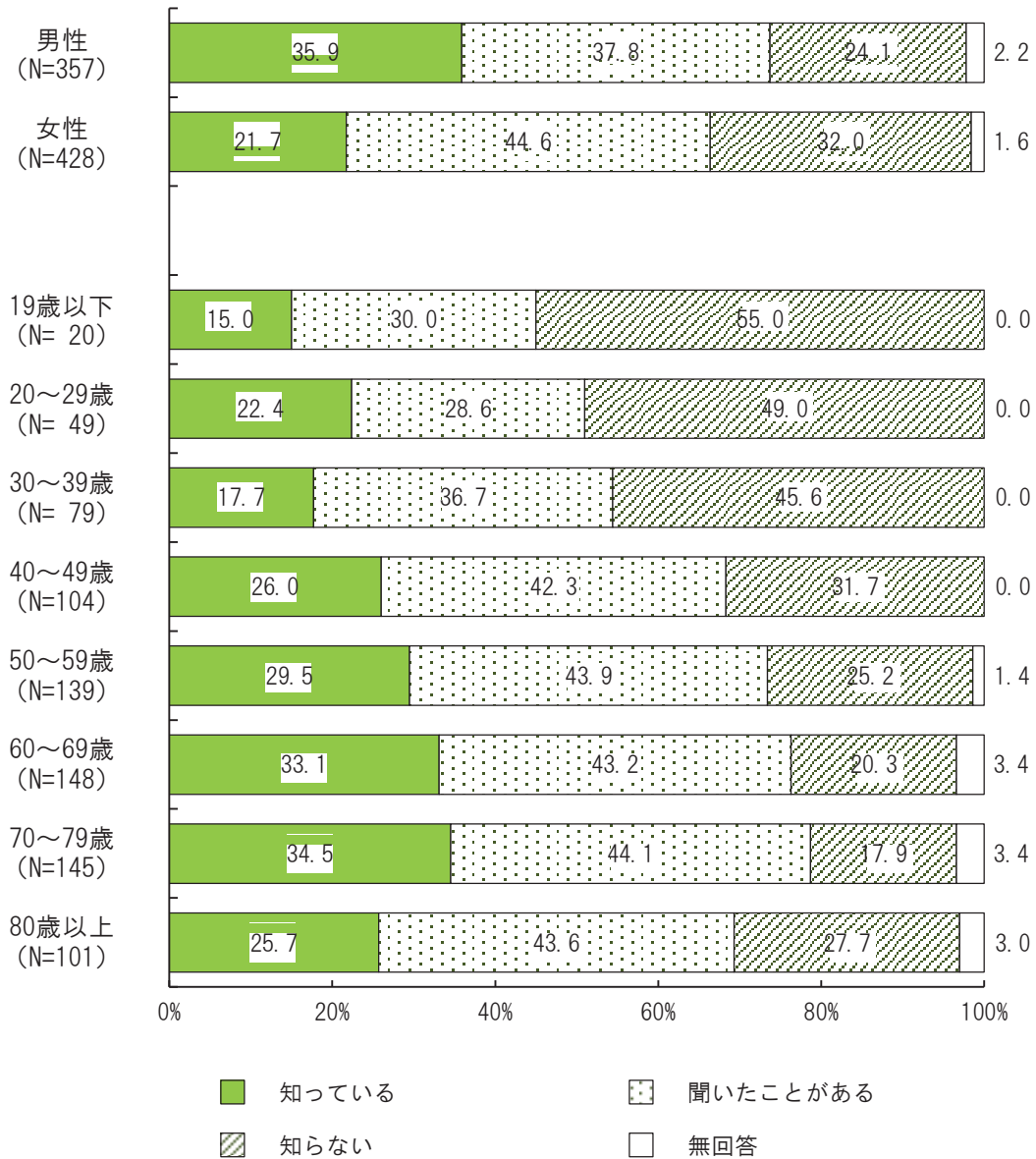
##### (8) “公共施設の更新問題” の把握状況

問8 あなたは、この“公共施設の更新問題(老朽化問題)”を知っていましたか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



“公共施設の更新問題”の把握状況は、「聞いたことがある」が41.6%と最も多く、次いで「知らない」が28.5%、「知っている」が28.0%となっています。  
 昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

## クロス集計（性別・年齢別）

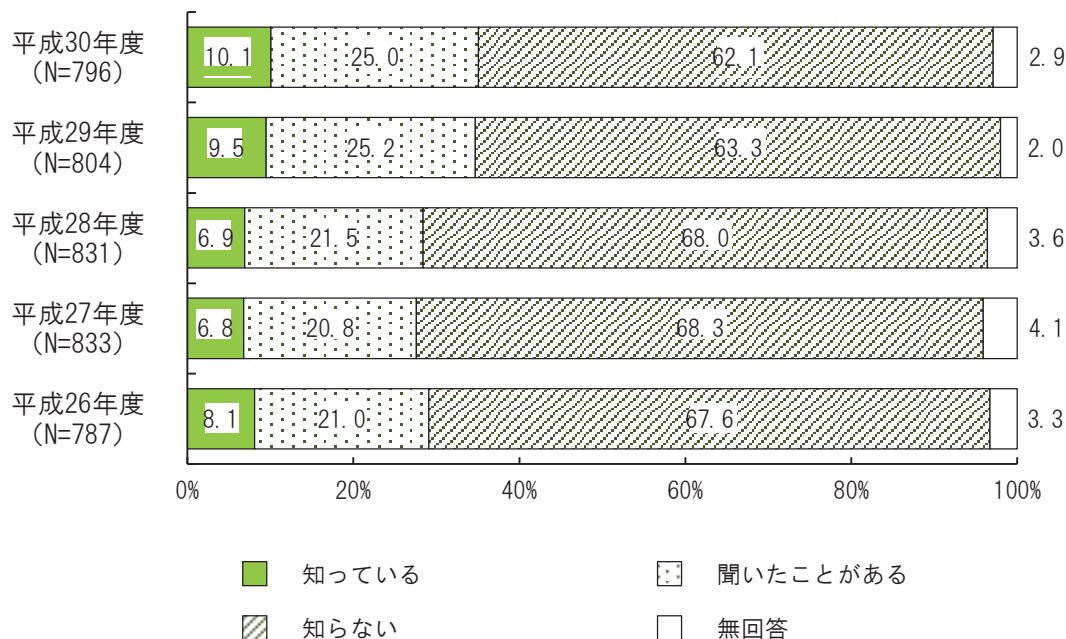


【性別】：男性において「知っている」が35.9%と女性より14.2ポイント高く、女性において「聞いたことがある」、「知らない」が男性より多くなっています。

【年齢別】：39歳以下において「知らない」が4割を超えて多く、「聞いたことがある」が4割を下回って少なくなっています。また、60～69歳・70～79歳において「知っている」が3割を超えています。

(9) “公共施設の更新問題” への牧之原市の取り組みの把握状況

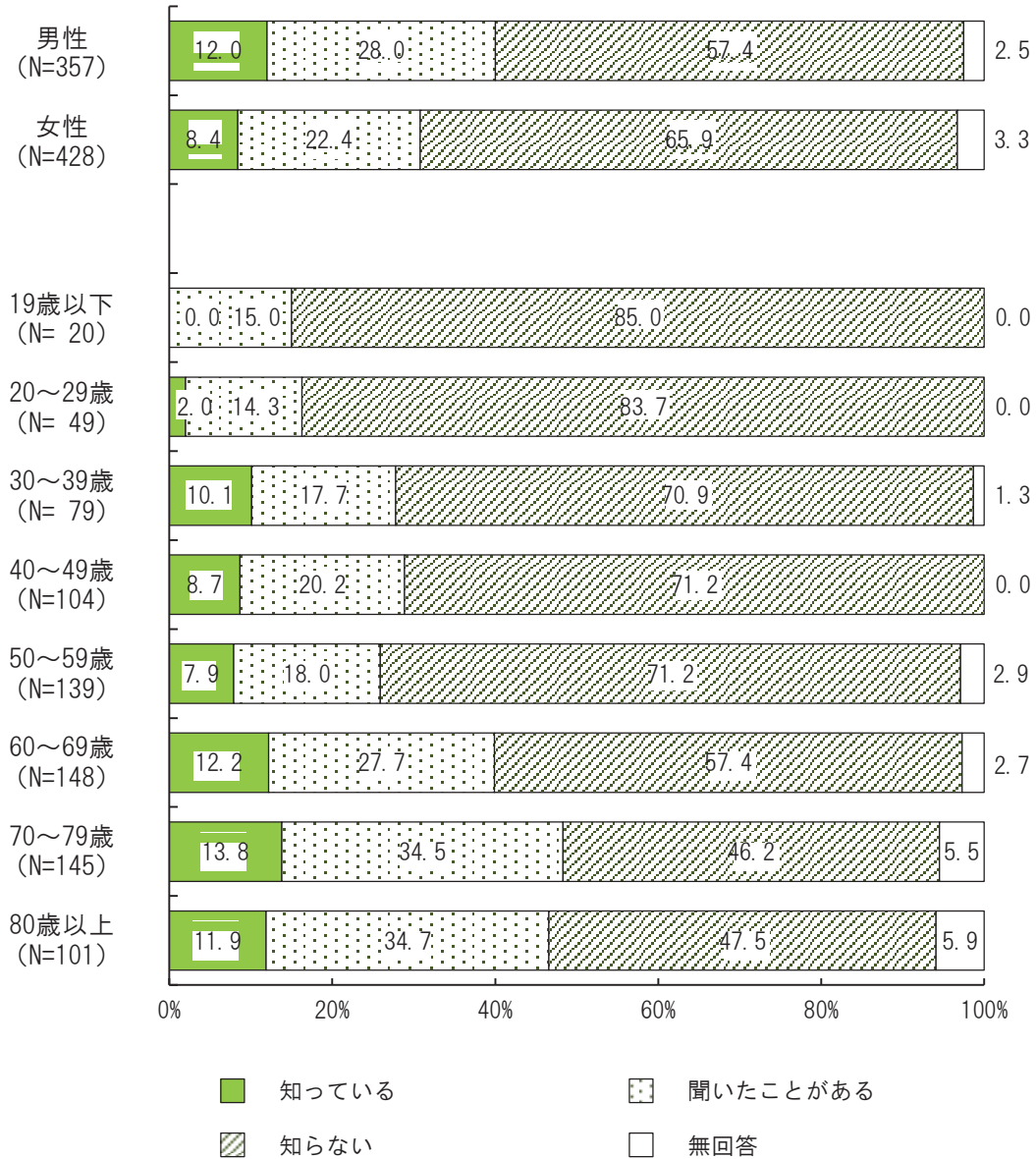
問9 牧之原市では、この“公共施設の更新問題(老朽化問題)”に対応するための取り組みを行っています。あなたは、この取り組みを知っていましたか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



“公共施設の更新問題” への牧之原市の取り組みの把握状況は、「知らない」が62.1%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が25.0%、「知っている」が10.1%となっています。昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。



## クロス集計（性別・年齢別）



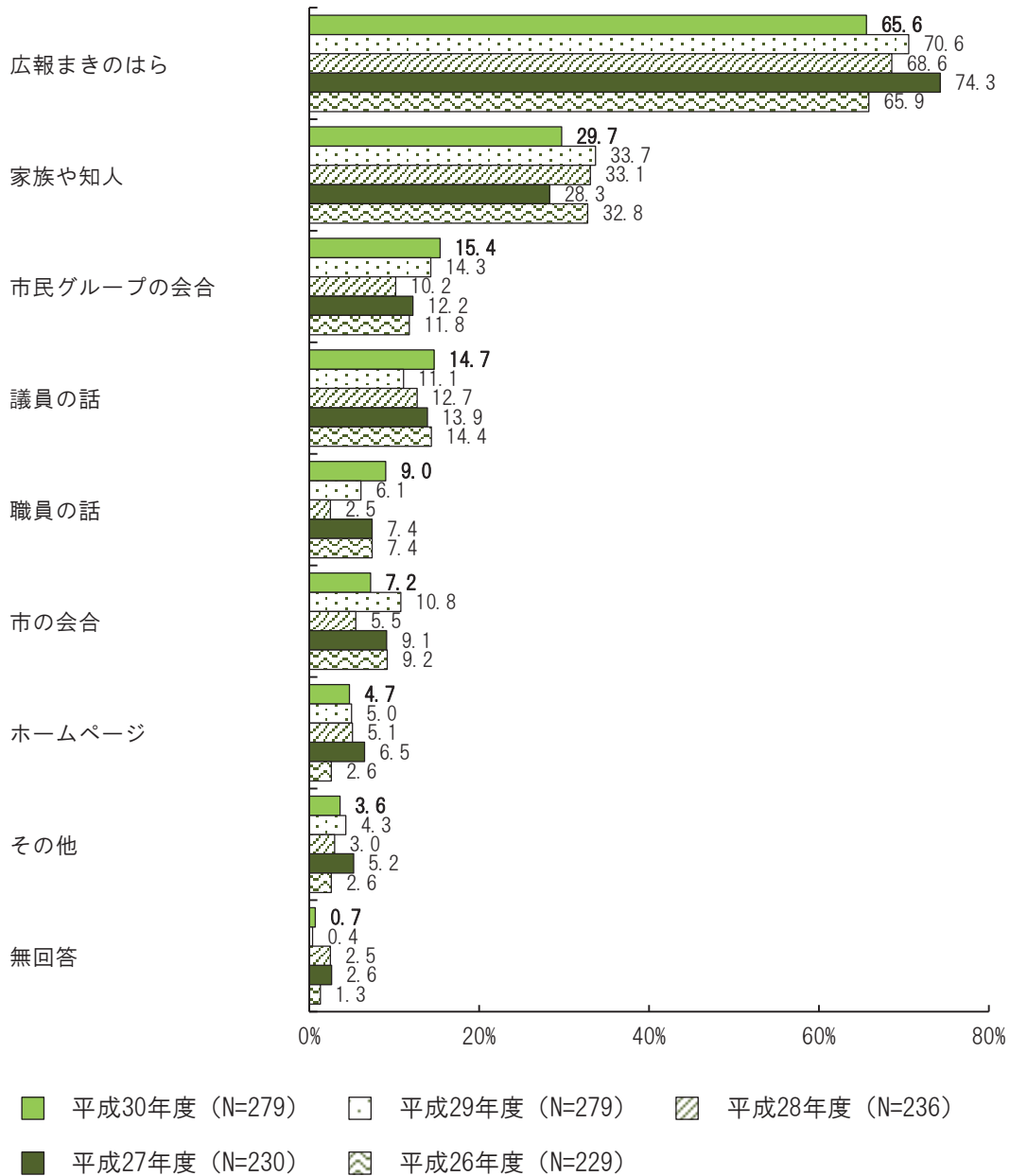
【性別】：男性において「聞いたことがある」が28.0%と女性より5.6ポイント高く、女性において「知らない」が65.9%と男性より8.5ポイント高くなっています。

【年齢別】：29歳以下において「知っている」が5%を下回って少なくなっています。また、70歳以上において「聞いたことがある」が3割を超えて多く、「知らない」が半数を下回って少なくなっています。

(10) “公共施設の更新問題” への牧之原市の取り組みの情報源

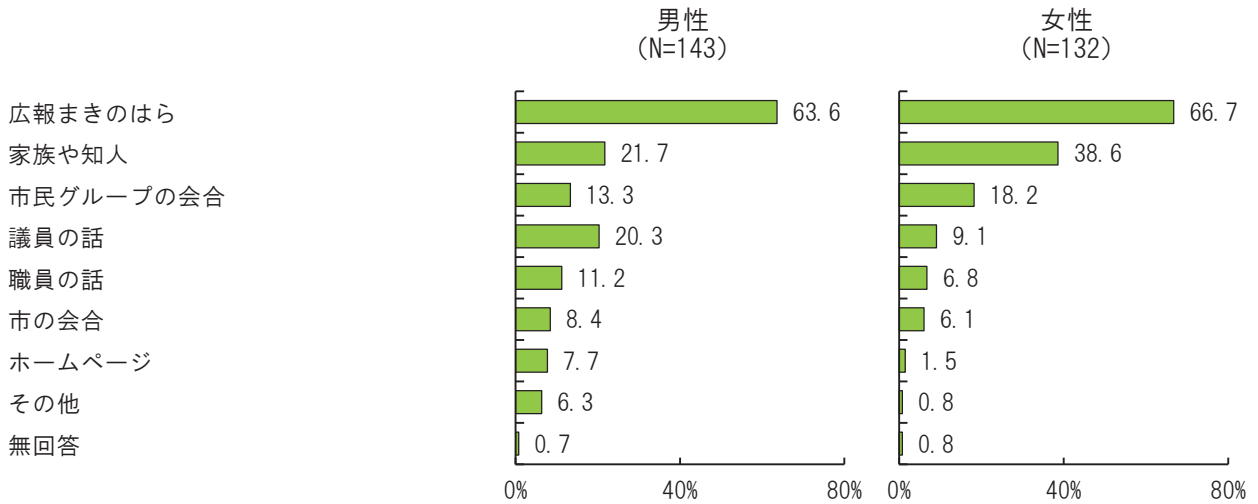
問9で「知っている」または「聞いたことがある」と答えた方のみ

問10 その情報を何で見聞きましたか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



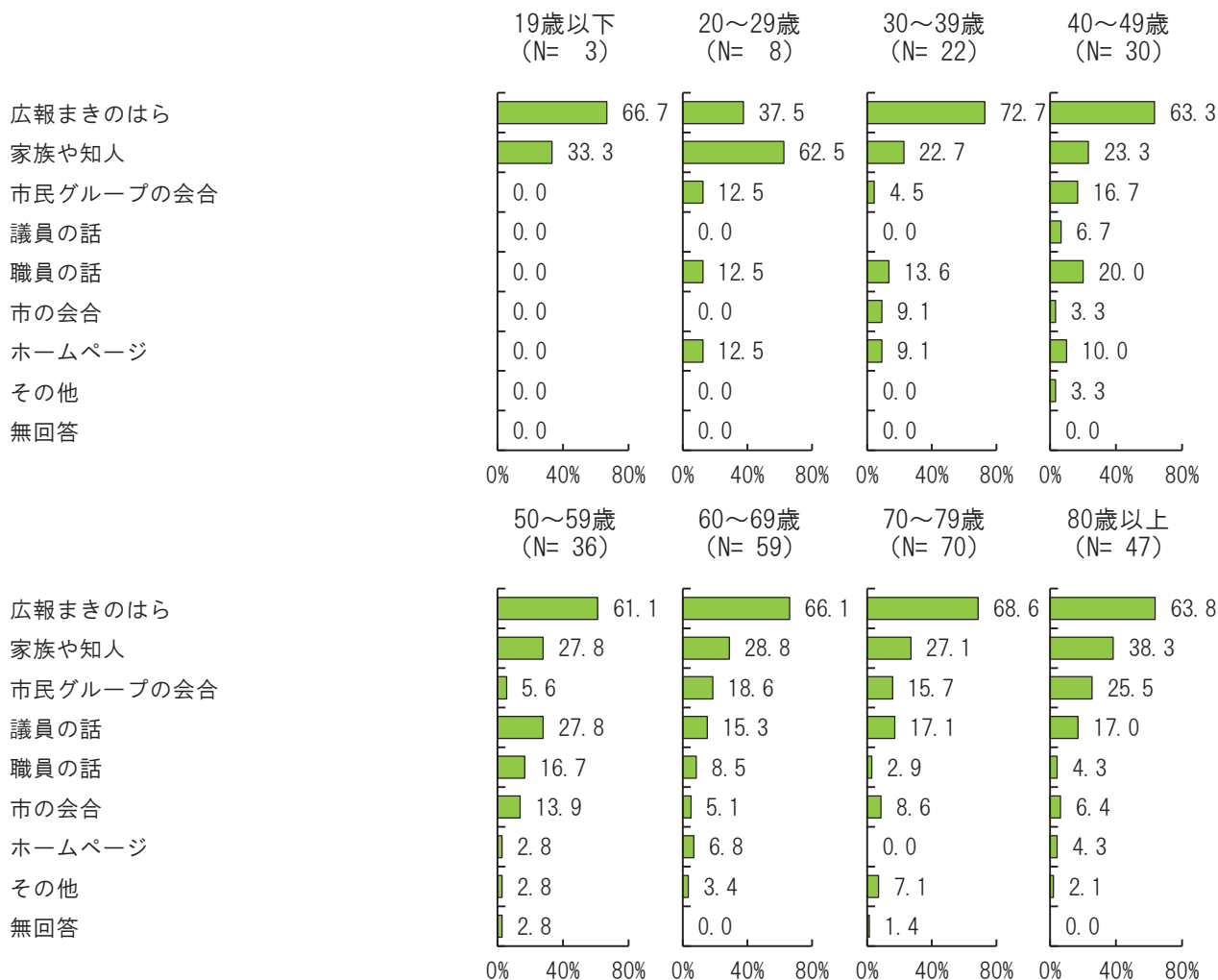
“公共施設の更新問題” への牧之原市の取り組みの情報源は、「広報まきのほら」が 65.6%と最も多く、次いで「家族や知人」が 29.7%、「市民グループの会合」が 15.4%などとなっています。昨年度と比較すると、「広報まきのほら」が 5.0 ポイント低くなっています。

## クロス集計（性別）



【性別】：男性において「議員の話」、「ホームページ」、「その他」が女性より多く、女性において「家族や知人」が38.6%と男性より16.9ポイント高くなっています。

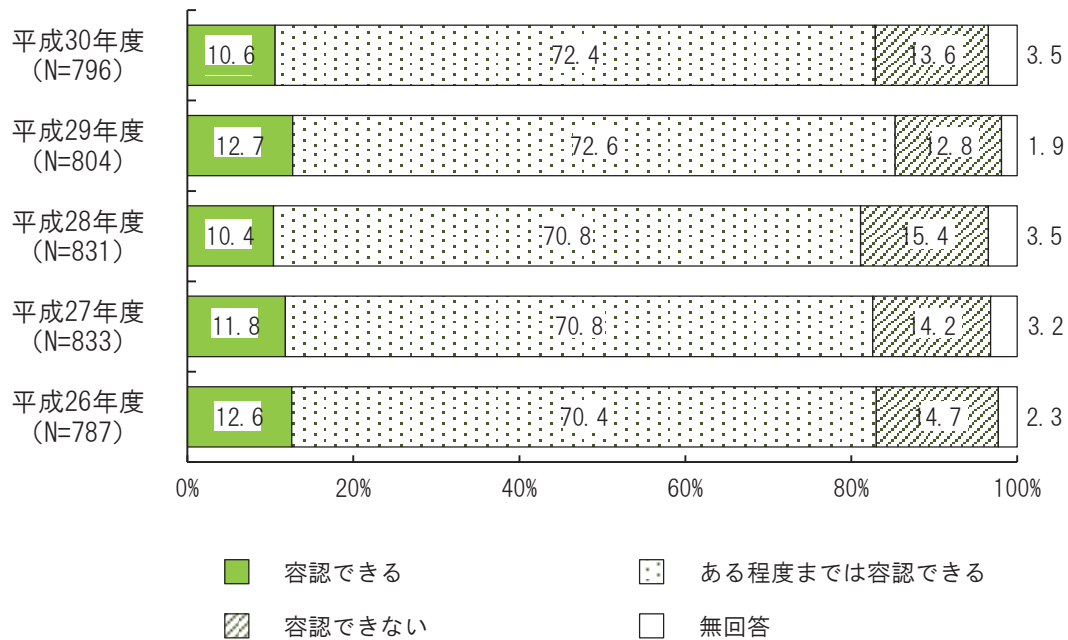
クロス集計（年齢別）



【年齢別】：30～39歳において「広報まきのほら」が7割を超えています。また、50～59歳において「議員の話」が27.8%と多くなっています。さらに、80歳以上においては「家族や知人」、「市民グループの会合」が多くなっています。（サンプル数の少ない年齢区分については、コメントを割愛しています。）

## (11) 施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるか

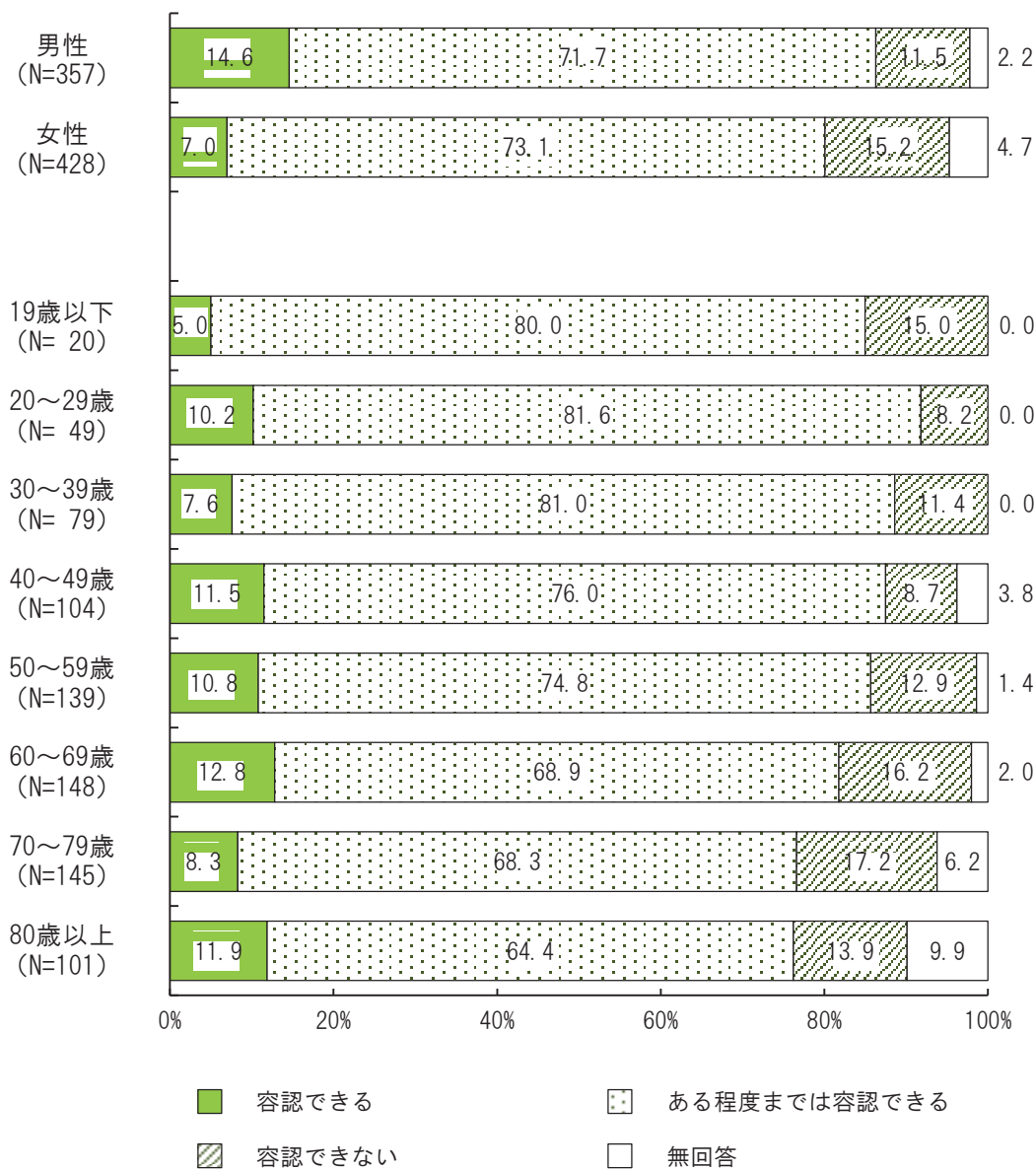
問 11 “公共施設の更新問題(老朽化問題)”への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりしたりする場合があります。あなたは、このことに対してどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



施設の廃止や使用料の値上がりを容認できるかについては、「ある程度までは容認できる」が72.4%と最も多く、次いで「容認できない」が13.6%、「容認できる」が10.6%となっています。また、『容認できる』（「容認できる」＋「ある程度までは容認できる」）は、83.0%となっています。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）



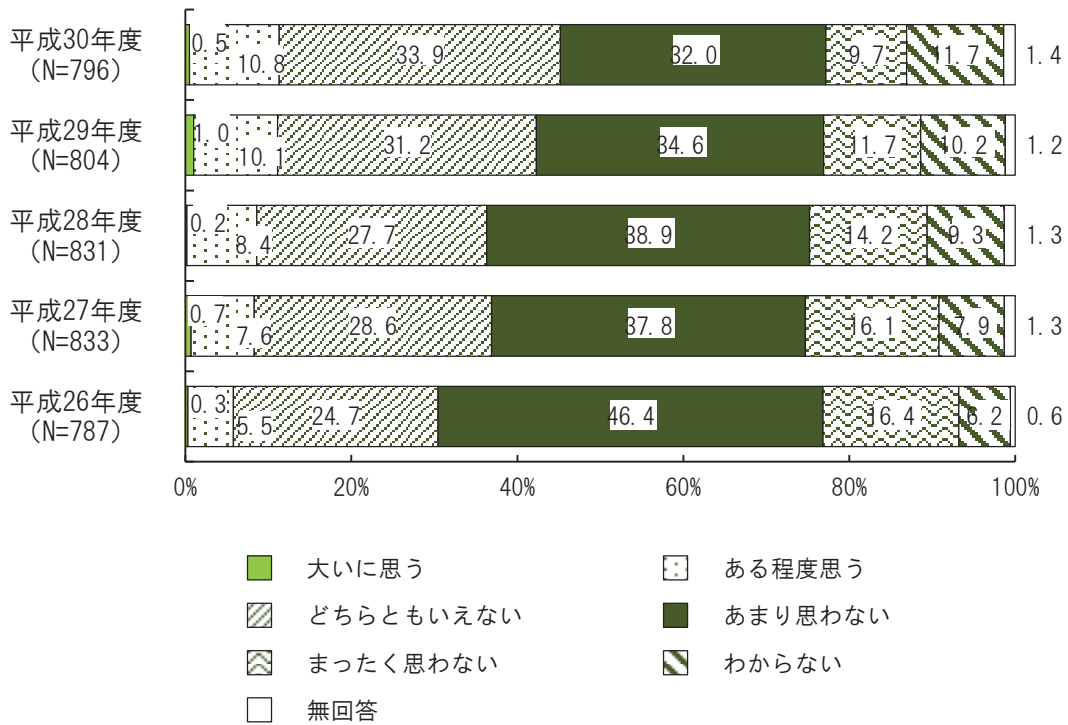
【性別】：男性において「容認できる」が14.6%と、女性より7.6ポイント高くなっています。また、『容認できる』は、男性が86.3%、女性が80.1%と、男性の方が多くなっています。

【年齢別】：39歳以下において「ある程度までは容認できる」が8割を超え、19歳以下・30～39歳・70～79歳において「容認できる」が1割を下回っています。また、20～29歳・40～49歳において「容認できない」が1割を下回っています。さらに、『容認できる』は、70歳以上において8割を下回って少なくなっています。

## ⑤産業・雇用について

## (12) 市の産業に活力があると思うか

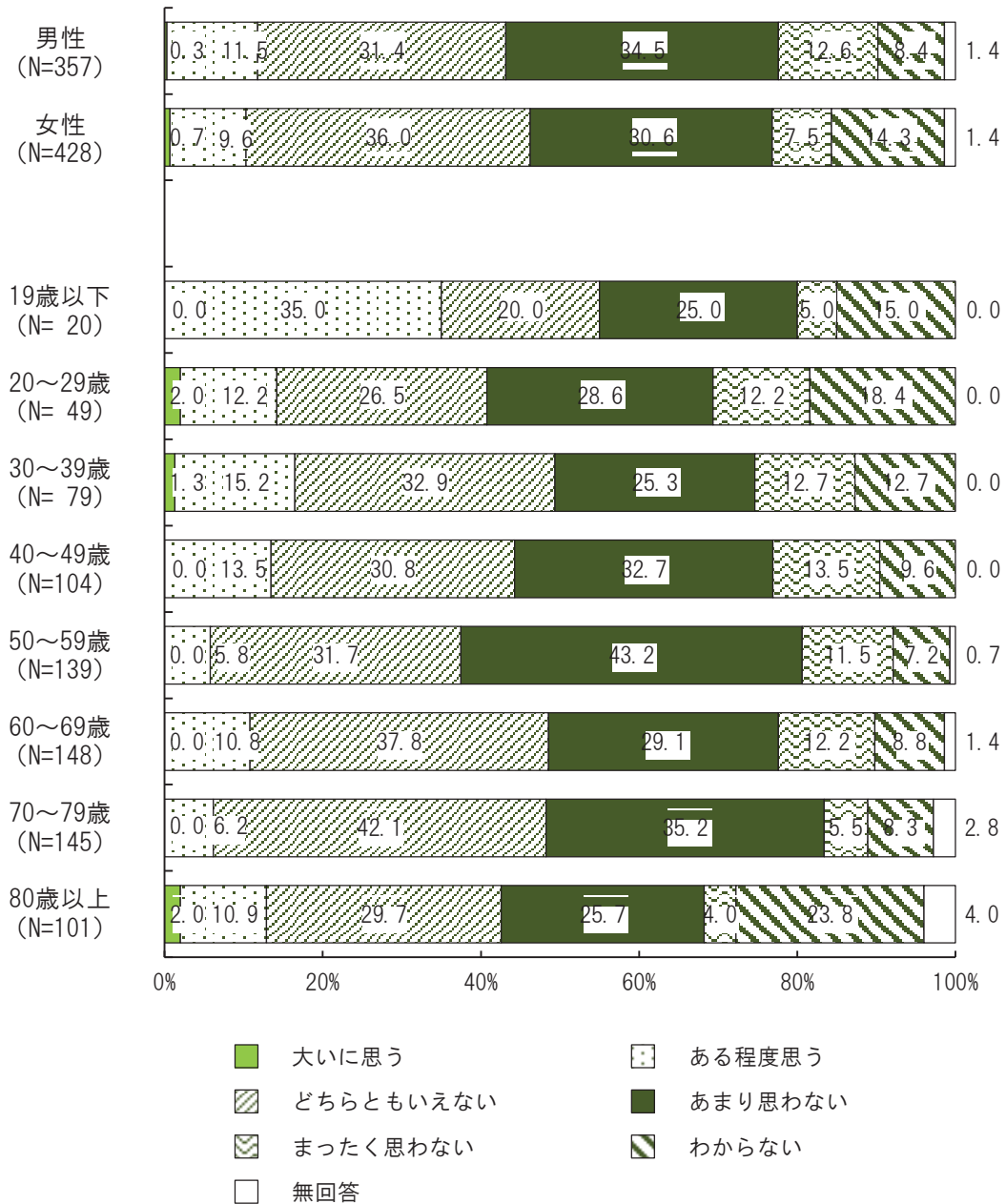
問 12 あなたは、市の産業に、活力(元気)があると思いますか。あてはまるものに1つ○印をつけてください。



市の産業に活力があると思うかについては、「どちらともいえない」が33.9%と最も多く、次いで「あまり思わない」が32.0%、「わからない」が11.7%などとなっています。また、『思う』（「大いに思う」＋「ある程度思う」）は11.3%、『思わない』（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）は41.7%となっています。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）



【性別】：男性において「まったく思わない」が12.6%と女性より5.1ポイント高く、女性において「わからない」が14.3%と男性より5.9ポイント高くなっています。また、『思わない』は、男性が47.1%、女性が38.1%と、男性の方が多くなっています。

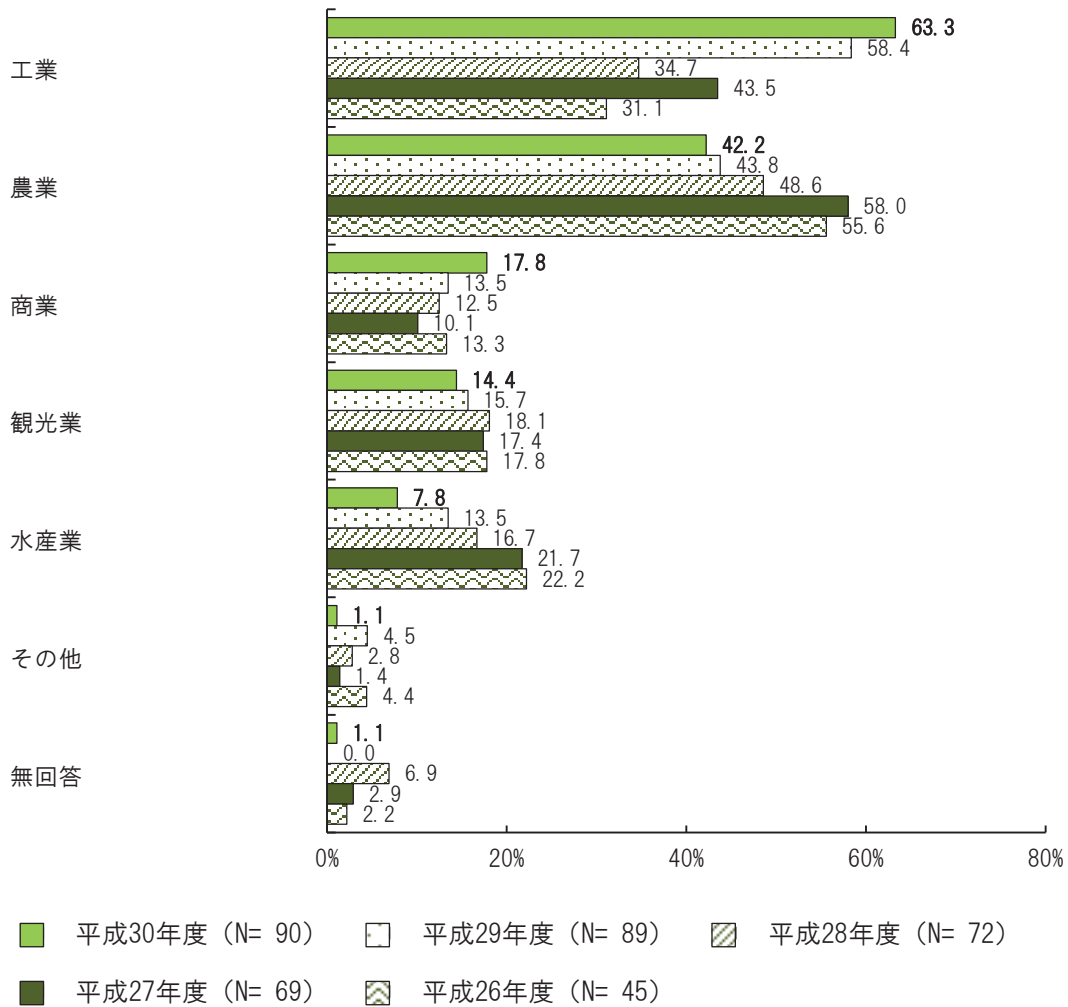
【年齢別】：19歳以下において「ある程度思う」が35.0%と多く、50～59歳において「あまり思わない」が43.2%と多くなっています。また、70～79歳において「どちらともいえない」が4割を超えています。さらに、80歳以上において「わからない」が23.8%と多くなっています。



## (13) 活力があると思う産業

問12で「大いに思う」または「ある程度思う」と答えた方のみ

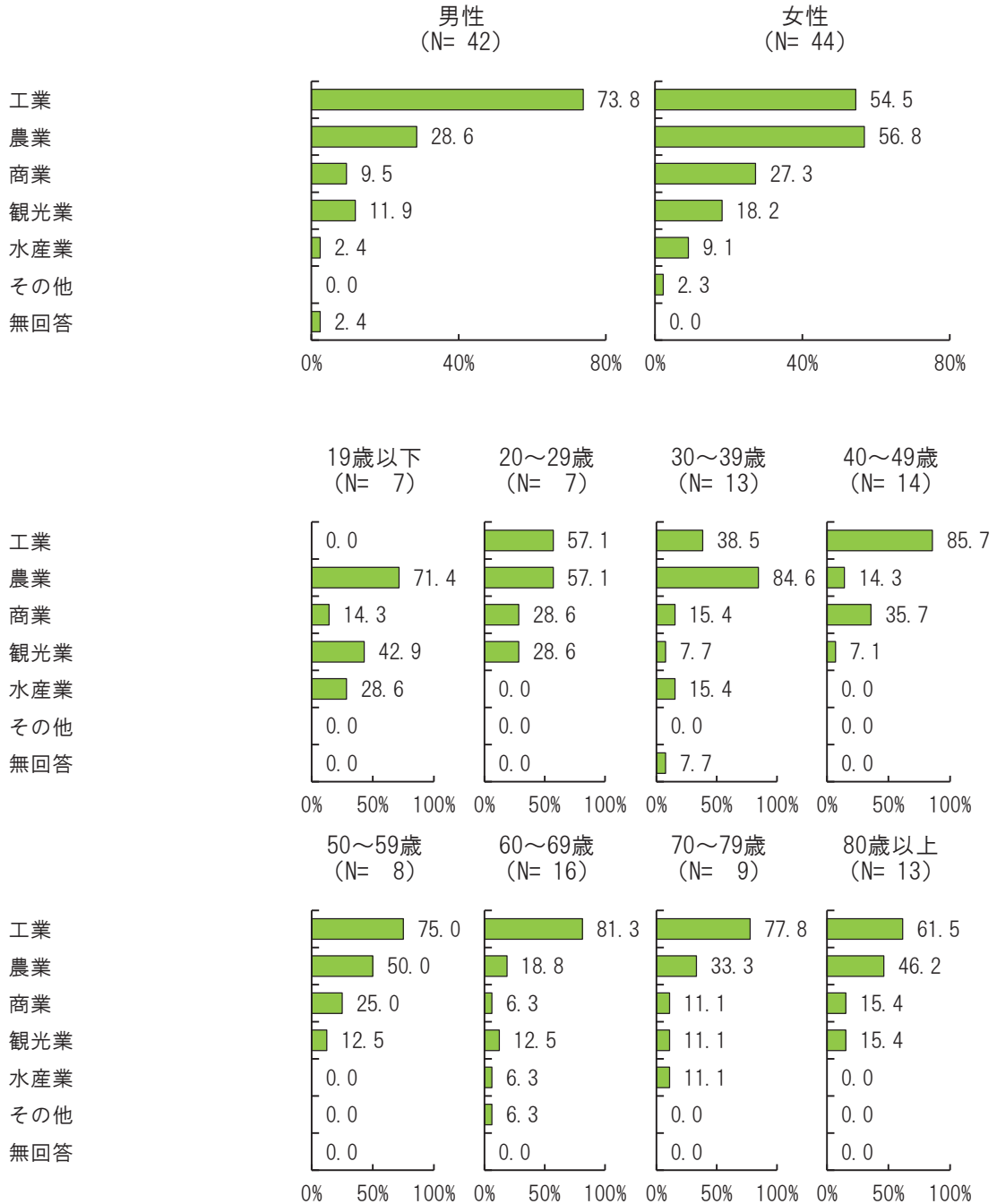
問13 あなたは、どの産業に活力(元気)があると思いますか。あてはまるもの全てに○印をつけてください。



活力があると思う産業は、「工業」が63.3%と最も多く、次いで「農業」が42.2%、「商業」が17.8%などとなっています。

昨年度と比較すると、「水産業」が5.7ポイント低くなっています。

クロス集計（性別・年齢別）

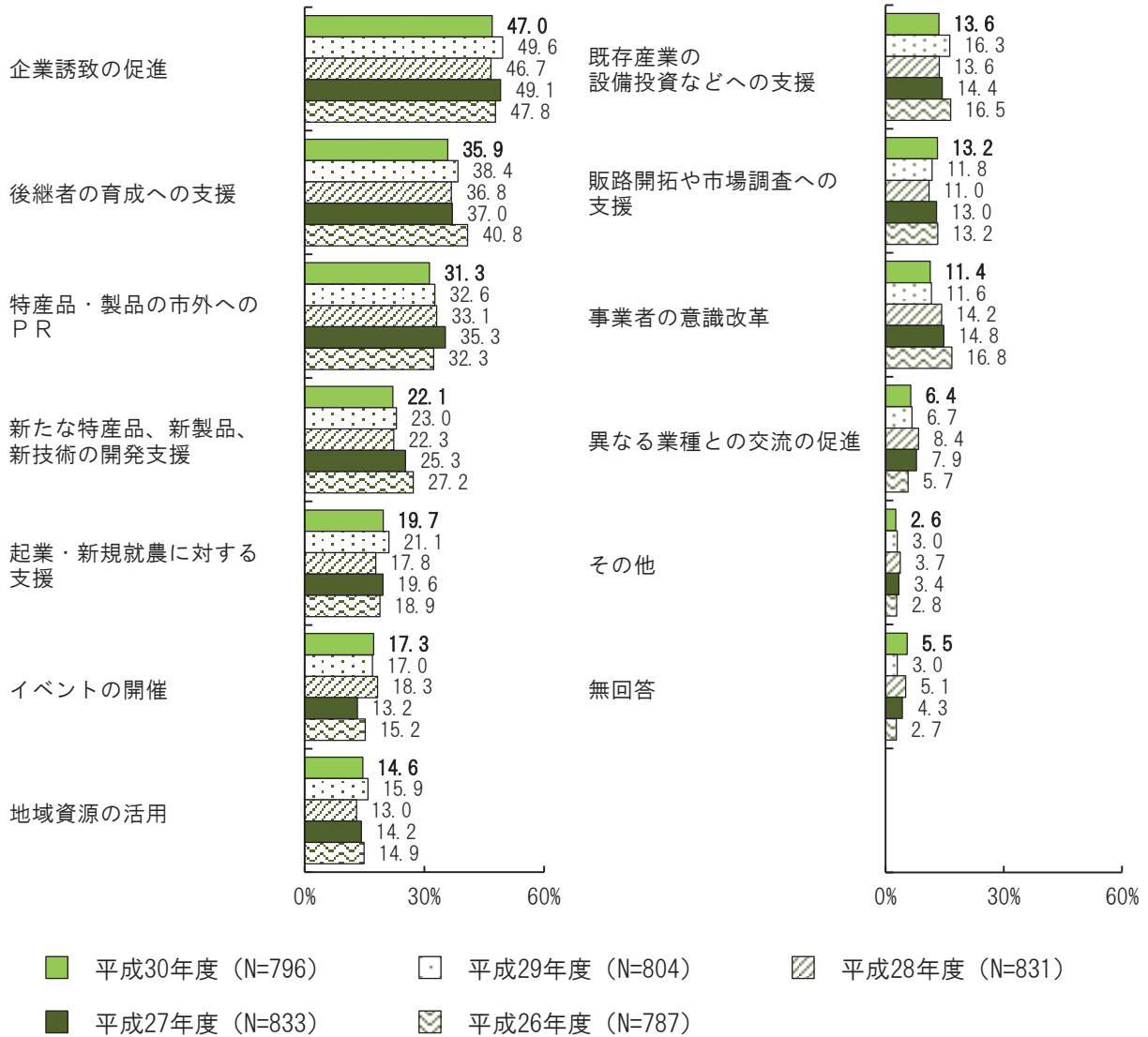


【性別】：男性において「工業」が73.8%と女性より19.3ポイント高く、女性において「農業」、「商業」、「観光業」、「水産業」が男性より多くなっています。

【年齢別】：(サンプル数が少ないため、コメントは割愛しています。)

(14) 産業が活力を持つために市が力を入れるべき取り組み

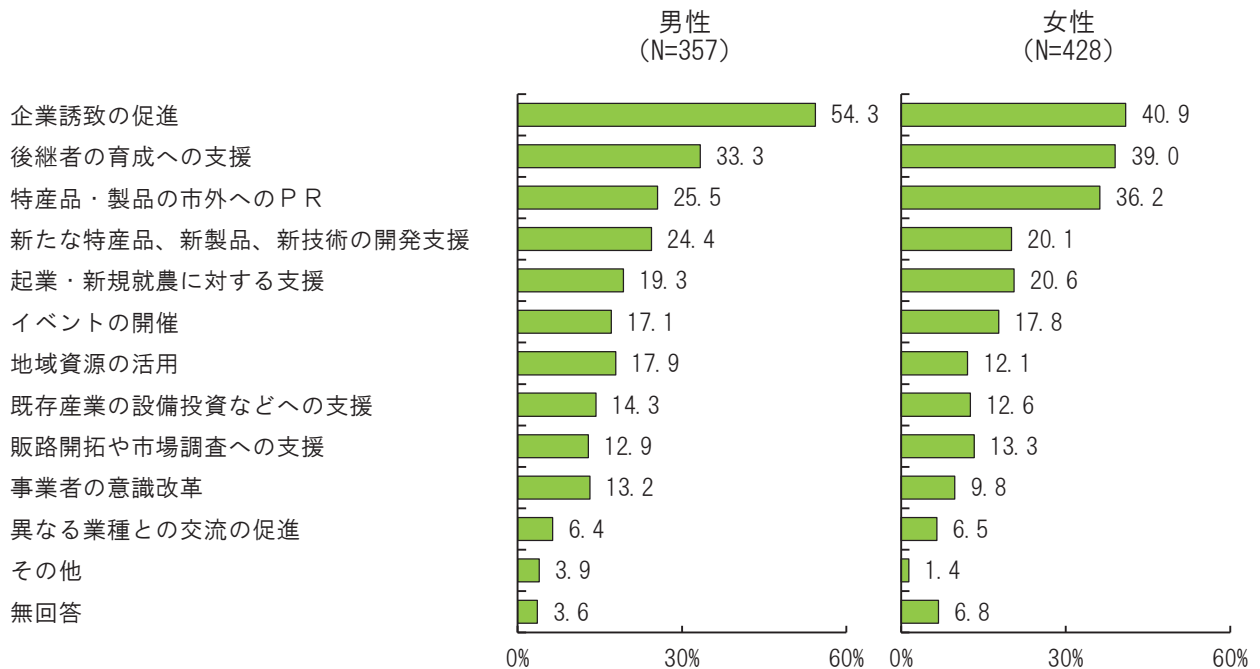
問 14 あなたは、市の産業が活力(元気)を持つために、市が力を入れるべき取り組みは何だと思えますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



産業が活力を持つために市が力を入れるべき取り組みは、「企業誘致の促進」が47.0%と最も多く、次いで「後継者の育成への支援」が35.9%、「特産品・製品の市外へのPR」が31.3%などとなっています。

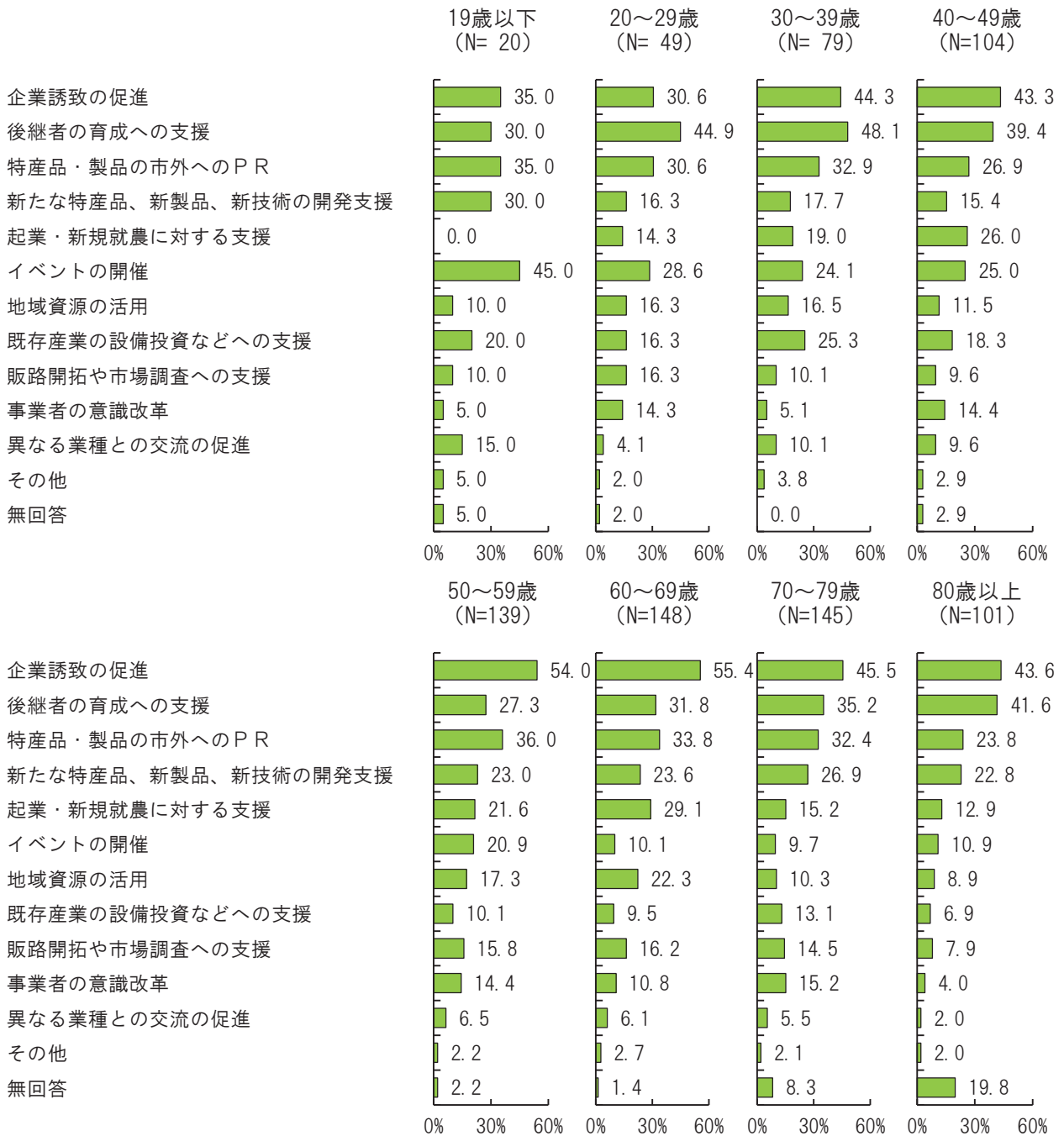
昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別）



【性別】：男性において「企業誘致の促進」、「地域資源の活用」が女性より多く、女性において「後継者の育成への支援」、「特産品・製品の市外へのPR」が男性より多くなっています。

## クロス集計（年齢別）

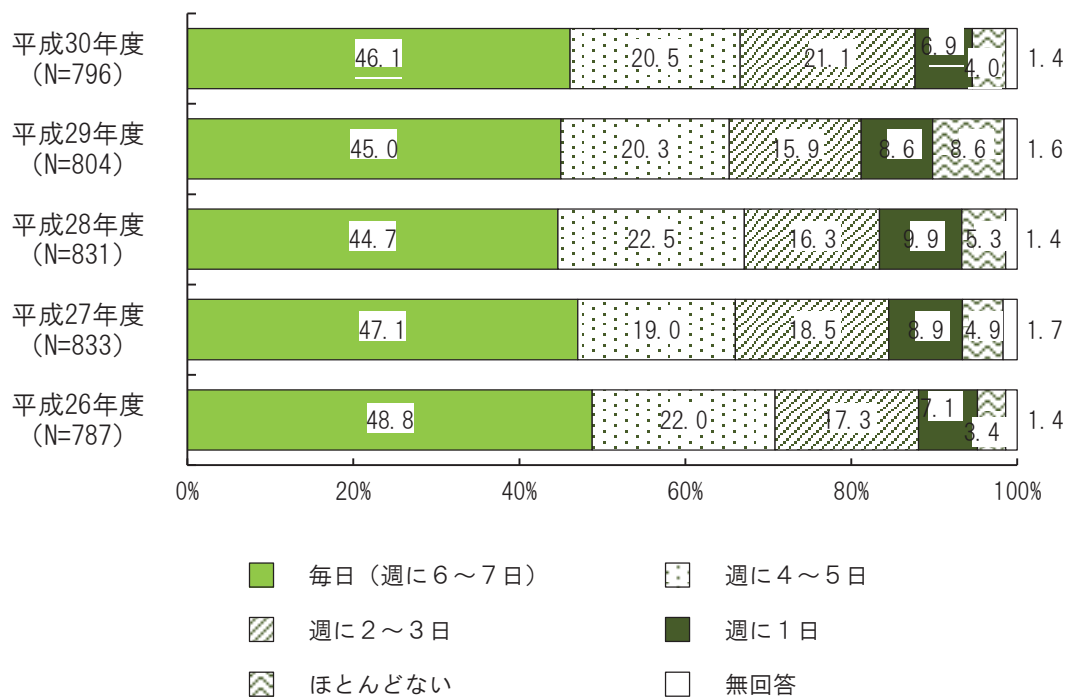


【年齢別】：19歳以下において「イベントの開催」が45.0%と多く、「起業・新規就農に対する支援」が0.0%と少なくなっています。また、30~39歳において「既存産業の設備投資などへの支援」が25.3%と多く、50~59歳において「後継者の育成への支援」が3割を下回っています。さらに、50~59歳・60~69歳においては「起業誘致の促進」が半数を超えて多く、60~69歳において「地域資源の活用」が22.3%と多くなっています。

◎地域活動について

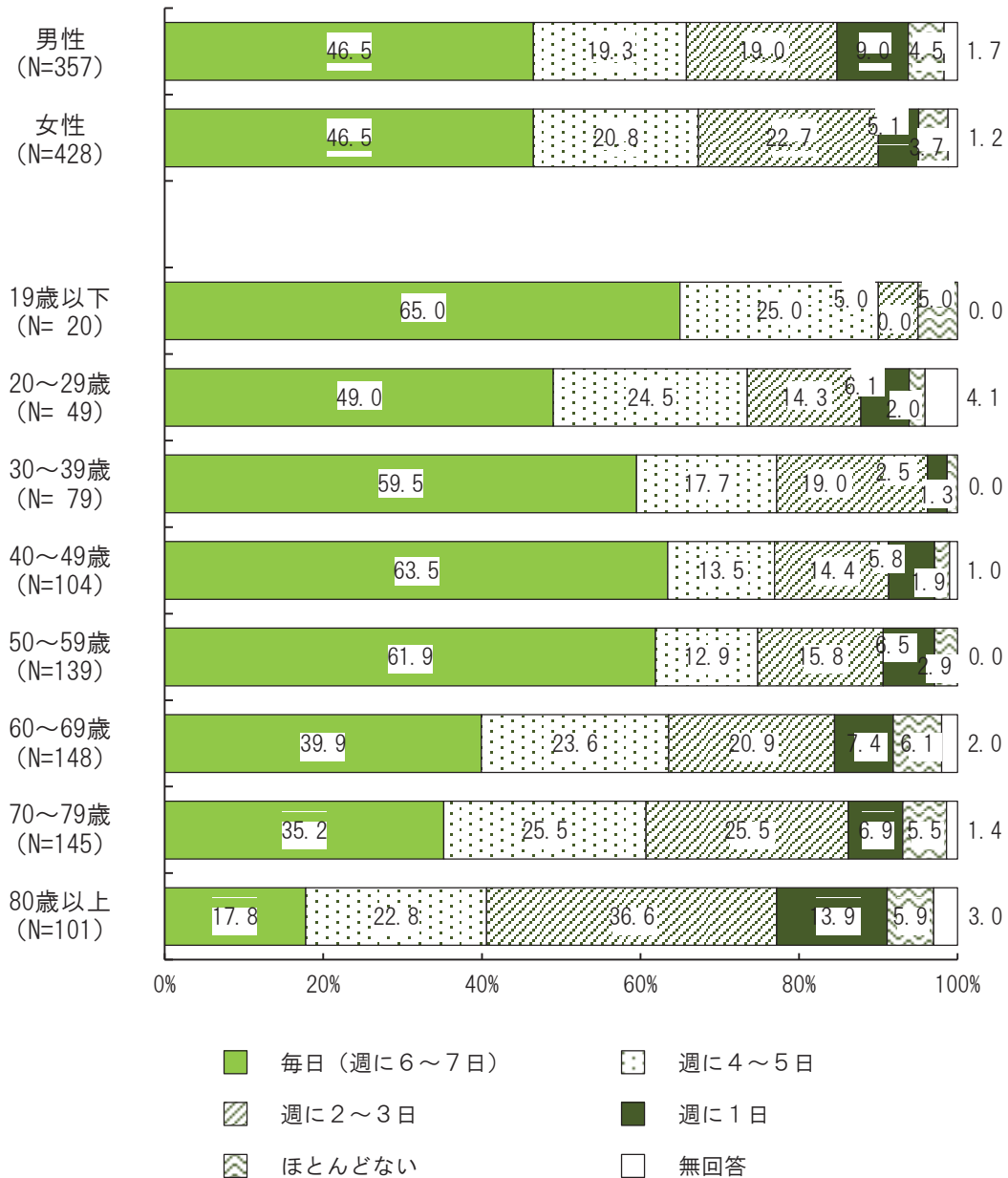
(15) 週あたりの外出頻度

問 15 あなたは、週に何日くらい外出しますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



週あたりの外出頻度は、「毎日 (週に6~7日)」が46.1%と最も多く、次いで「週に2~3日」が21.1%、「週に4~5日」が20.5%などとなっています。  
 昨年度と比較すると、「週に2~3日」が5.2ポイント高くなっています。

## クロス集計（性別・年齢別）

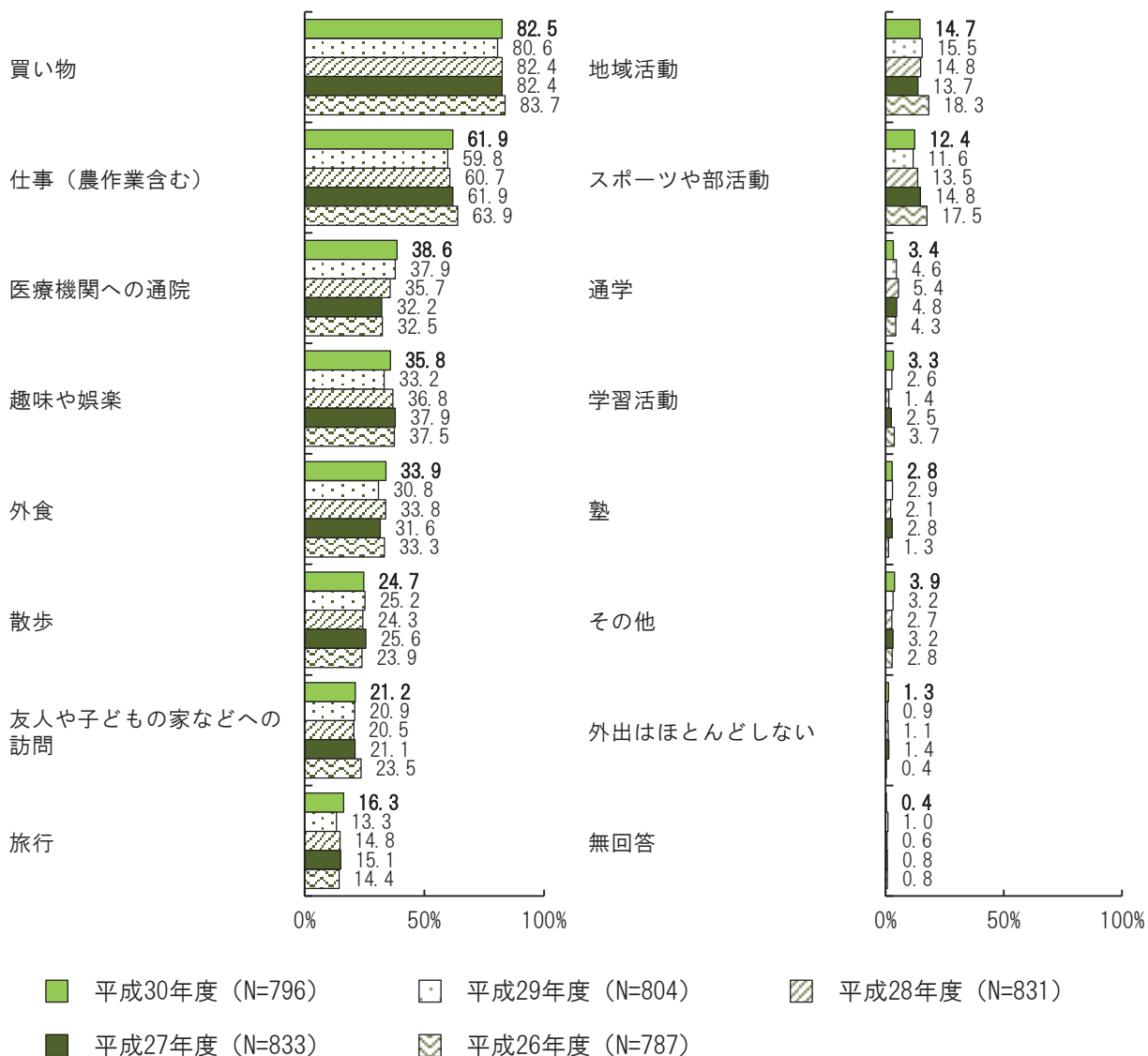


【性別】：大きな差異はみられません。

【年齢別】：19歳以下・40～49歳・50～59歳において「毎日（週に6～7日）」が6割を超えて多く、30～39歳・40～49歳・50～59歳において「週に4～5日」が2割を下回って少なくなっています。また、80歳以上において「毎日（週に6～7日）」が17.8%と少なく、「週に2～3日」、「週に1日」が多くなっています。

(16) 外出の目的

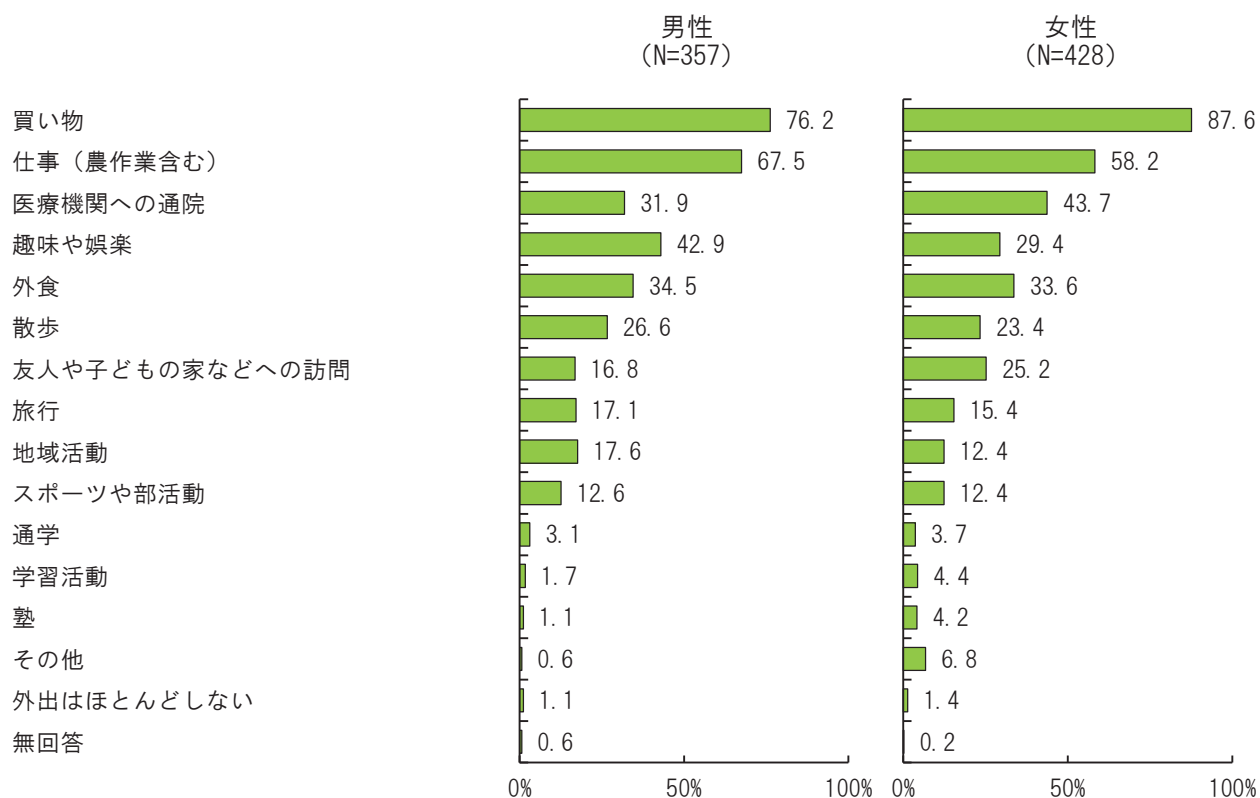
問16 あなたは、何のために外出しますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



外出の目的は、「買い物」が82.5%と最も多く、次いで「仕事（農作業含む）」が61.9%、「医療機関への通院」が38.6%などとなっています。  
 昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。



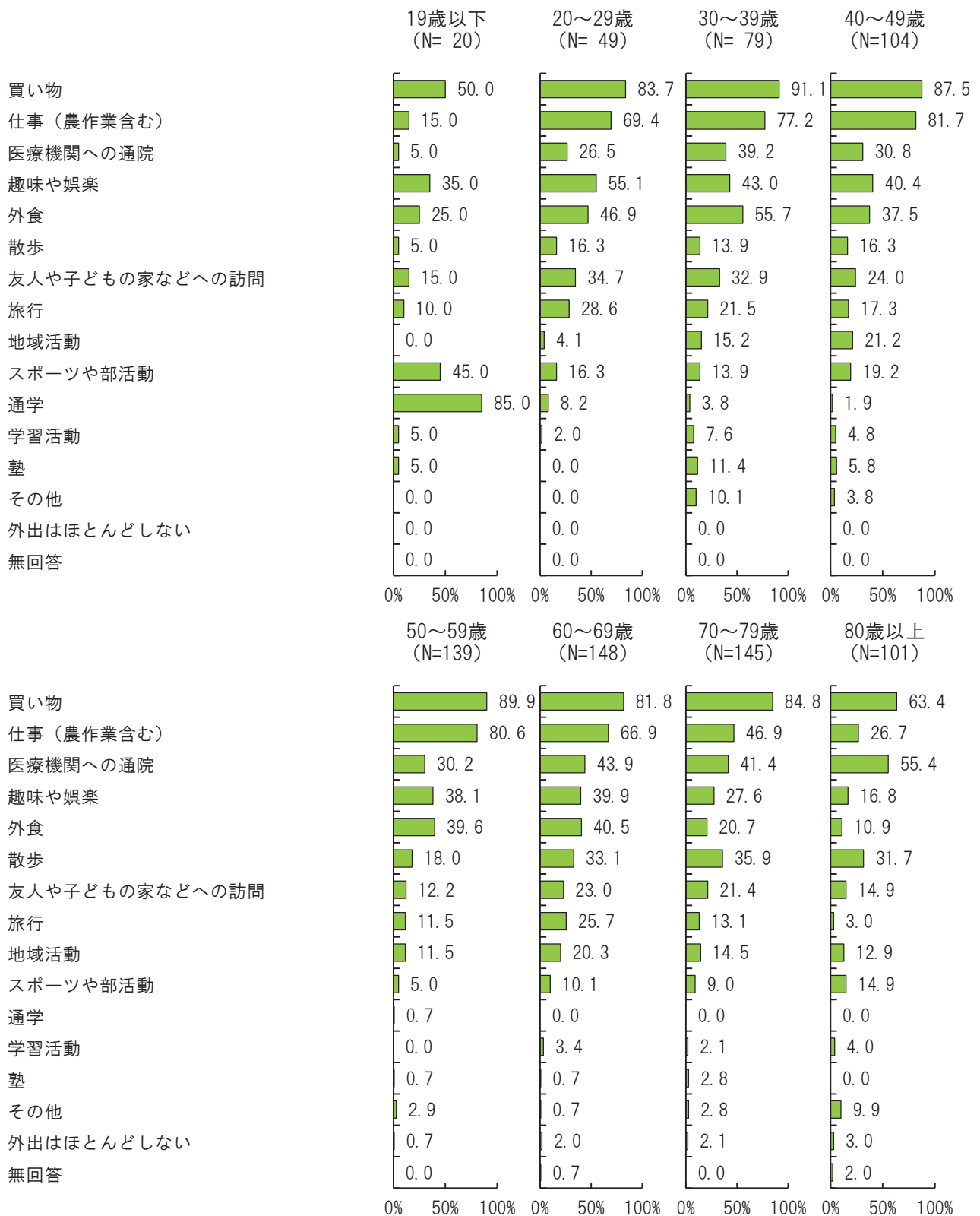
## クロス集計（性別）



【性別】：男性において「仕事（農作業含む）」、「趣味や娯楽」、「地域活動」が女性より多く、女性において「買い物」、「医療機関への通院」、「友人や子どもの家などへの訪問」、「その他」が男性より多くなっています。

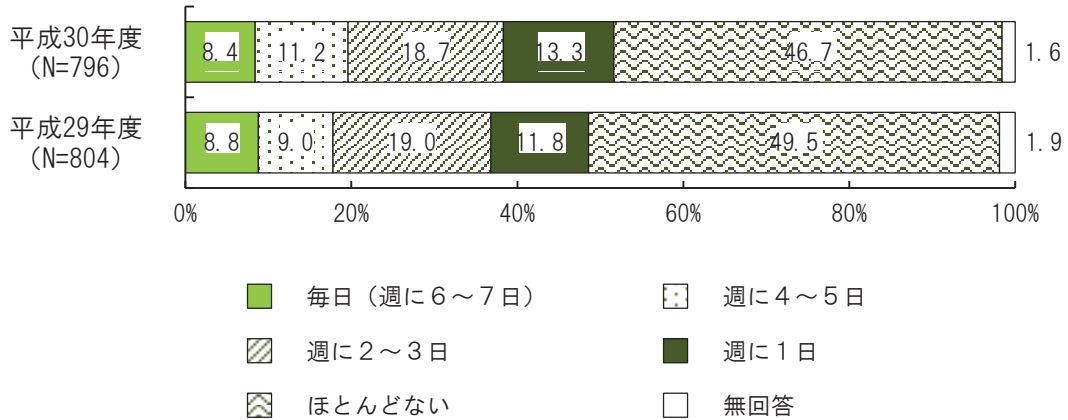
【年齢別】：19歳以下において「散歩」が5.0%と少なく、「スポーツや部活動」、「通学」が多くなっています。また、19歳以下・80歳以上において「買い物」、「仕事（農作業含む）」が少なく、20～29歳・30～39歳において「友人や子どもの家などへの訪問」が3割を超えて多くなっています。さらに、80歳以上においては「医療機関への通院」が55.4%と多く、「趣味や娯楽」、「外食」、「旅行」が少なくなっています。

クロス集計（年齢別）



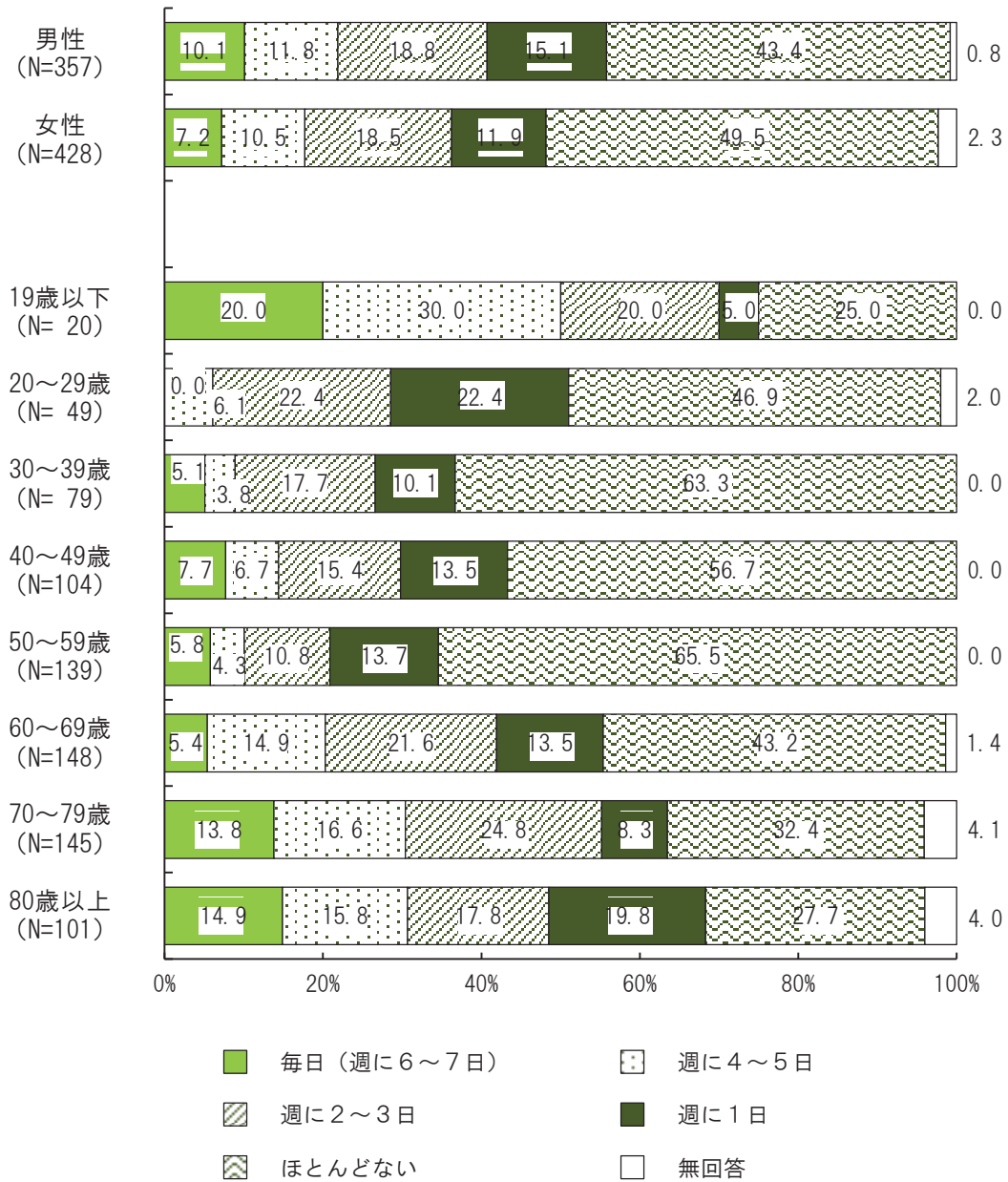
## (17) 週あたりの30分以上の運動をする頻度

問17 あなたは、30分以上の運動を週に何日くらいしますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



週あたりの30分以上の運動をする頻度は、「ほとんどない」が46.7%と最も多く、次いで「週に2~3日」が18.7%、「週に1日」が13.3%などとなっています。昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

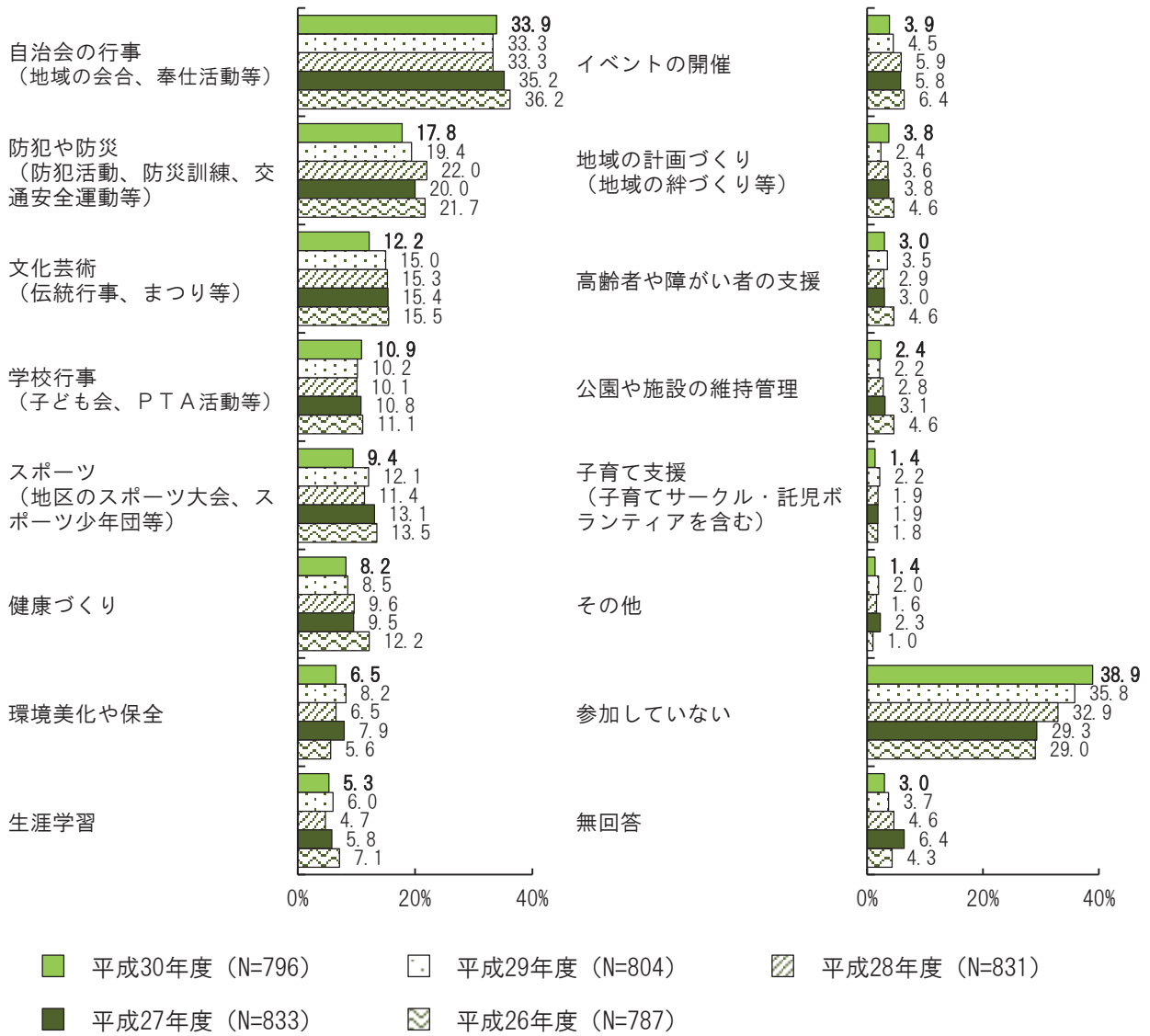
クロス集計（性別・年齢別）



【性別】：女性において「ほとんどない」が49.5%と、男性より6.1ポイント高くなっています。  
 【年齢別】：19歳以下において「毎日（週に6～7日）」、「週に4～5日」が多くなっています。また、30～39歳・40～49歳・50～59歳において「ほとんどない」が半数を超えて多くなっています。

(18) 現在参加している地域活動

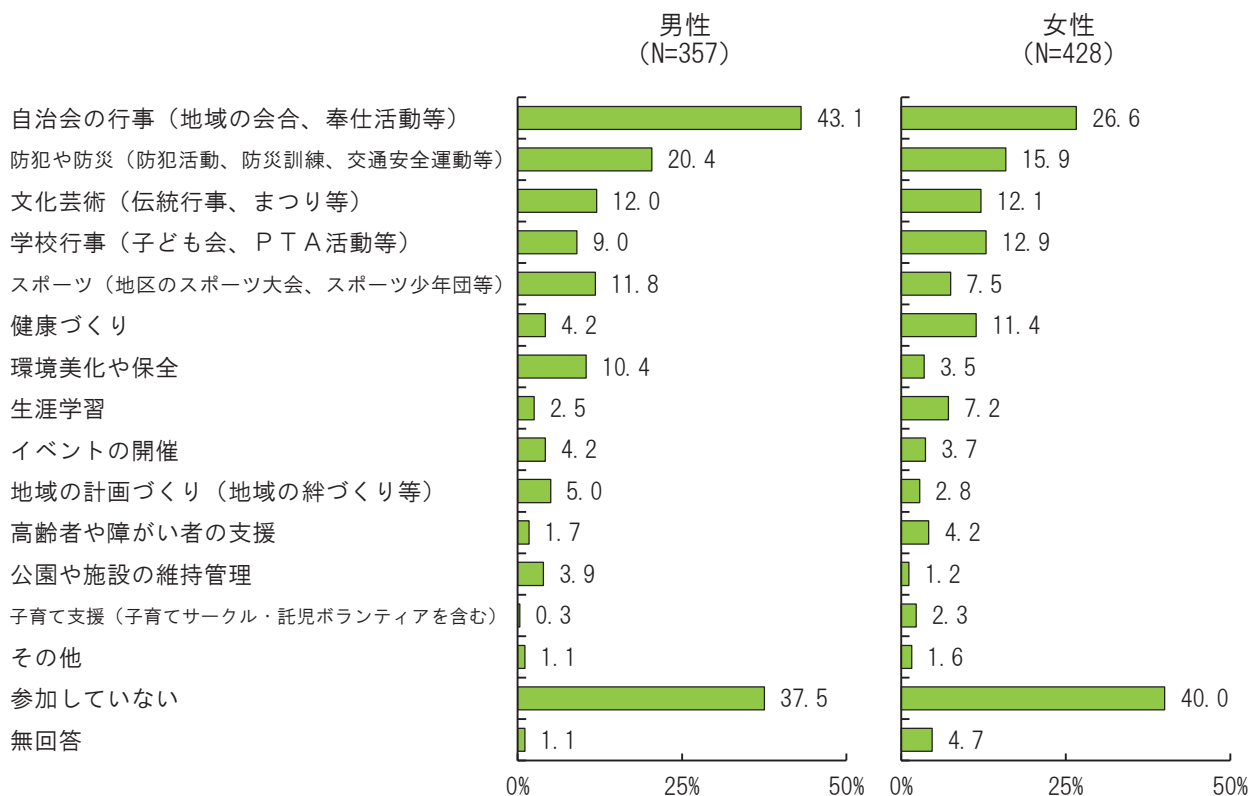
問 18 あなたが現在参加している地域活動は何ですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



現在参加している地域活動は、「参加していない」が38.9%と最も多く、次いで「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」が33.9%、「防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）」が17.8%などとなっています。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

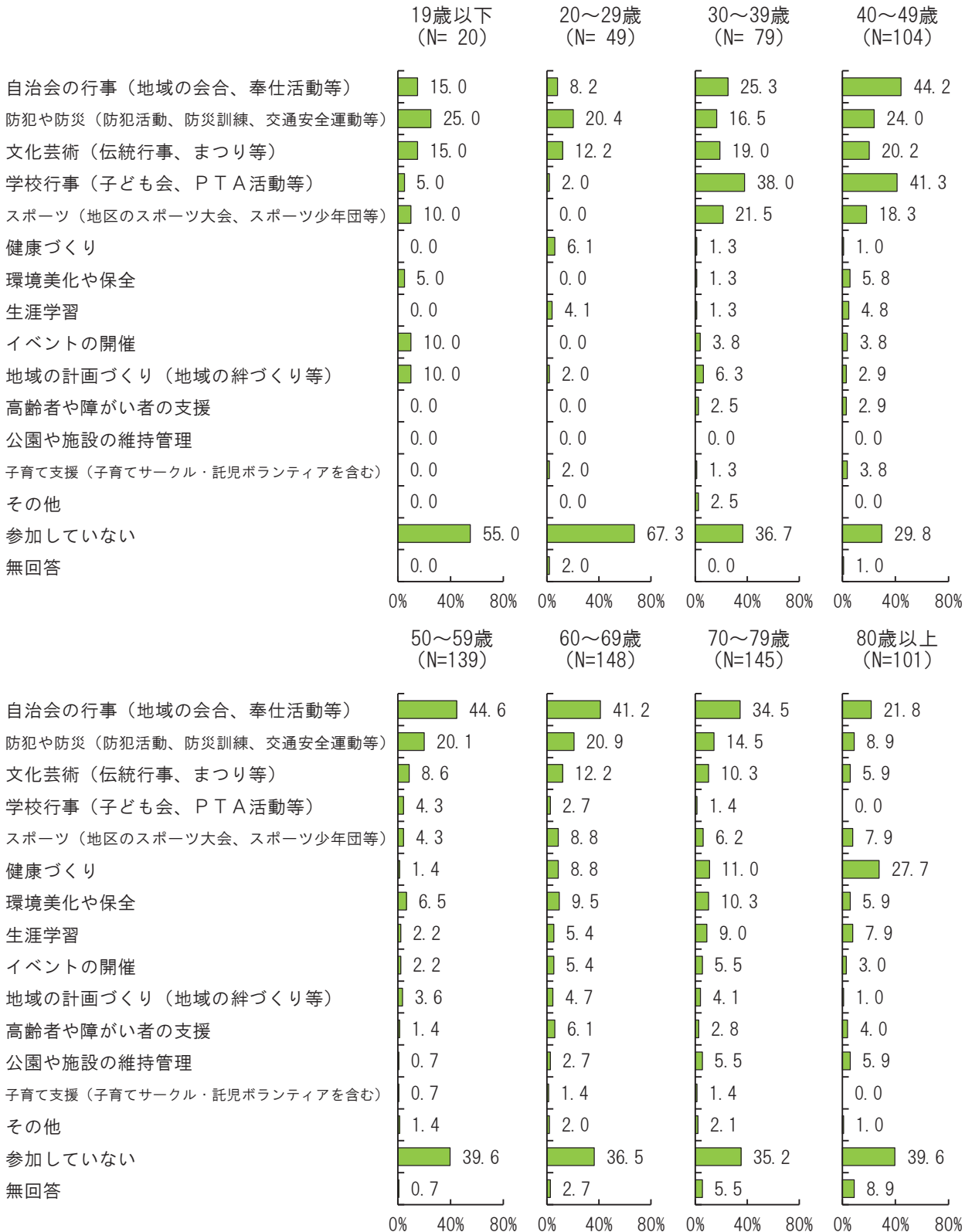
クロス集計（性別）



【性別】：男性において「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」、「環境美化や保全」が女性より多く、女性において「健康づくり」が11.4%と男性より7.2ポイント高くなっています。

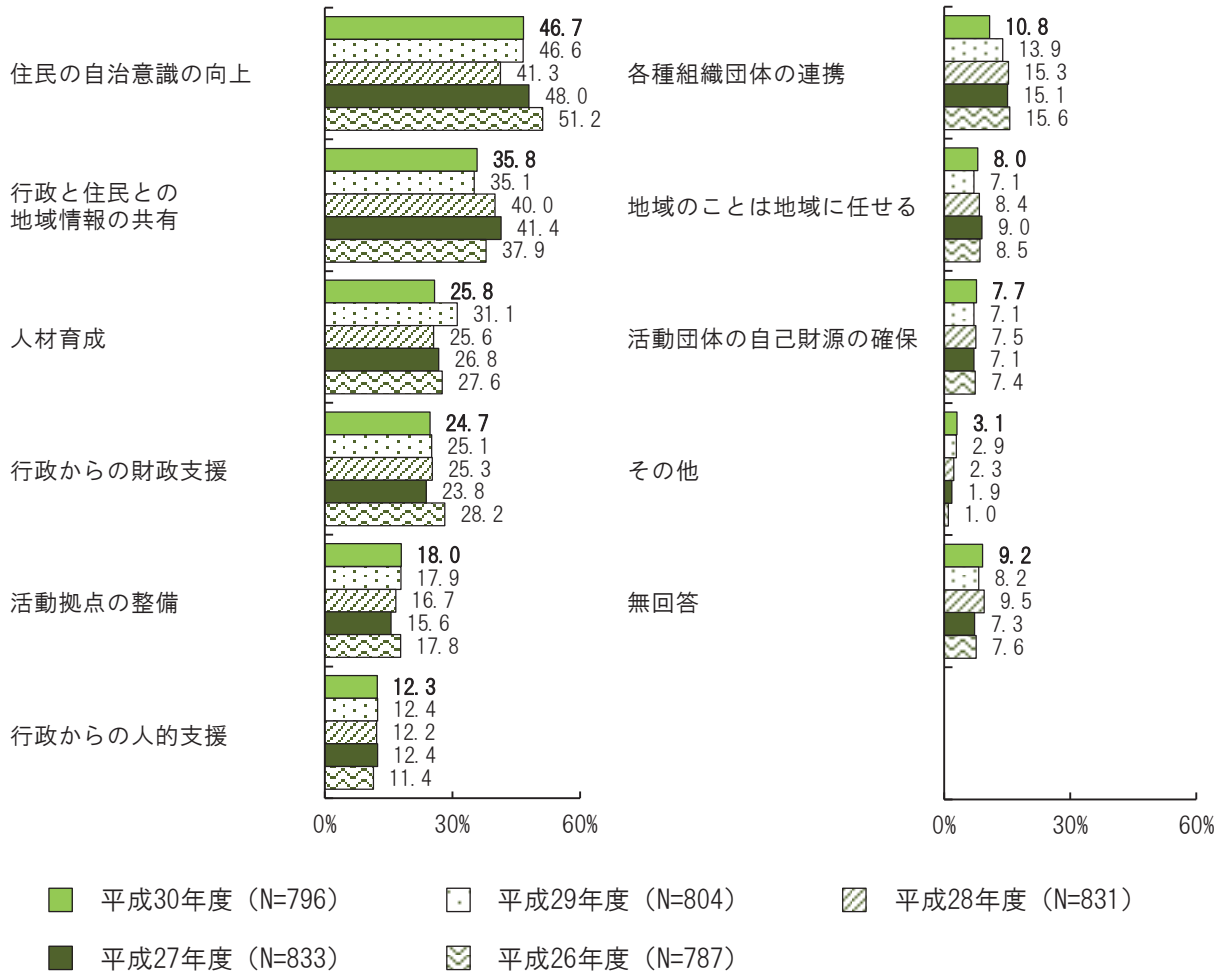
【年齢別】：29歳以下において「参加していない」が半数を超えて多く、「自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等）」が2割を下回って少なくなっています。また、30～39歳・40～49歳において「学校行事（子ども会、PTA活動等）」が3割を超えて多くなっています。さらに、80歳以上においては「防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）」が8.9%と少なく、「健康づくり」が27.7%と多くなっています。

クロス集計（年齢別）



(19) 地域活動の活発・活性化に必要なこと

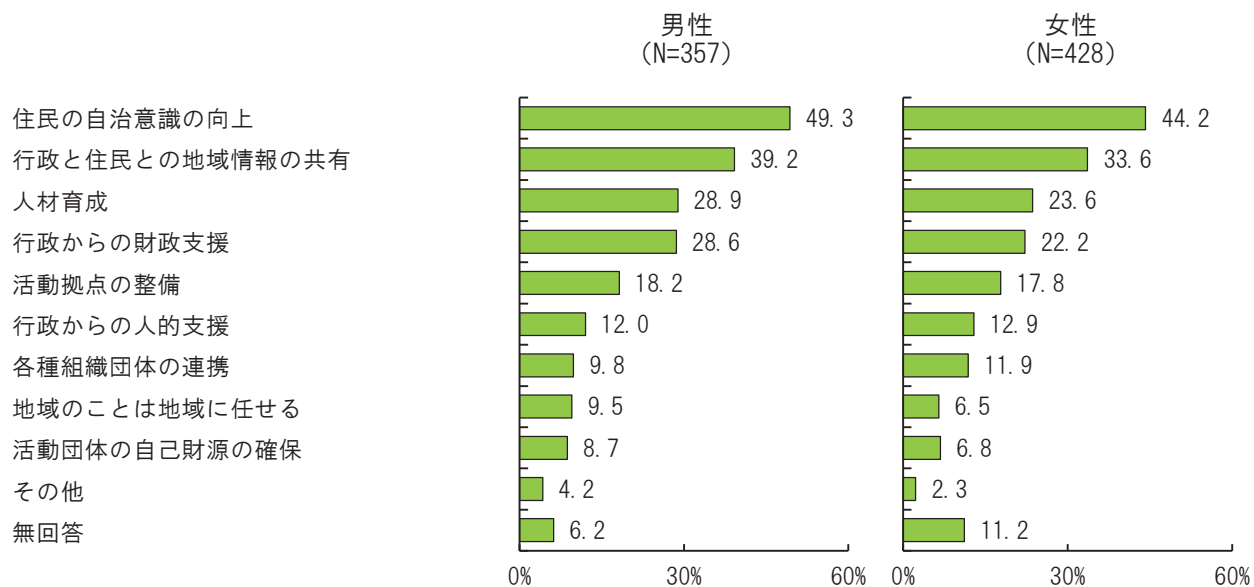
問19 あなたは、地域活動の活発・活性化に何が重要だと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



地域活動の活発・活性化に必要なことは、「住民の自治意識の向上」が46.7%と最も多く、次いで「行政と住民との地域情報の共有」が35.8%、「人材育成」が25.8%などとなっています。昨年度と比較すると、「人材育成」が5.3ポイント低くなっています。

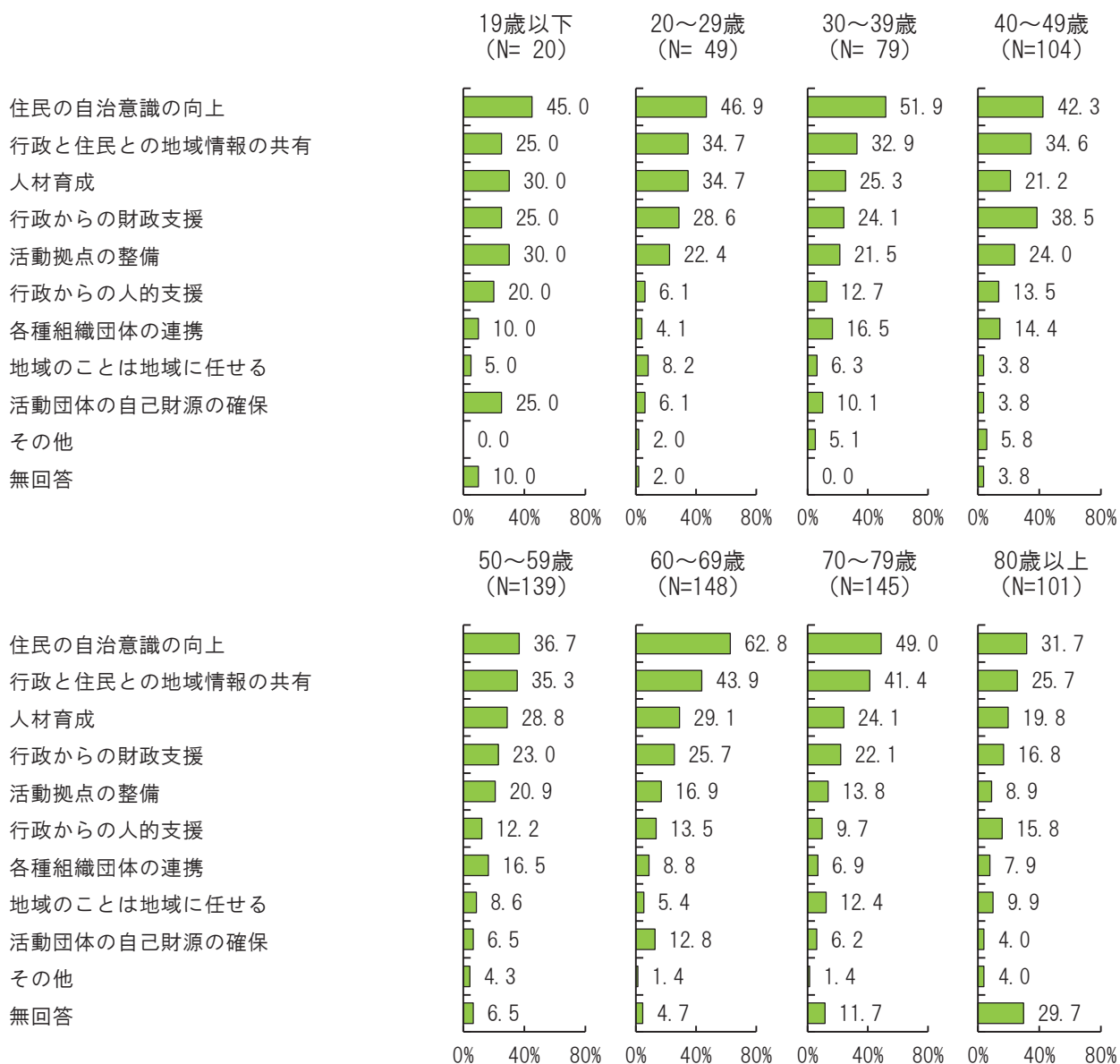


## クロス集計（性別）



【性別】：男性において「住民の自治意識の向上」、「行政と住民との地域情報の共有」、「人材育成」、「行政からの財政支援」が女性より多くなっています。

クロス集計（年齢別）

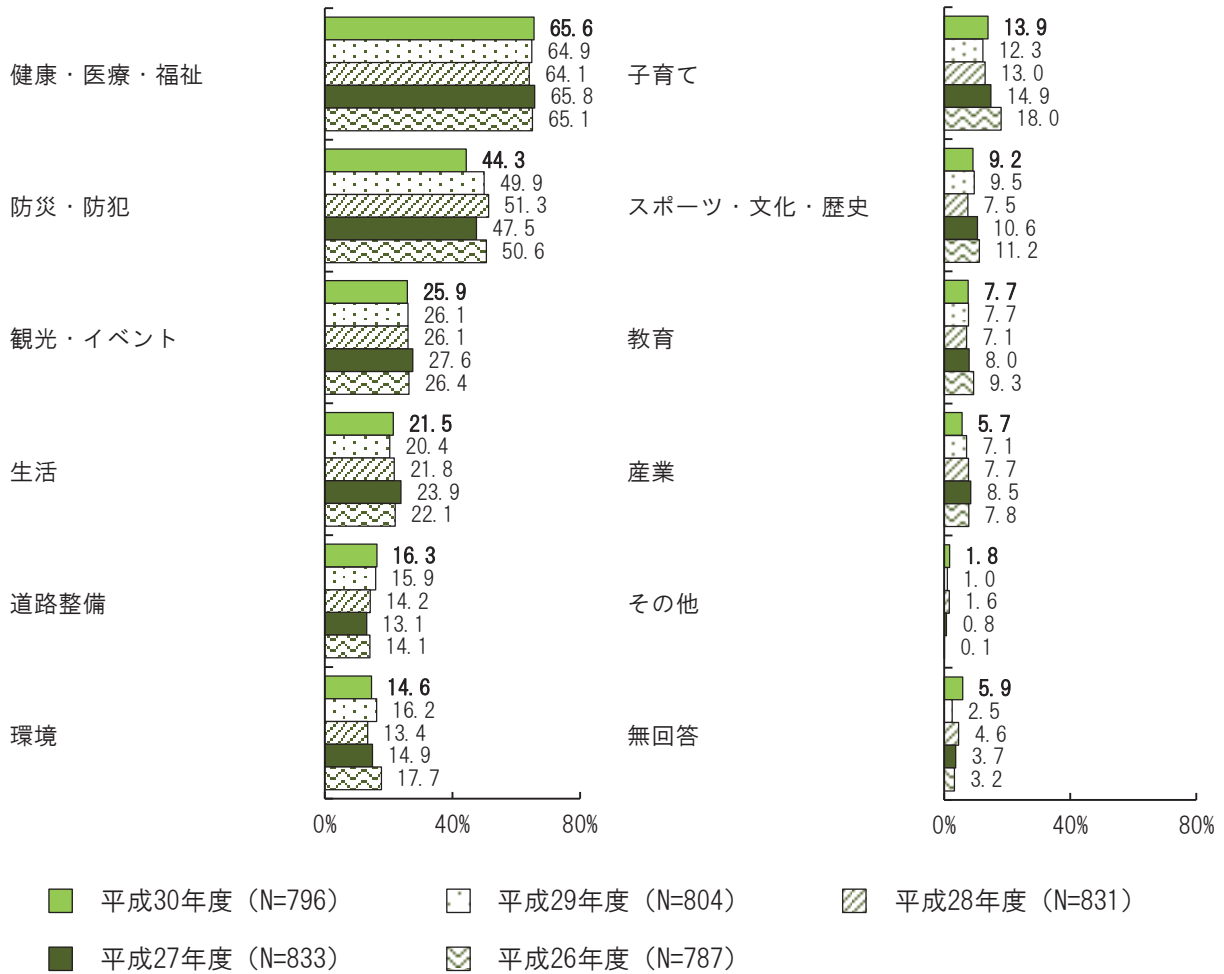


【年齢別】: 19歳以下において「活動団体の自己財源の確保」が25.0%と多く、60~69歳において「住民の自治意識の向上」が62.8%と多くなっています。また、60~69歳・70~79歳において「行政と住民との地域情報の共有」が4割を超えて多く、70~79歳において「地域のことは地域に任せる」が1割を超えています。さらに、80歳以上においては「行政からの財政支援」が16.8%と少なくなっています。

⑦市からの情報発信について

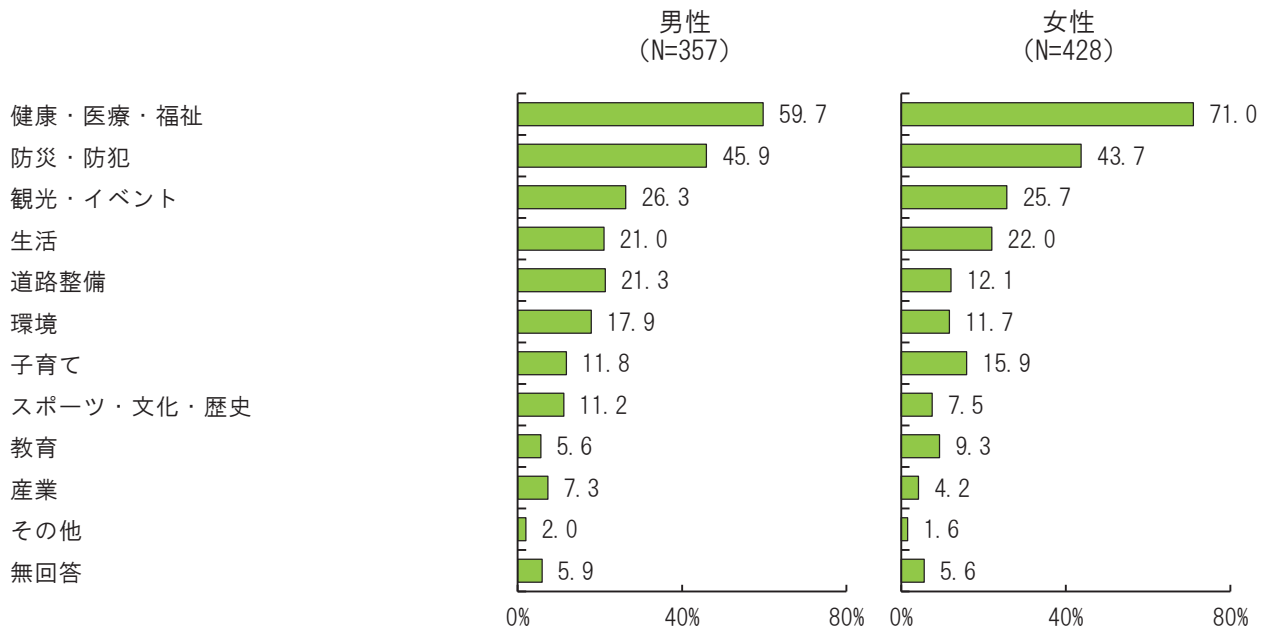
(20) 市から得たい情報

問 20 あなたは、市からどんな情報を得たいと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



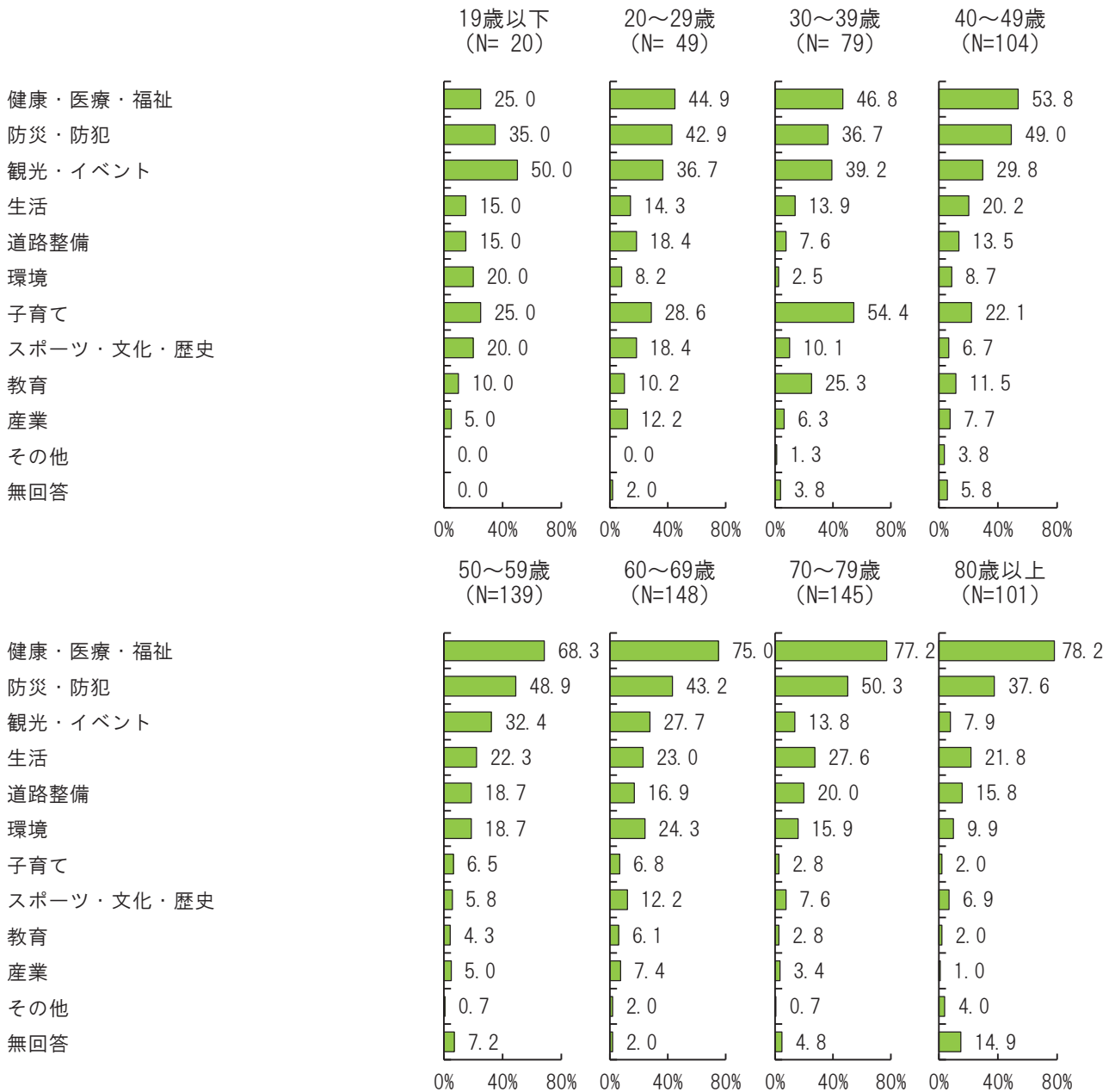
市から得たい情報は、「健康・医療・福祉」が65.6%と最も多く、次いで「防災・防犯」が44.3%、「観光・イベント」が25.9%などとなっています。  
 昨年度と比較すると、「防災・防犯」が5.6ポイント低くなっています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性において「道路整備」、「環境」が女性より多く、女性において「健康・医療・福祉」が71.0%と男性より11.3ポイント高くなっています。

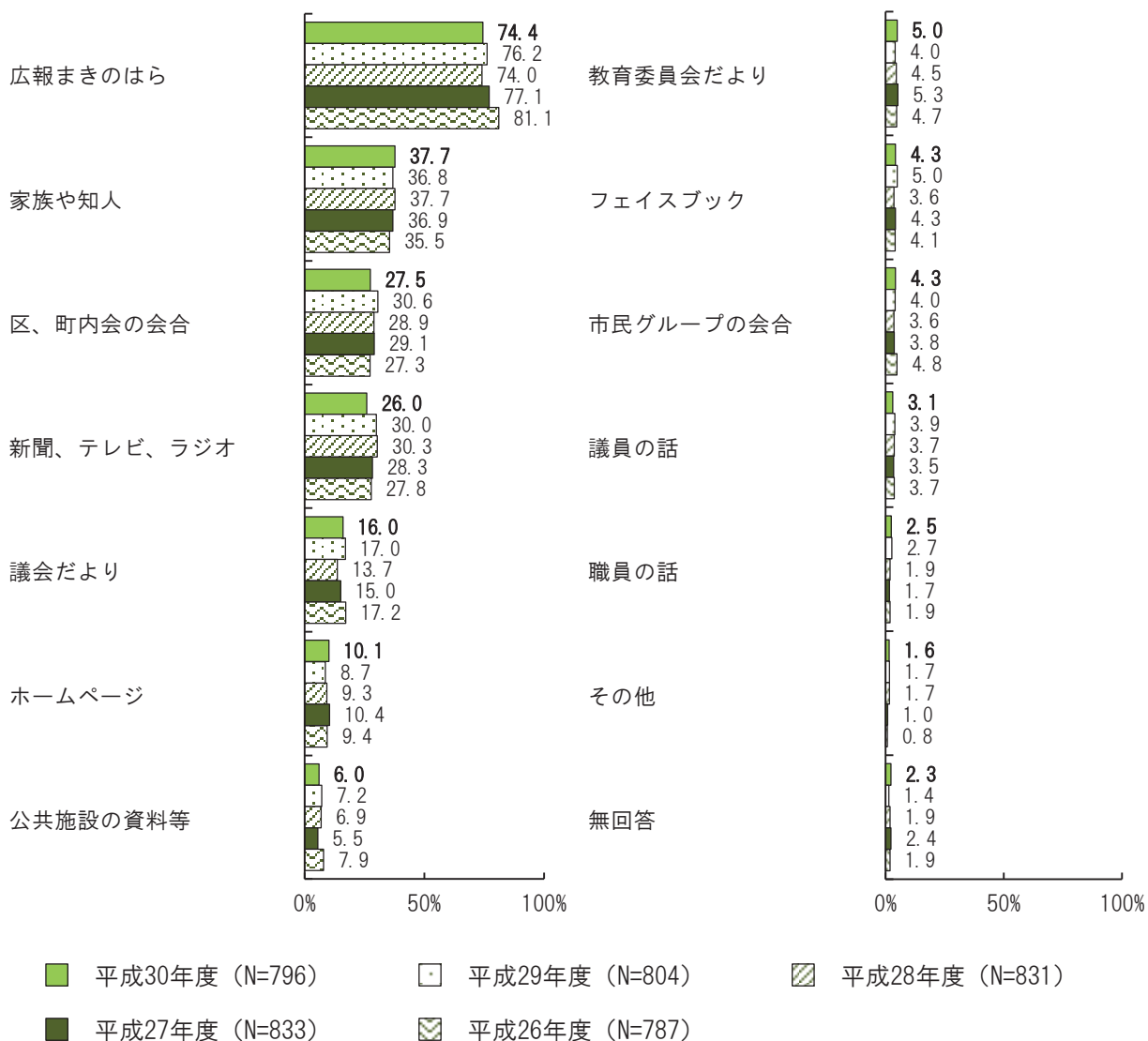
## クロス集計（年齢別）



【年齢別】：年齢が高くなるほど、「健康・医療・福祉」が多くなる傾向がみられます。また、30~39歳において「子育て」、「教育」が多くなっています。さらに、70歳以上においては「観光・イベント」が2割を下回って少なくなっています。

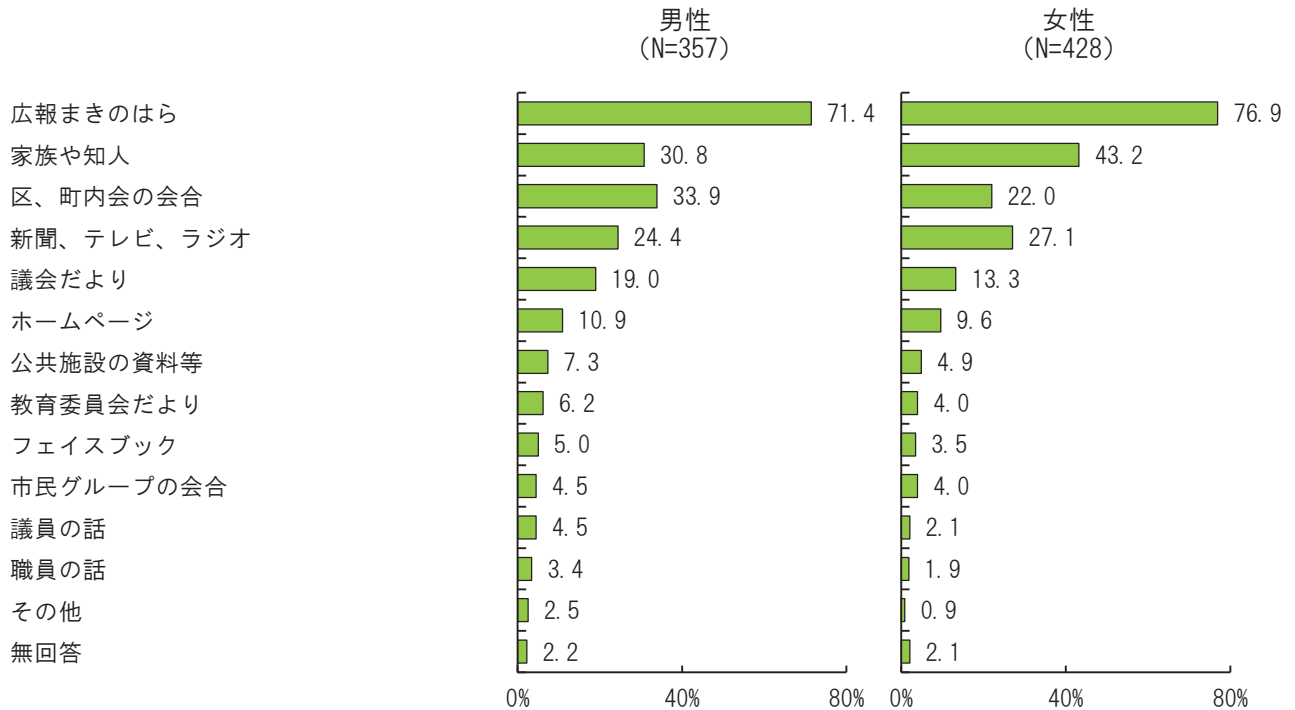
(21) 市からの情報の情報源

問21 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



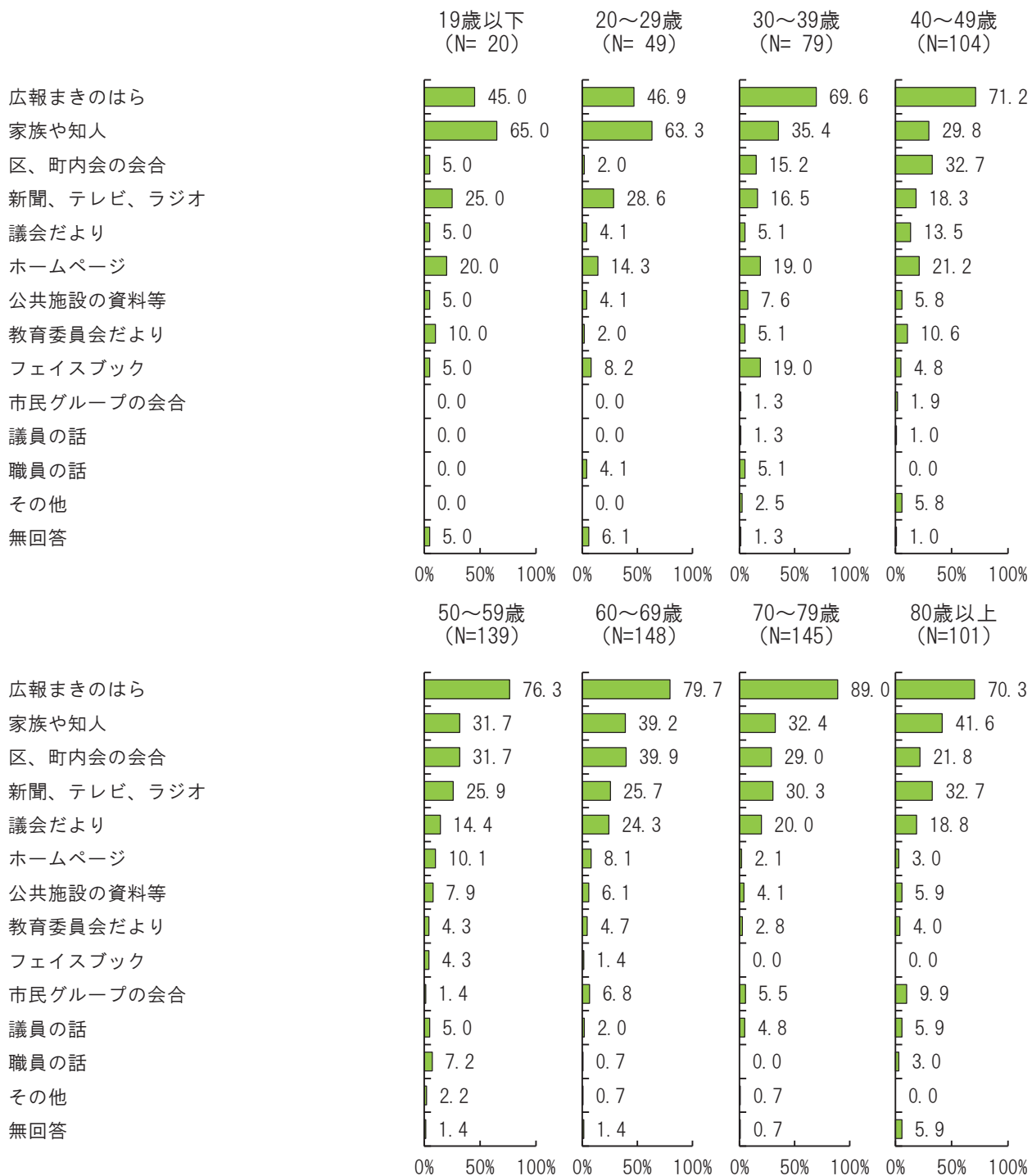
市からの情報の情報源は、「広報まきのほら」が74.4%と最も多く、次いで「家族や知人」が37.7%、「区、町内会の会合」が27.5%などとなっています。昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

## クロス集計（性別）



【性別】：男性において「区、町内会の会合」、「議会だより」が女性より多く、女性において「広報まきのはら」、「家族や知人」が男性より多くなっています。

クロス集計（年齢別）



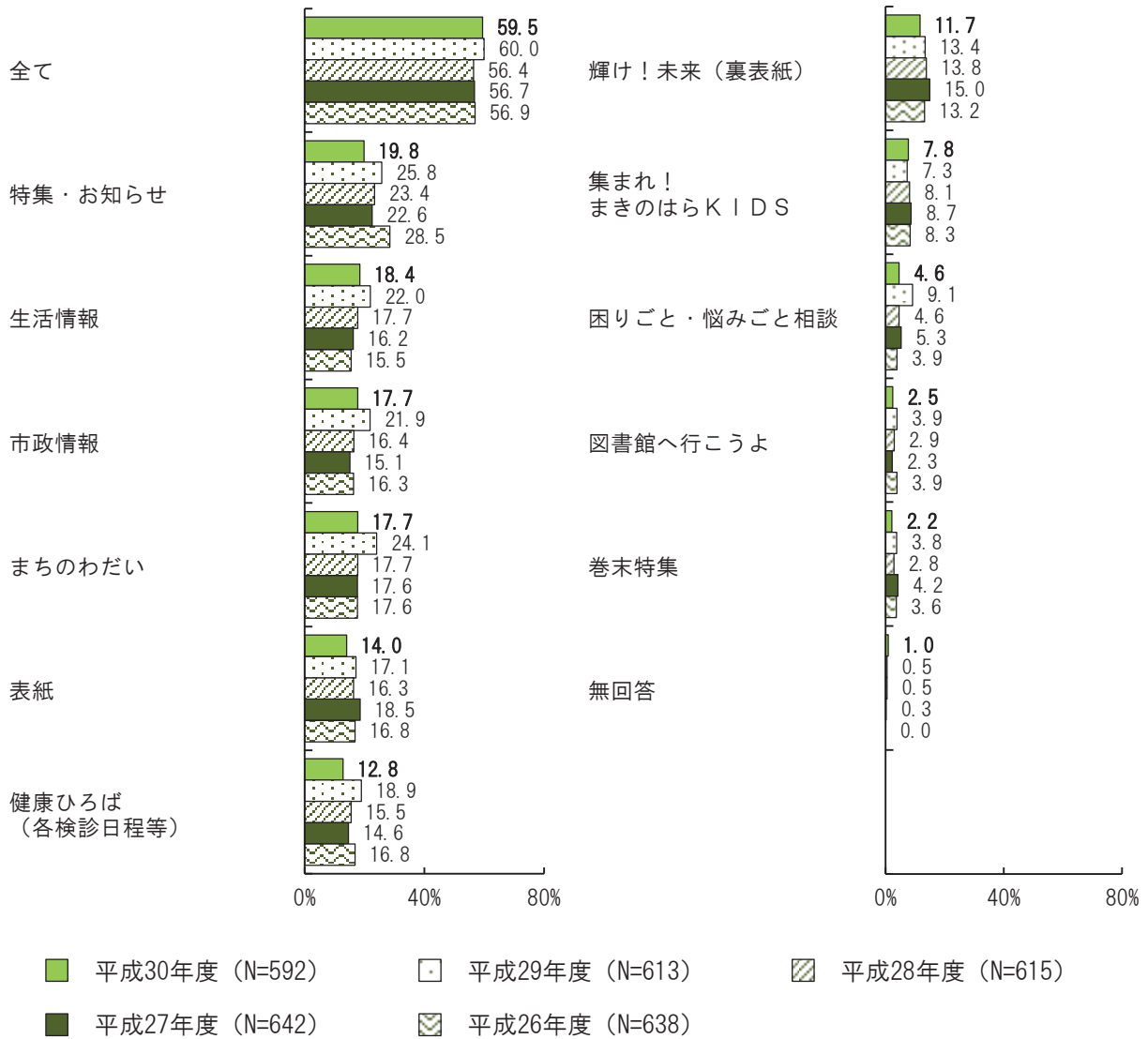
【年齢別】：29歳以下において「広報まきのはら」、「区、町内会の会合」が少なく、「家族や知人」が6割を超えて多くなっています。また、30~39歳において「フェイスブック」が19.0%と多くなっています。



(22) 読んでいる広報まきのはらのページ

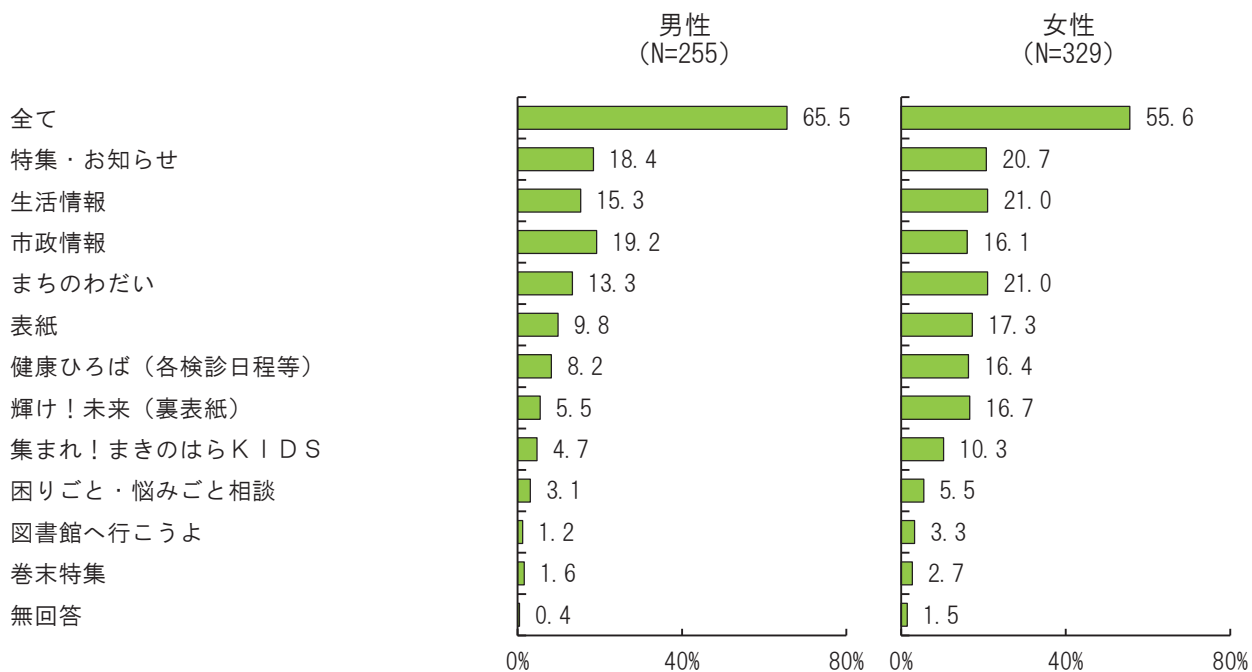
問21で「広報まきのはら」と答えた方のみ

問22 広報まきのはらのどこを読みますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。



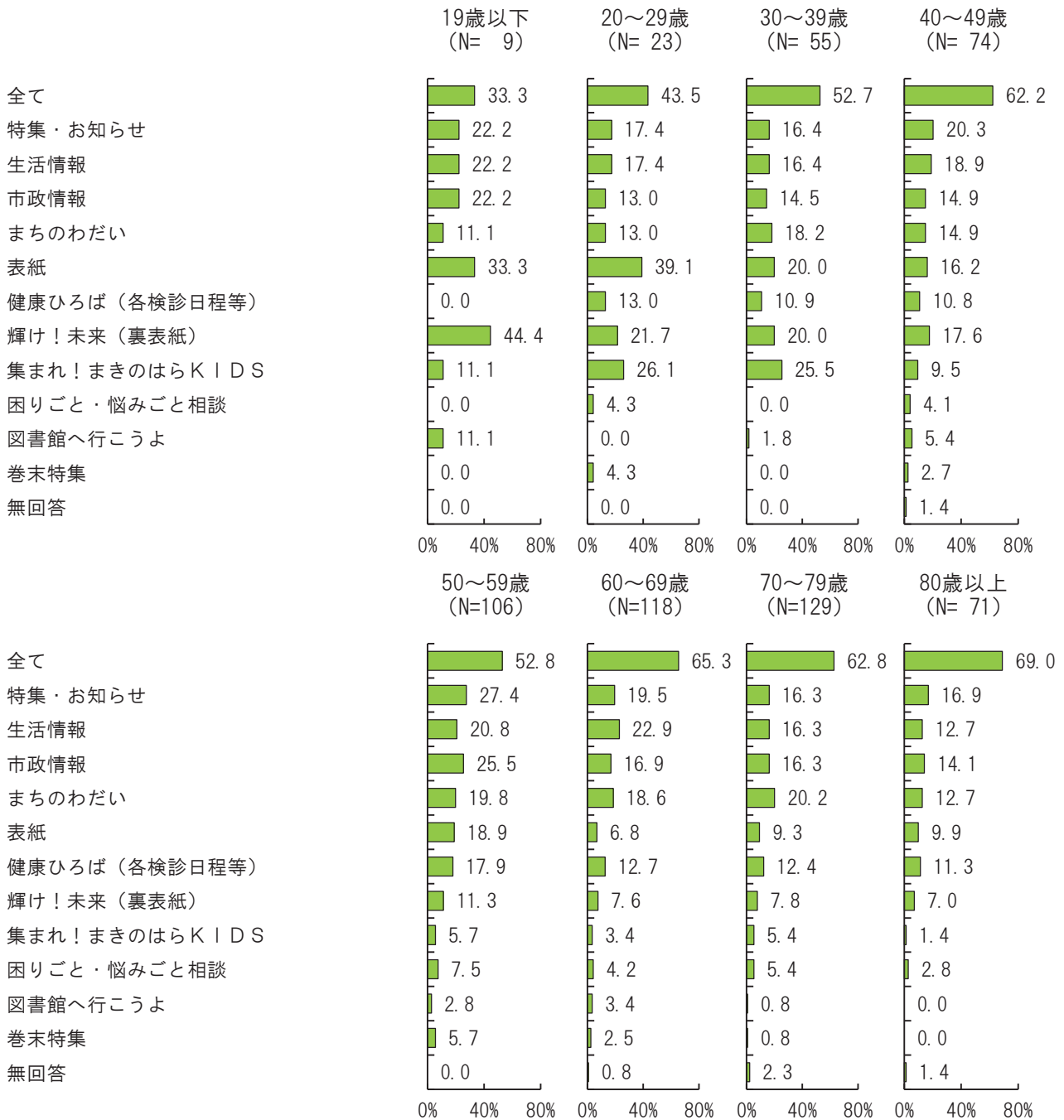
読んでいる広報まきのはらのページは、「全て」が59.5%と最も多く、次いで「特集・お知らせ」が19.8%、「生活情報」が18.4%などとなっています。  
 昨年度と比較すると、「特集・お知らせ」、「まちのわだい」、「健康ひろば (各検診日程等)」が少なくなっています。

クロス集計（性別）



【性別】：男性において「全て」が65.5%と女性より9.9ポイント高く、女性において「生活情報」、「まちのわだい」、「表紙」、「健康ひろば（各検診日程等）」、「輝け！未来（裏表紙）」、「集まれ！まきのはらKIDS」が男性より多くなっています。

## クロス集計（年齢別）

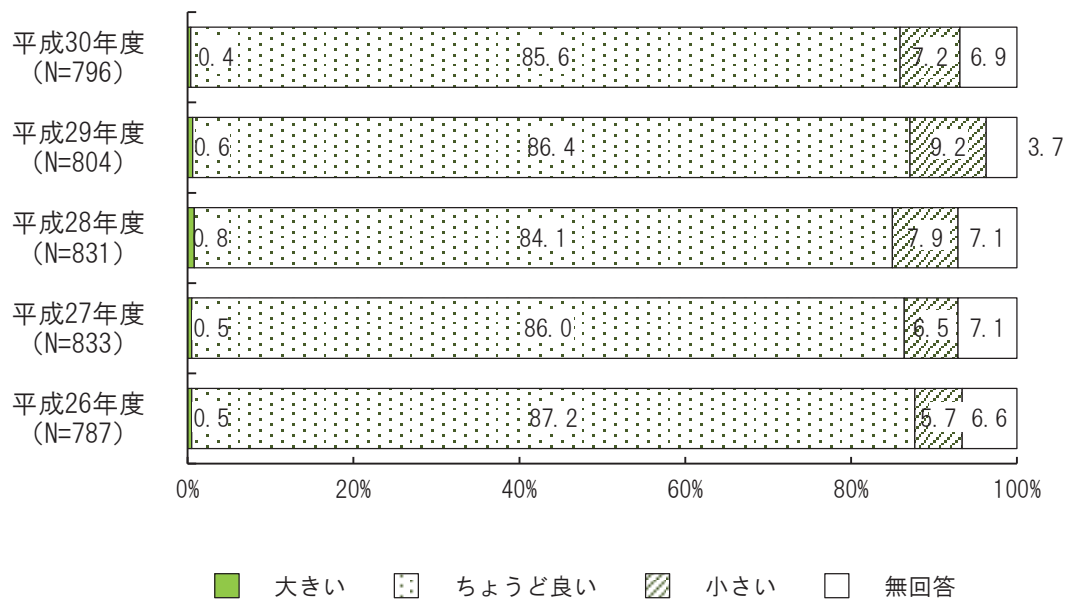


【年齢別】：20~29歳において「全て」が43.5%と少なく、「表紙」が39.1%と多くなっています。また、20~29歳・30~39歳において「生まれ！まきのはらKIDS」が多く、50~59歳において「特集・お知らせ」が27.4%と多くなっています。さらに、50~59歳においては「市政情報」が25.5%と多くなっています。（サンプル数の少ない年齢区分については、コメントを割愛しています。）

(23) 広報まきのはらの構成や内容について ①文字の大きさ

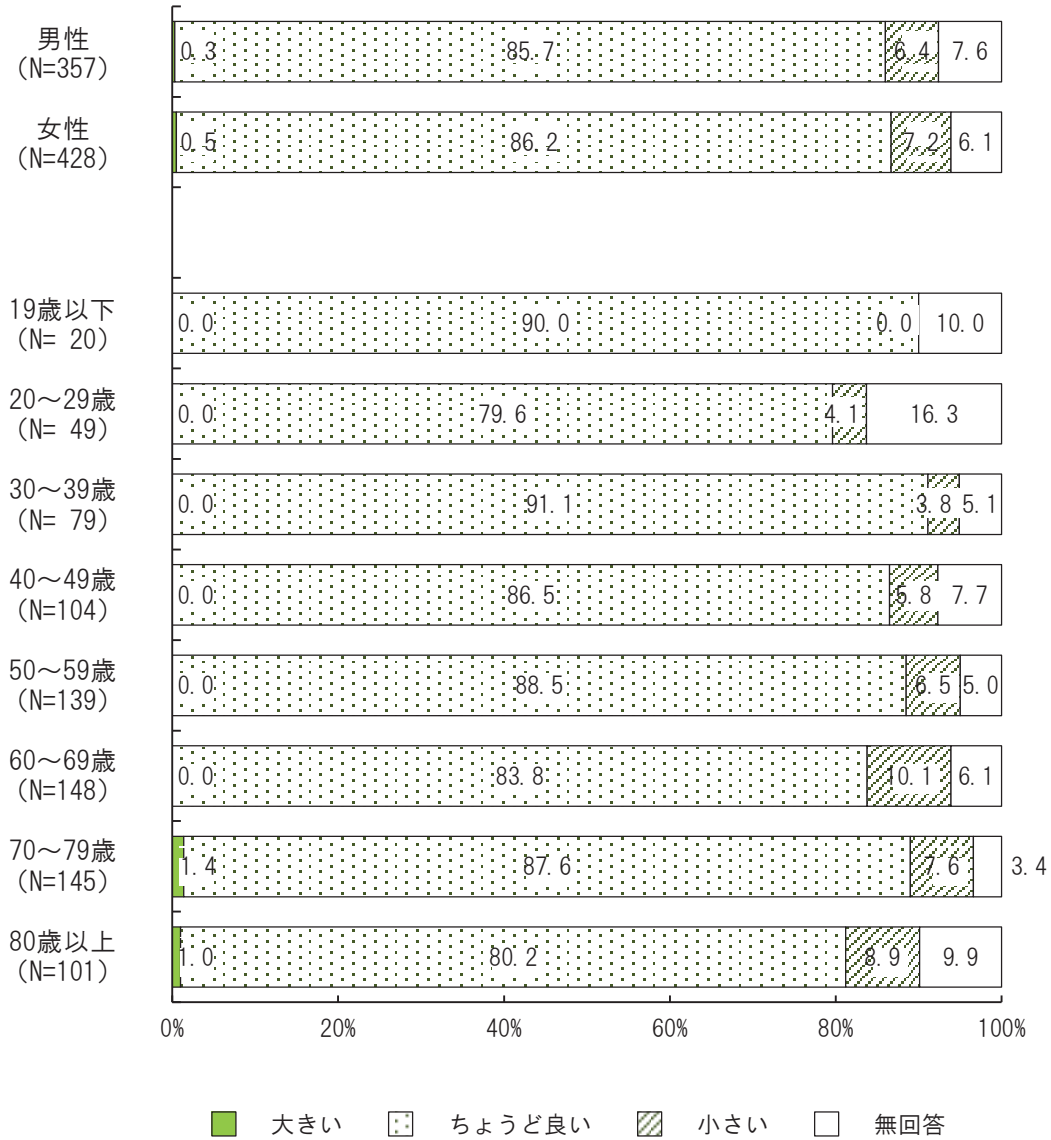
問 23 あなたは、広報まきのはらの構成や内容などについてどう思いますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに1つ○印をつけてください。

①文字の大きさ



広報まきのはらの文字の大きさは、「ちょうど良い」が85.6%と最も多くなっています。昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）

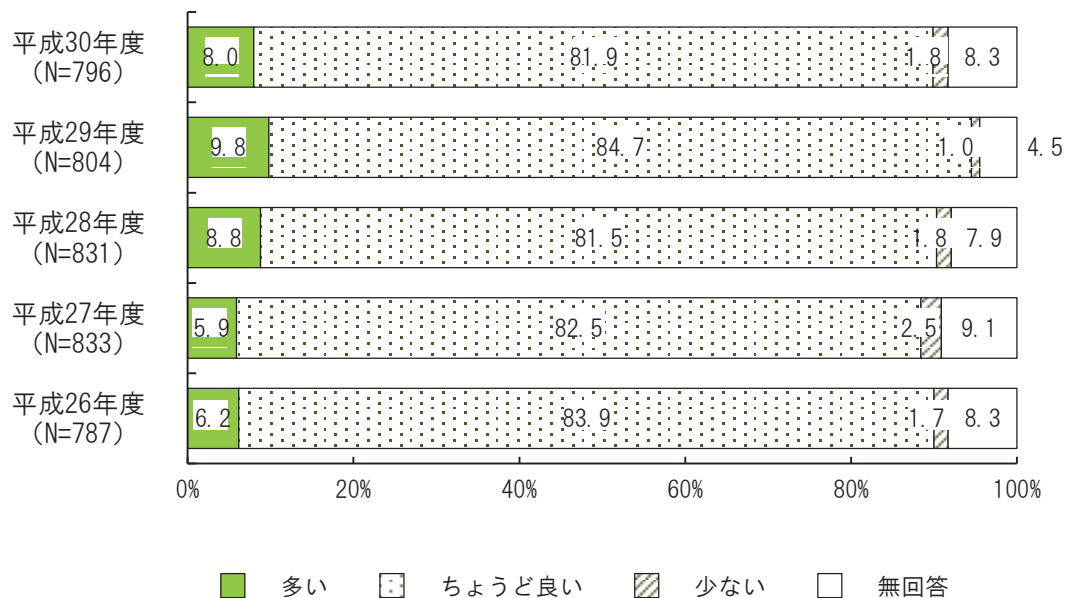


【性別】：大きな差異はみられません。

【年齢別】：20～29歳において「ちょうど良い」が8割を下回っています。

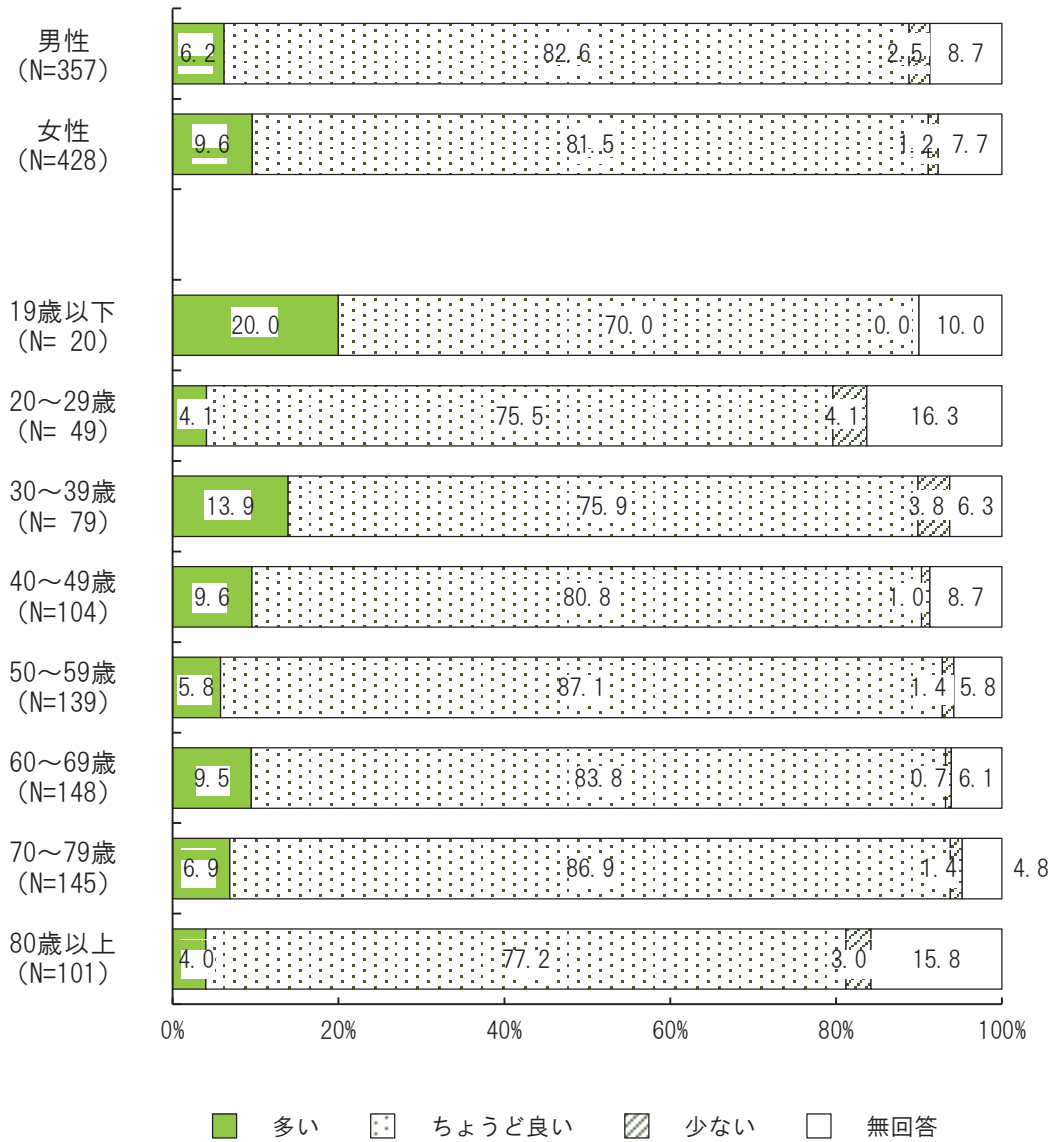
(24) 広報まきのはらの構成や内容について ②文字の量

問 23 ②文字の量



広報まきのはらの文字の量は、「ちょうど良い」が81.9%と最も多くなっています。昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）

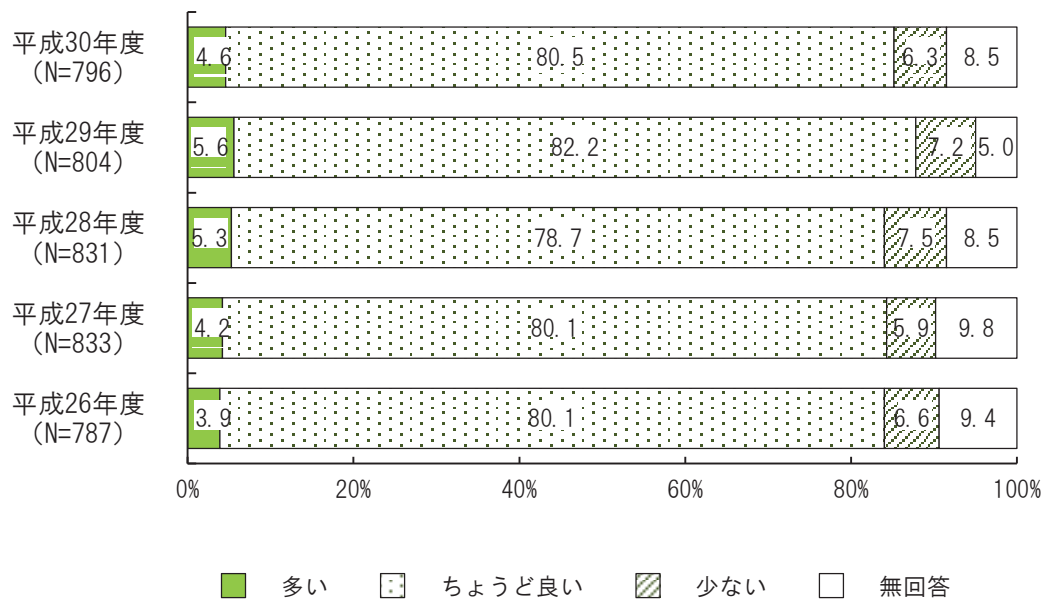


【性別】：大きな差異はみられません。

【年齢別】：19歳以下・30～39歳において「多い」が1割を超えています。

(25) 広報まきのはらの構成や内容について ③ページ数

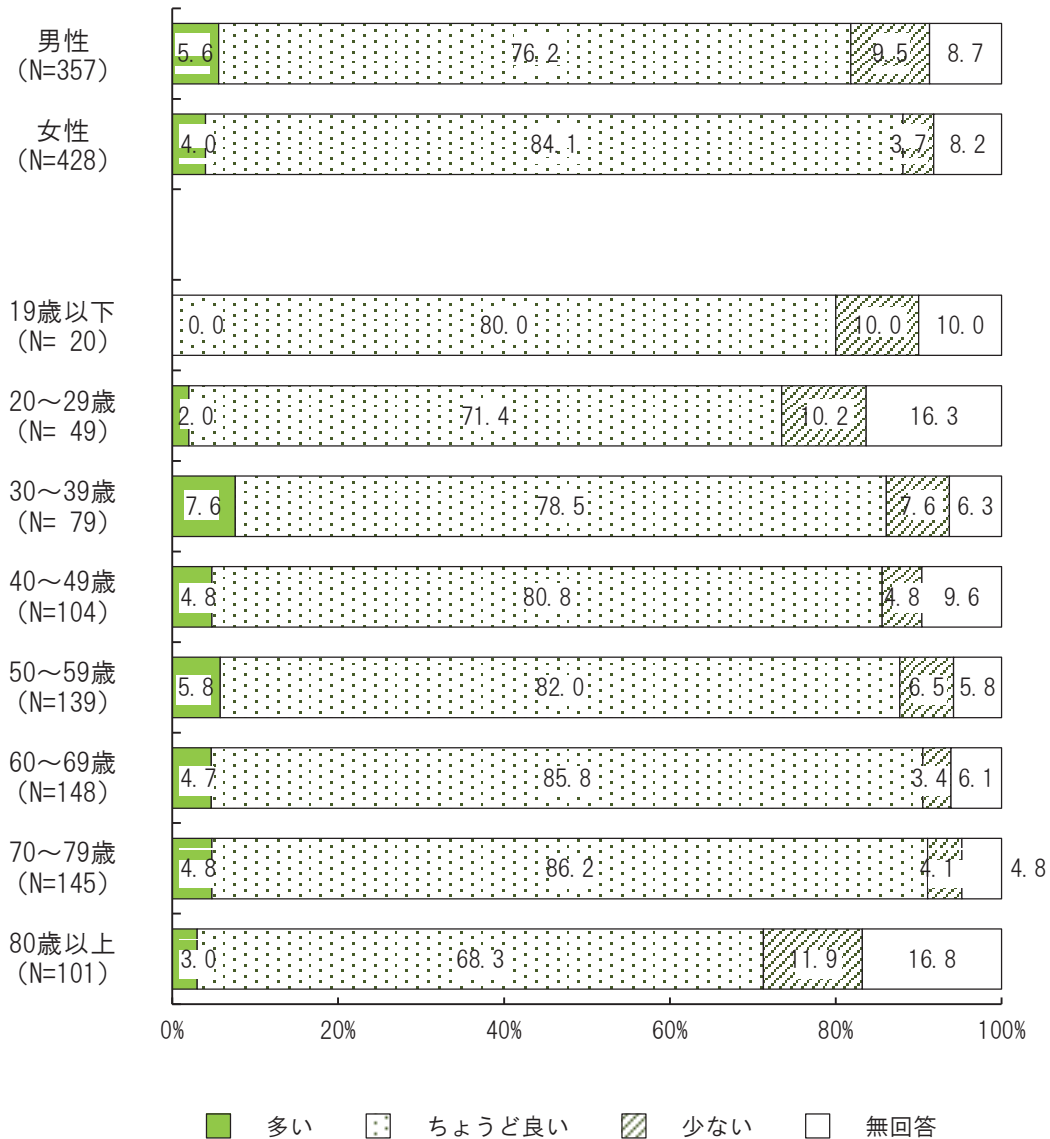
問 23 ③ページ数



広報まきのはらのページ数は、「ちょうど良い」が80.5%と最も多くなっています。昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。



## クロス集計（性別・年齢別）

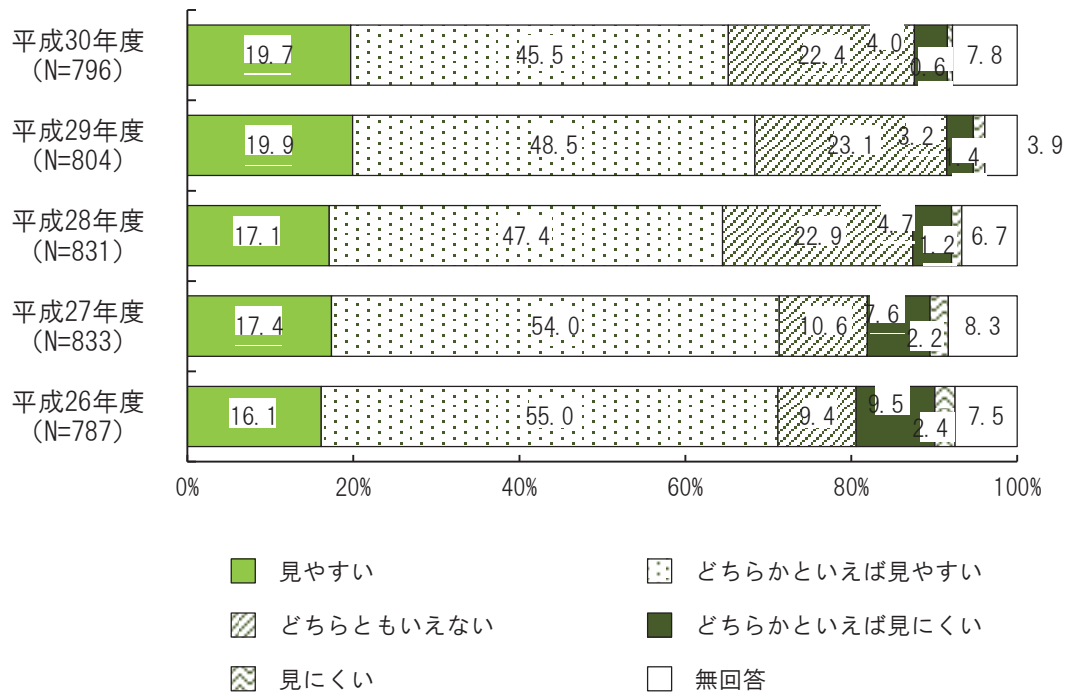


【性別】：男性において「少ない」が9.5%と女性より5.8ポイント高く、女性において「ちょうど良い」が84.1%と男性より7.9ポイント高くなっています。

【年齢別】：29歳以下・80歳以上において「少ない」が1割を超えています。また、80歳以上において「ちょうど良い」が7割を下回っています。

(26) 広報まきのはらの構成や内容について ④見やすさ

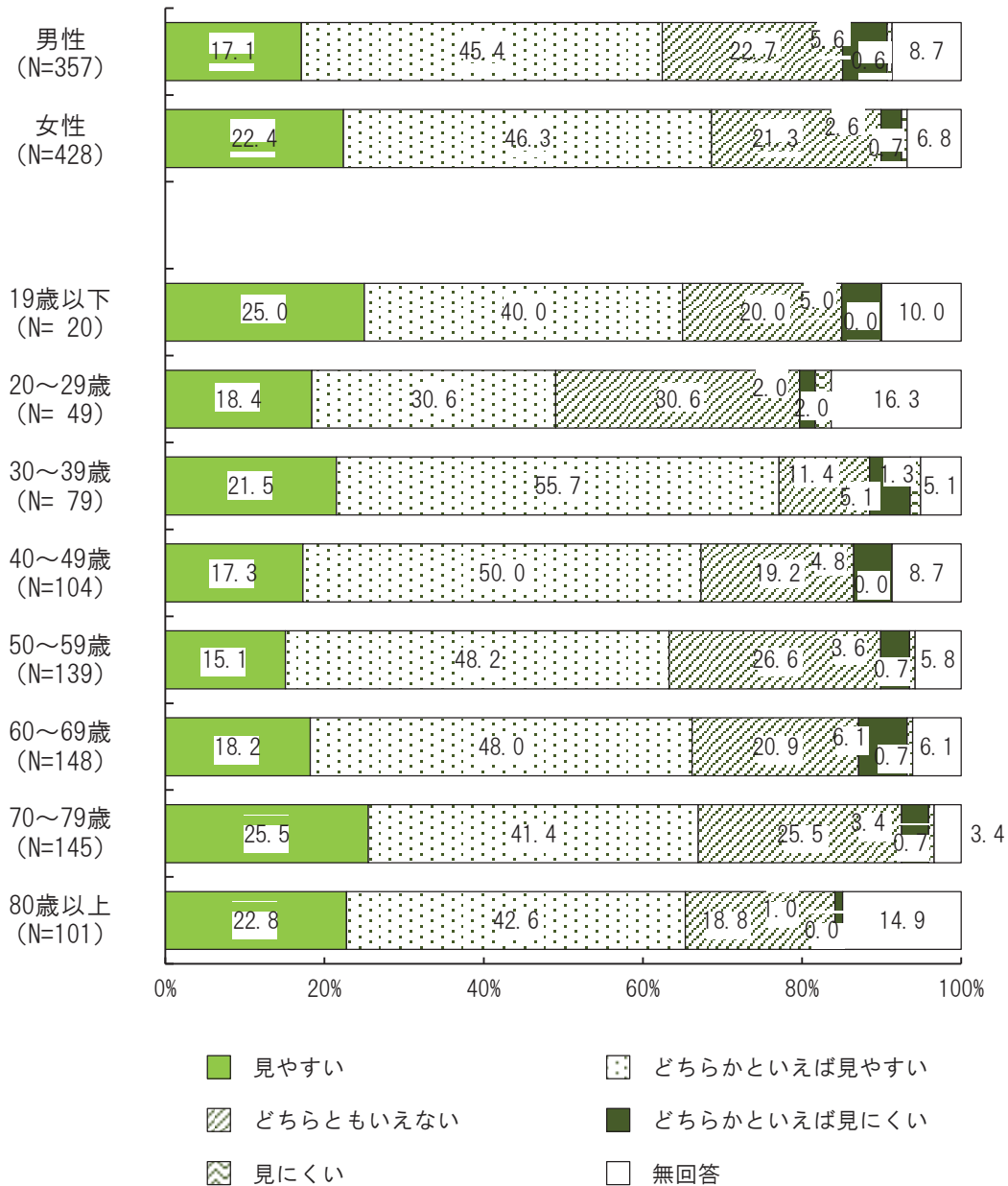
問 23 ④見やすさ



広報まきのはらの見やすさは、「どちらかといえば見やすい」が45.5%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が22.4%、「見やすい」が19.7%などとなっています。また、『見やすい』（「見やすい」＋「どちらかといえば見やすい」）は65.2%、『見にくい』（「どちらかといえば見にくい」＋「見にくい」）は4.6%となっています。

昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

## クロス集計（性別・年齢別）

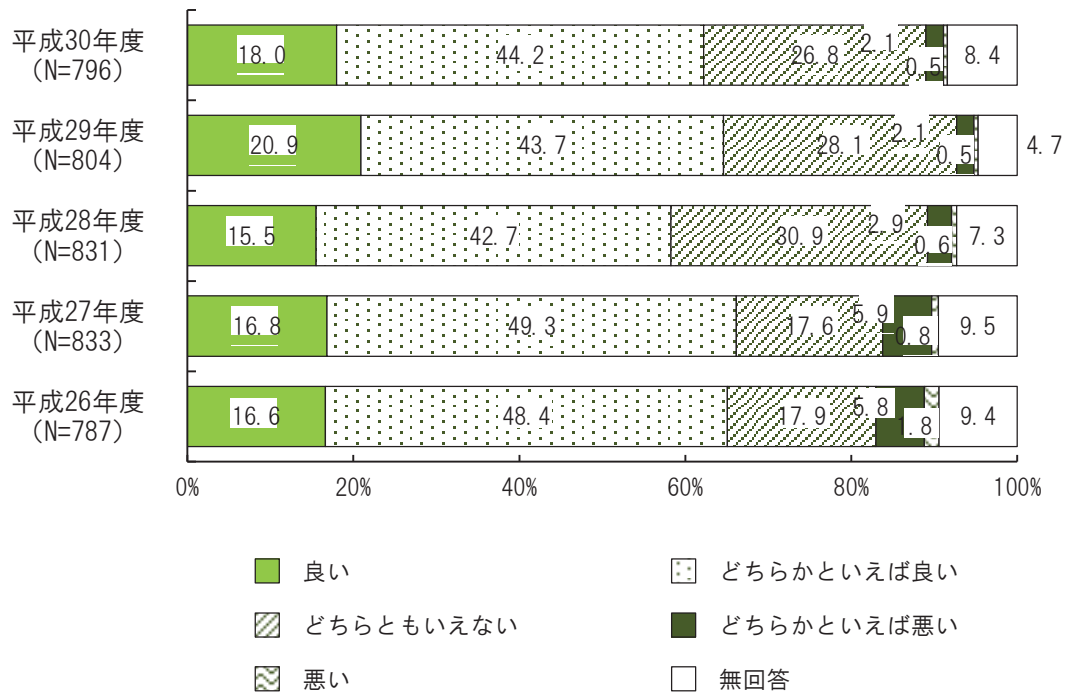


【性別】：女性において「見やすい」が22.4%と、男性より5.3ポイント高くなっています。また、『見やすい』は、男性が62.5%、女性が68.7%と、女性の方が多くなっています。

【年齢別】：20～29歳において「どちらかといえば見やすい」が30.6%と少なくなっています。また、『見やすい』は、20～29歳において49.0%と、唯一半数を下回って少なくなっています。

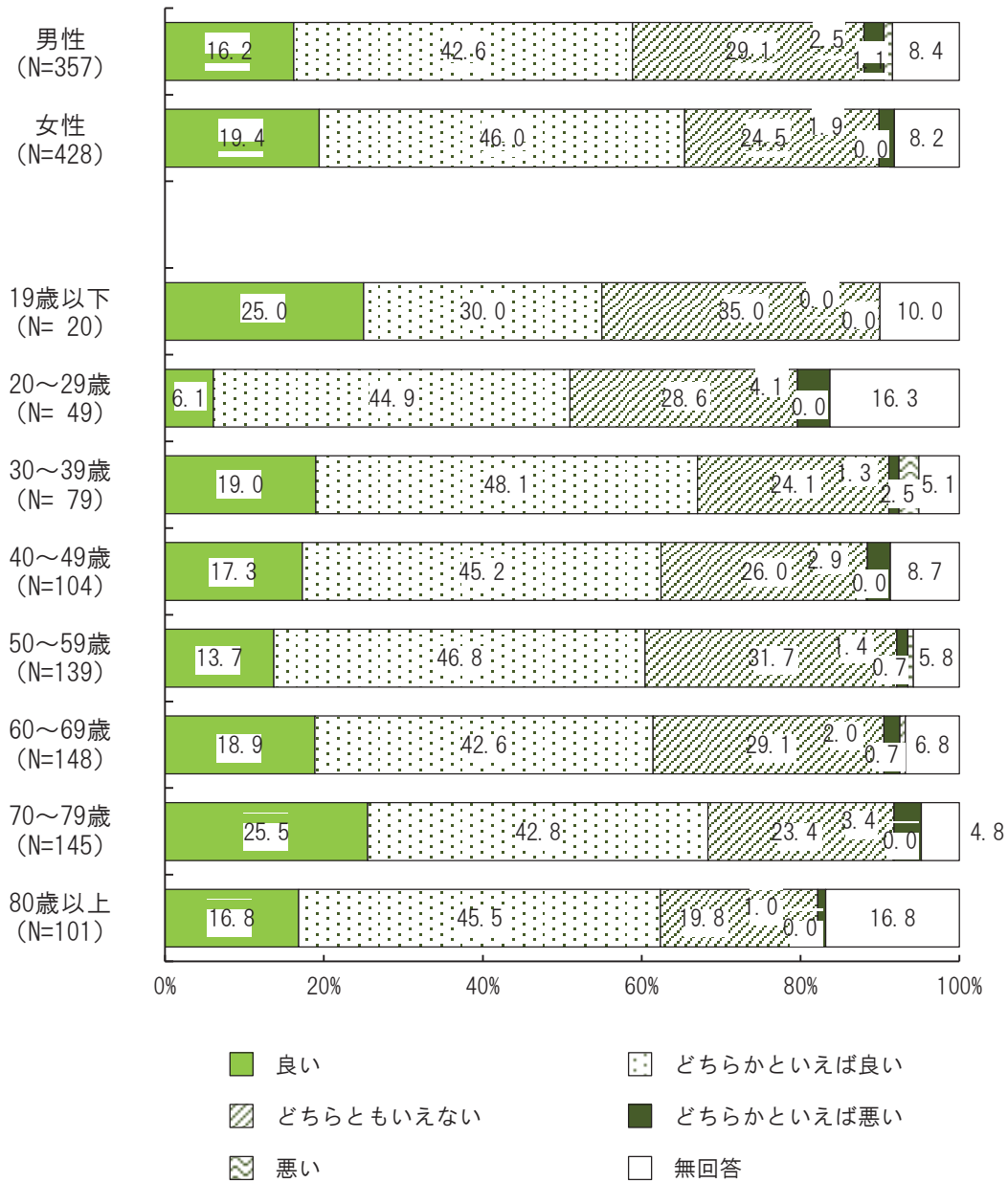
(27) 広報まきのはらの構成や内容について ⑤内容

問 23 ⑤内容



広報まきのはらの内容は、「どちらかといえば良い」が44.2%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が26.8%、「良い」が18.0%などとなっています。また、『良い』（「良い」＋「どちらかといえば良い」）は62.2%、『悪い』（「どちらかといえば悪い」＋「悪い」）は2.6%となっています。昨年度と比較すると、大きな差異はみられません。

クロス集計（性別・年齢別）



【性別】：『良い』は、男性が58.8%、女性が65.4%と、女性の方が多くなっています。  
 【年齢別】：19歳以下において「どちらかといえば良い」が30.0%と少なくなっています。また、20～29歳において「良い」が6.1%と少なくなっています。さらに、『良い』は、29歳以下において6割を下回って少なくなっています。

### ⑧牧之原市の行政サービスについて

#### (28) 満足度・重要度について

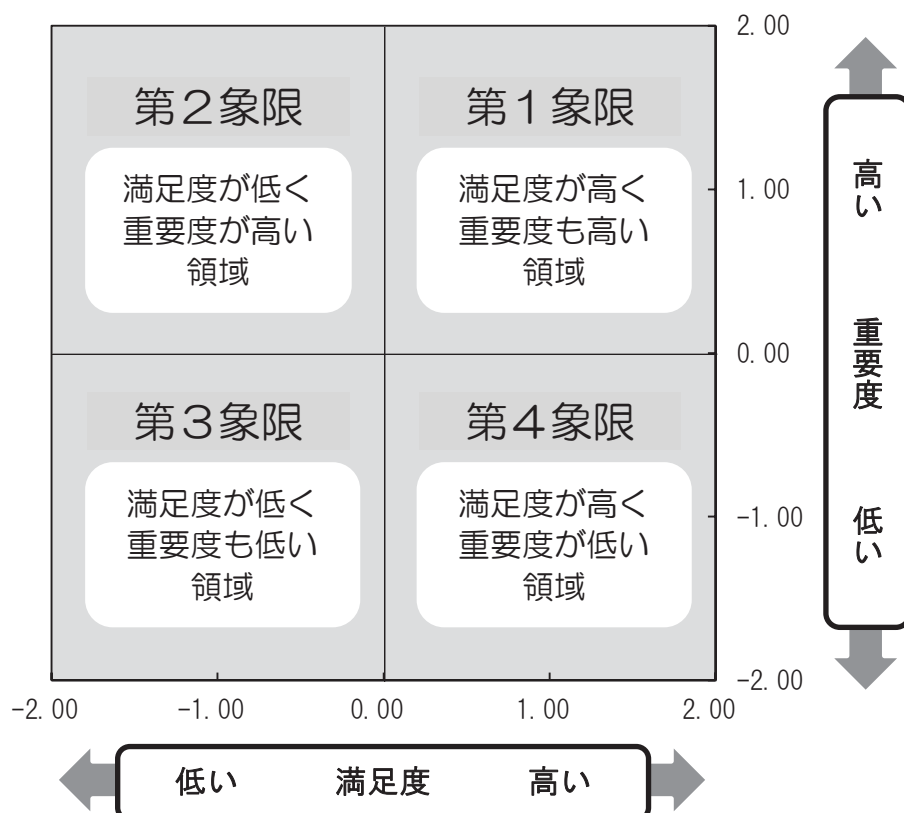
- 問 24 あなたは、市の取り組みについて満足していますか？また、その取り組みが重要であると考えますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに○印をつけてください。  
 ※取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれるかもしれませんが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。  
 (満足度・重要度について、○はそれぞれ1つずつ)

#### 《評価点の算出方法》

「満足」、「高い」と回答した人を+2点、「やや満足」、「やや高い」と回答した人を+1点、「やや不満」、「やや低い」と回答した人を-1点、「不満」、「低い」と回答した人を-2点として算出した値を、回答者数（「無回答」は回答者数に含めない）で割って算出しています。評価点は、プラスの大きい項目は評価が高く、マイナスの大きいものは評価が低いことを表しています。

また、各取り組みについて満足度・重要度の評価点を散布図にて表した場合、下記のように4つの象限に評価をみることができます。

満足度	重要度	点数
「満足」	「高い」	+2点
「やや満足」	「やや高い」	+1点
「やや不満」	「やや低い」	-1点
「不満」	「低い」	-2点
「無回答」	「無回答」	点数加算なし・回答者数にも含まない

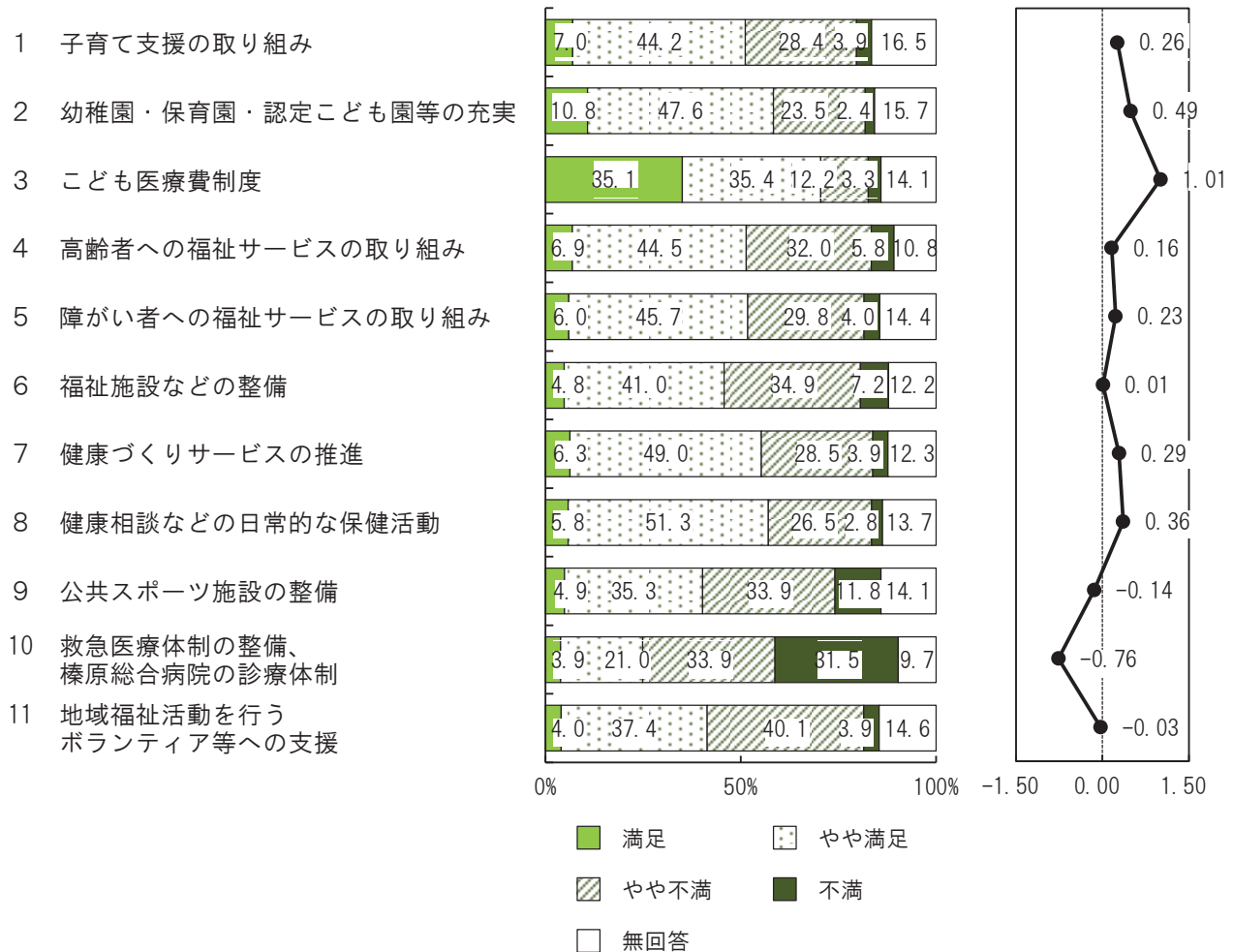


(29) 満足度・重要度【健康福祉】

【健康福祉】 支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり

《満足度》

平成30年度 (N=796)



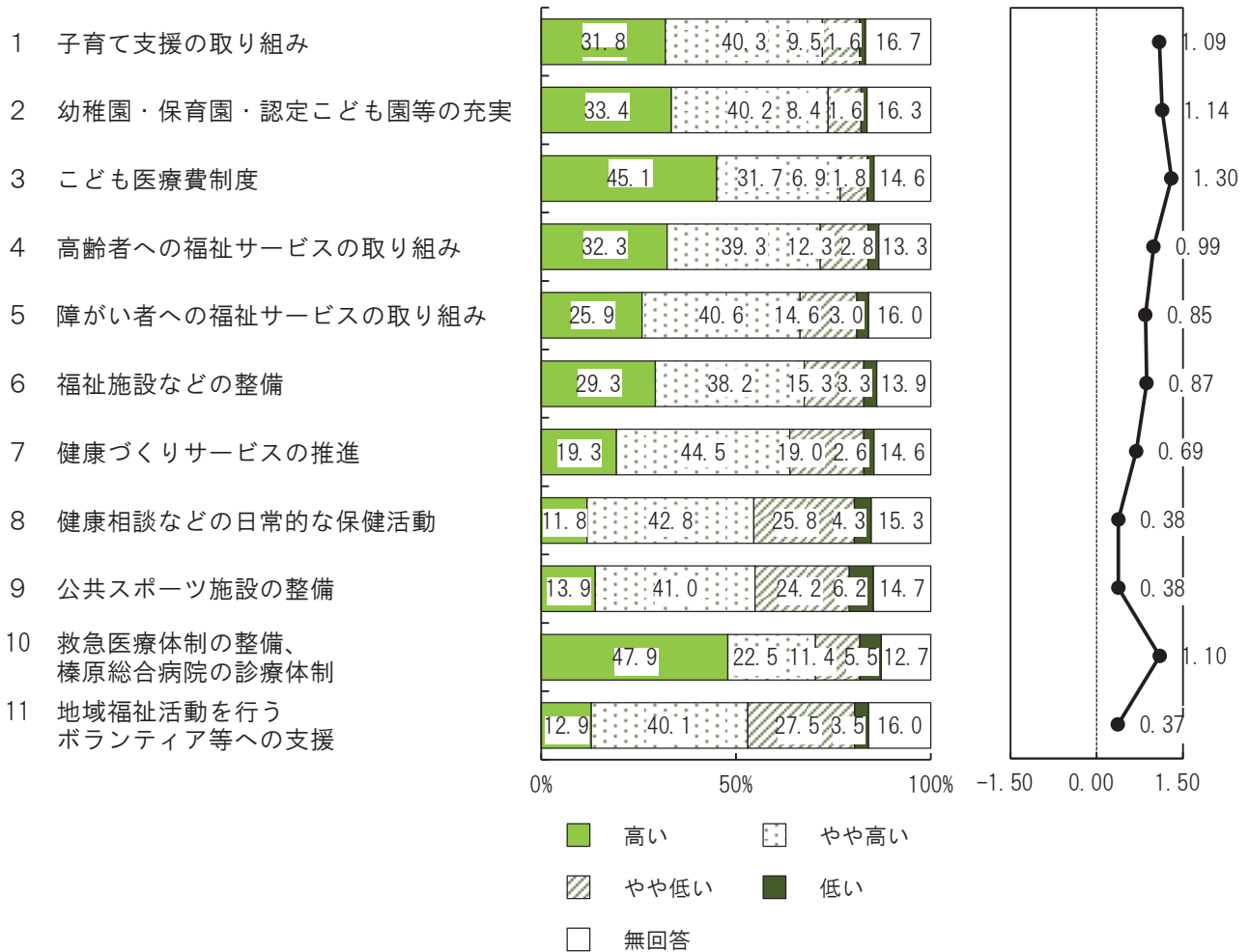
満足度が最も高い項目は、《3 こども医療費制度》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が70.5%、評価点が1.01点となっています。次に満足度が高い項目は、《2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実》（0.49点）、《8 健康相談などの日常的な保健活動》（0.36点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が65.4%、評価点が-0.76点となっています。次に満足度が低い項目は、《9 公共スポーツ施設の整備》（-0.14点）、《11 地域福祉活動を行うボランティア等への支援》（-0.03点）などとなっています。

【健康福祉】 支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり

《重要度》

平成30年度 (N=796)

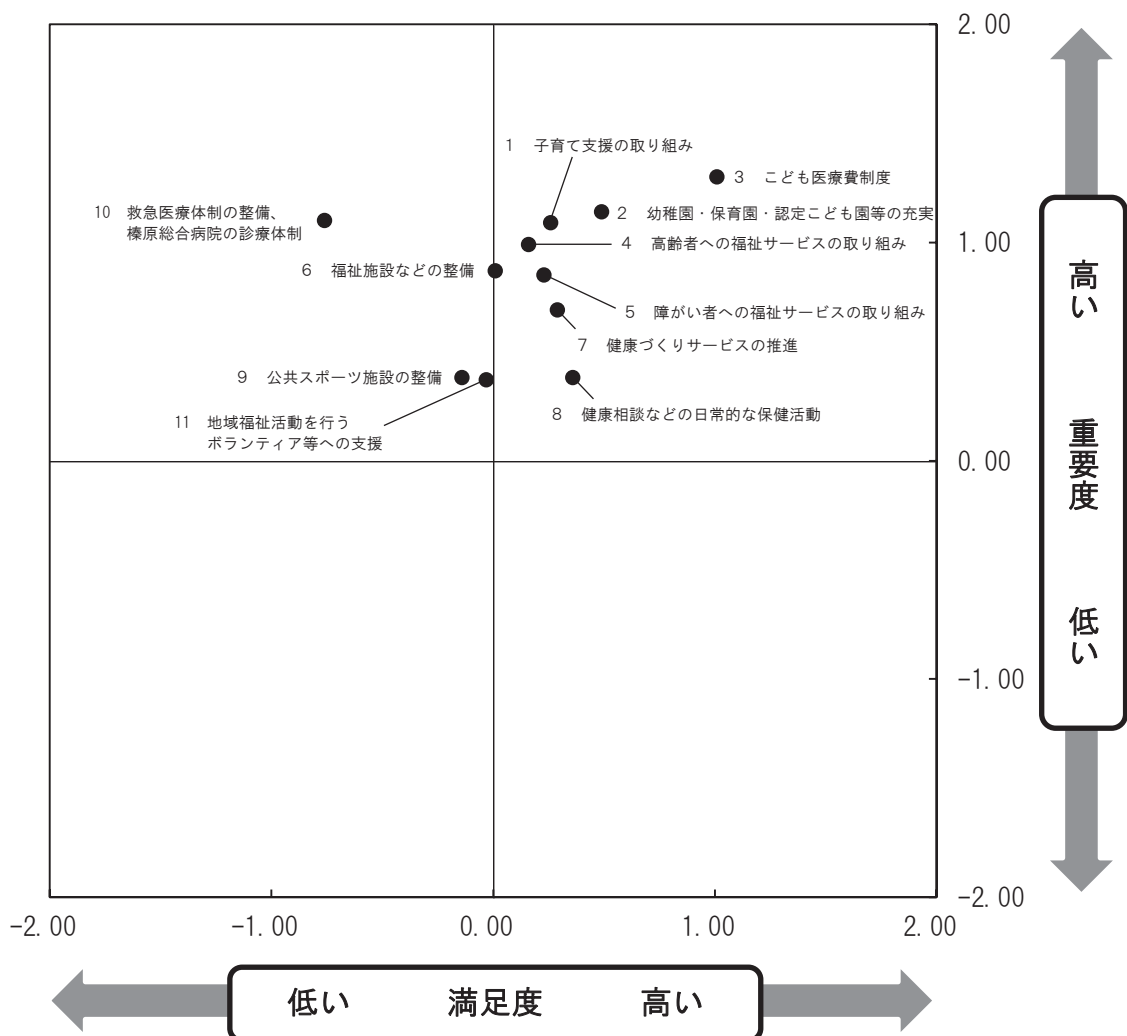


重要度が最も高い項目は、《3 こども医療費制度》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が76.8%、評価点が1.30点となっています。次に重要度が高い項目は、《2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実》（1.14点）、《1 子育て支援の取り組み》（1.09点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《11 地域福祉活動を行うボランティア等への支援》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が31.0%、評価点が0.37点となっています。次に重要度が低い項目は、《9 公共スポーツ施設の整備》（0.38点）、《8 健康相談などの日常的な保健活動》（0.38点）などとなっています。



【健康福祉】支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり	満足度	重要度
1 子育て支援の取り組み	0.26	1.09
2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	0.49	1.14
3 こども医療費制度	1.01	1.30
4 高齢者への福祉サービスの取り組み	0.16	0.99
5 障がい者への福祉サービスの取り組み	0.23	0.85
6 福祉施設などの整備	0.01	0.87
7 健康づくりサービスの推進	0.29	0.69
8 健康相談などの日常的な保健活動	0.36	0.38
9 公共スポーツ施設の整備	-0.14	0.38
10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	-0.76	1.10
11 地域福祉活動を行うボランティア等への支援	-0.03	0.37



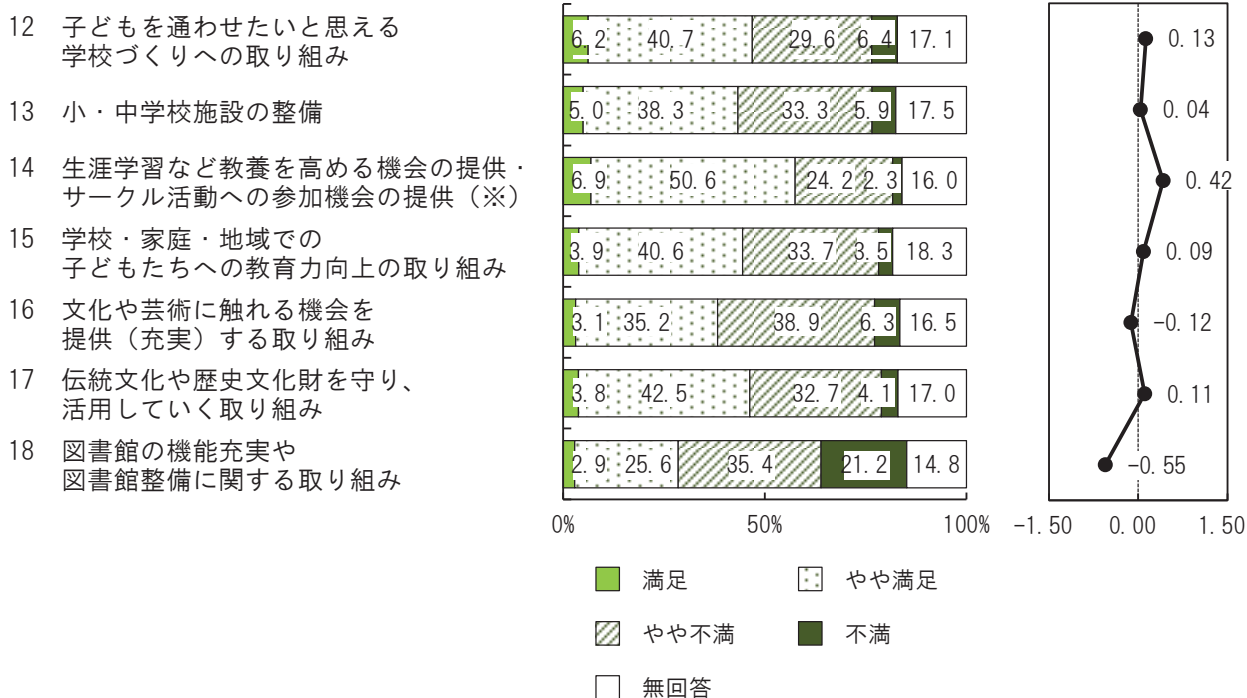
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、「3 こども医療費制度」は満足度が最も高くなっています。一方で、「10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制」は重要度が3番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

(30) 満足度・重要度【教育文化】

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり

《満足度》

平成30年度 (N=796)



※ 14 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供

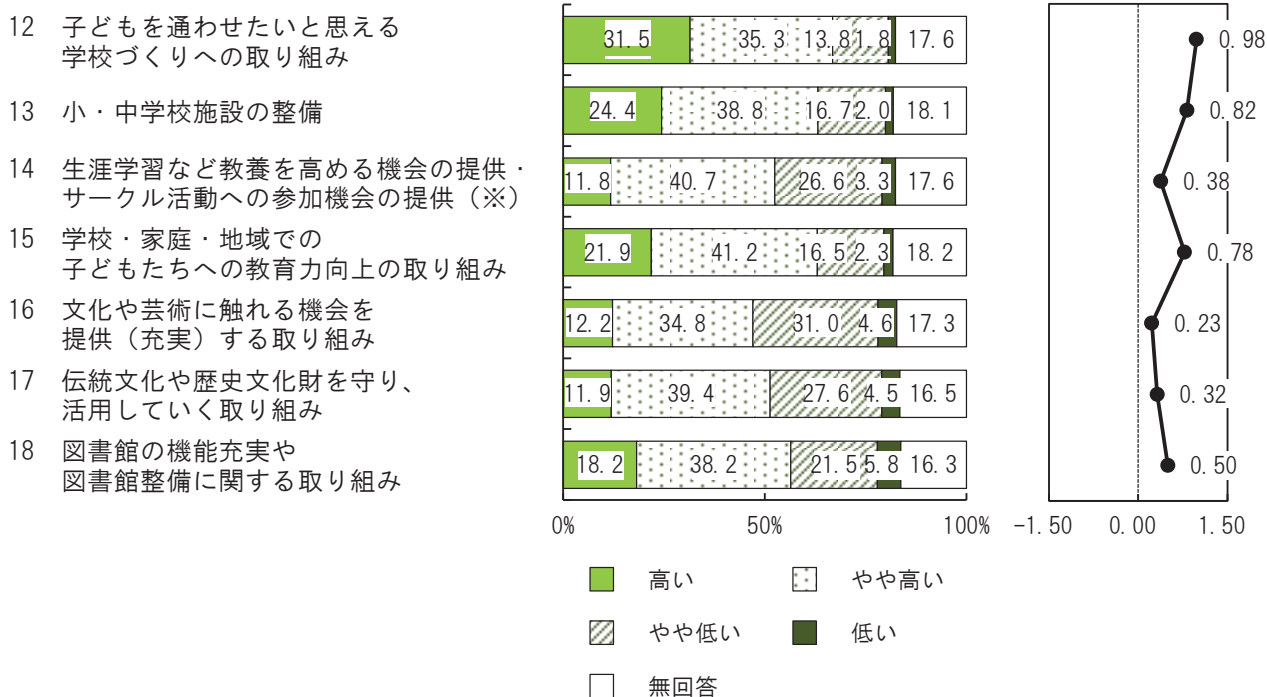
満足度が最も高い項目は、《14 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が57.5%、評価点が0.42点となっています。次に満足度が高い項目は、《12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み》（0.13点）、《17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み》（0.11点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が56.6%、評価点が-0.55点となっています。次に満足度が低い項目は、《16 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み》（-0.12点）、《13 小・中学校施設の整備》（0.04点）などとなっています。

## 【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり

## 《重要度》

平成30年度 (N=796)

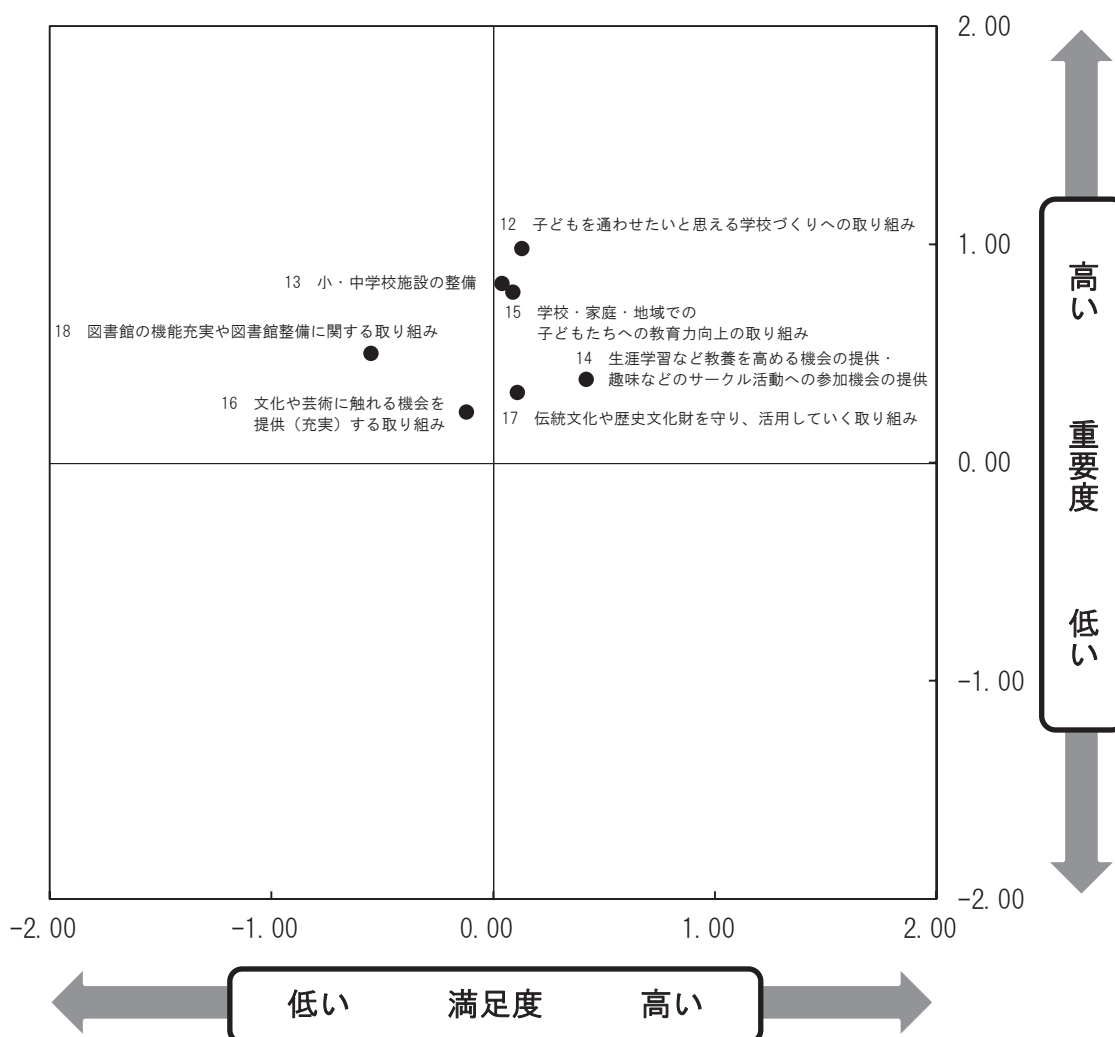


※ 14 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供

重要度が最も高い項目は、《12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が66.8%、評価点が0.98点となっています。次に重要度が高い項目は、《13 小・中学校施設の整備》（0.82点）、《15 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取り組み》（0.78点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《16 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が35.6%、評価点が0.23点となっています。次に重要度が低い項目は、《17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み》（0.32点）、《14 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供》（0.38点）などとなっています。

【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり	満足度	重要度
12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み	0.13	0.98
13 小・中学校施設の整備	0.04	0.82
14 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供	0.42	0.38
15 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力向上の取り組み	0.09	0.78
16 文化や芸術に触れる機会を提供（充実）する取り組み	-0.12	0.23
17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取り組み	0.11	0.32
18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	-0.55	0.50



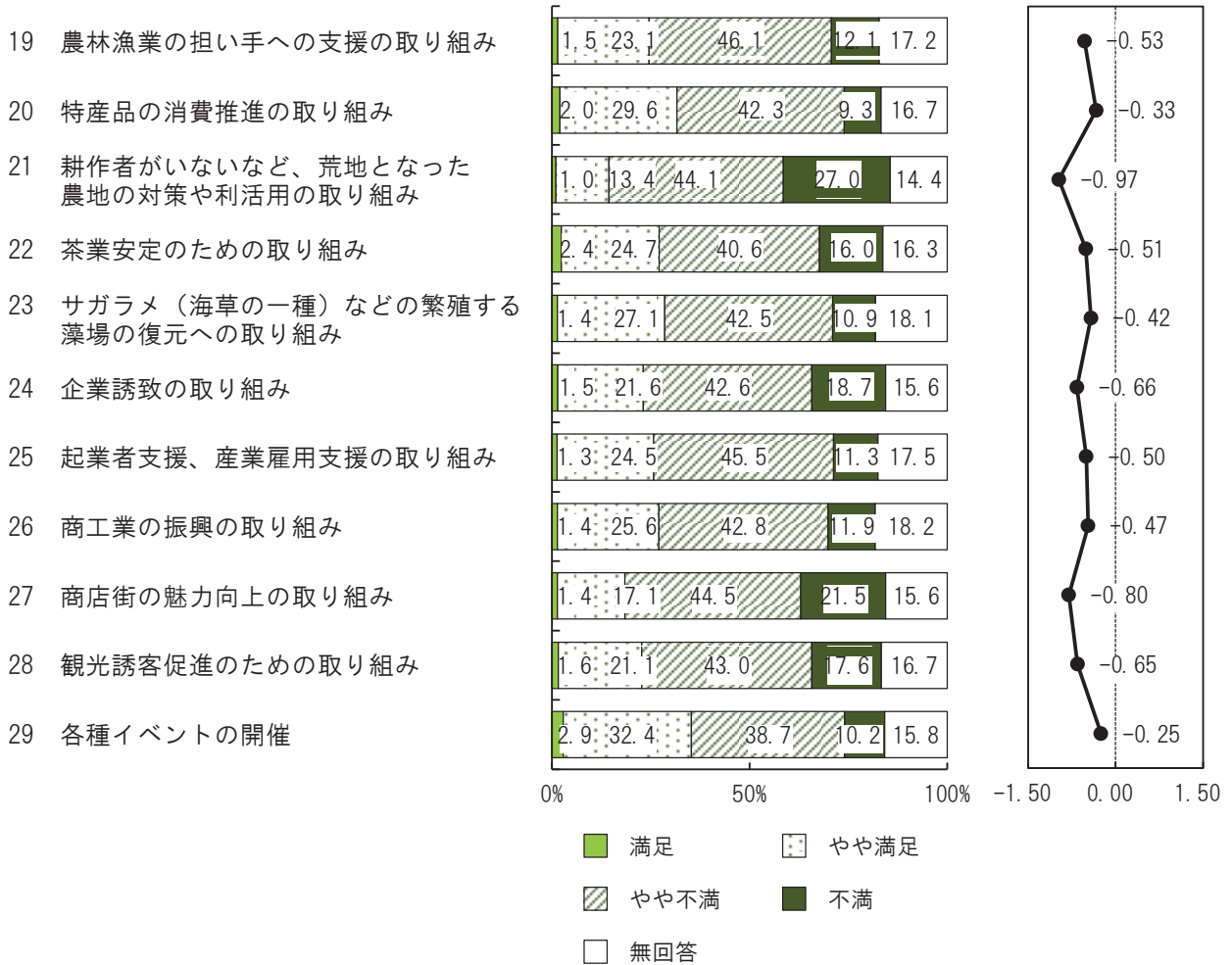
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、「14 生涯学習など教養を高める機会の提供・趣味などのサークル活動への参加機会の提供」は満足度が最も高くなっています。一方で、「18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み」は重要度が4番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

(31) 満足度・重要度【産業経済】

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

《満足度》

平成30年度 (N=796)



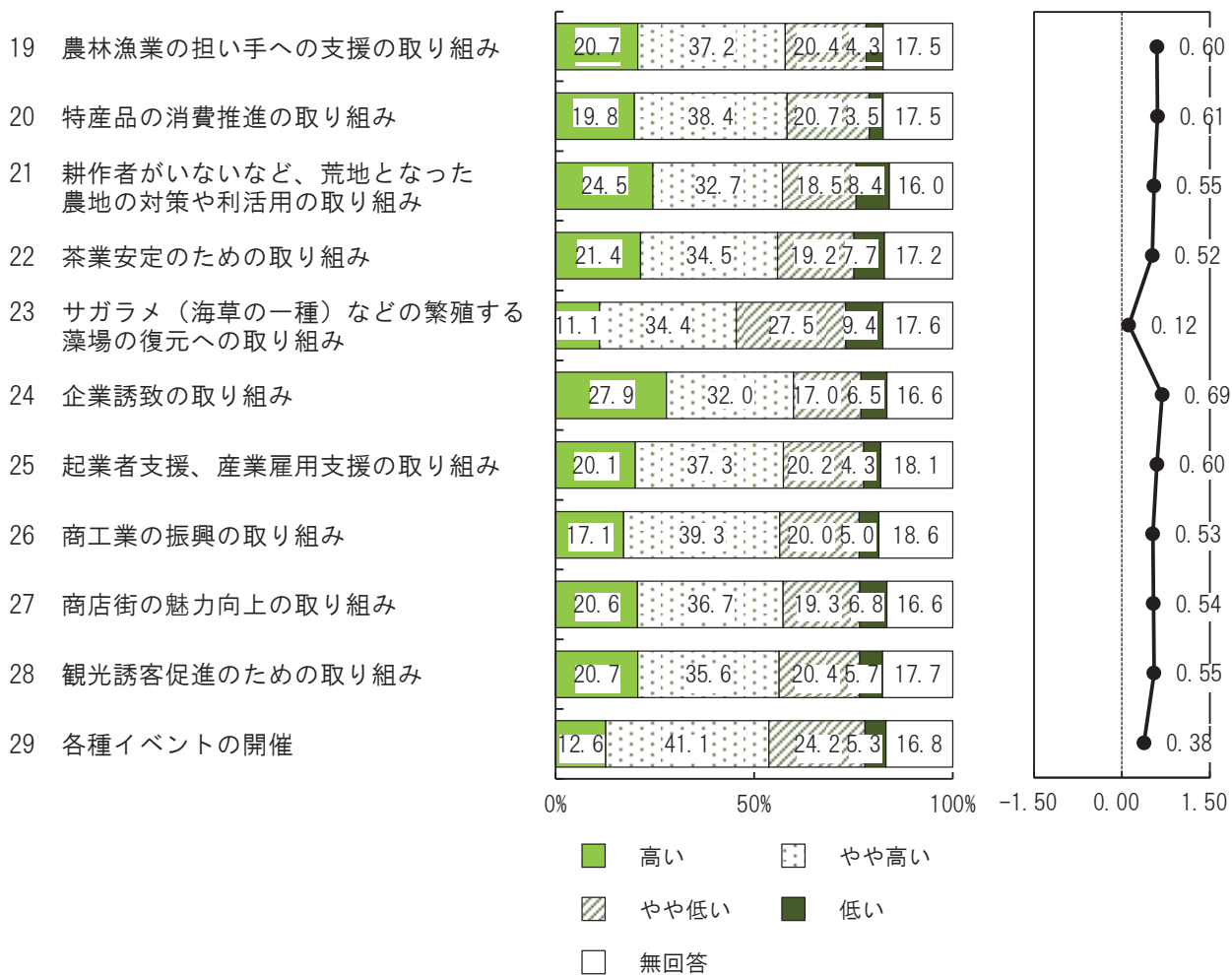
満足度が最も高い項目は、《29 各種イベントの開催》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が35.3%、評価点が-0.25点となっています。次に満足度が高い項目は、《20 特産品の消費推進の取り組み》（-0.33点）、《23 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み》（-0.42点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が71.1%、評価点が-0.97点となっています。次に満足度が低い項目は、《27 商店街の魅力向上の取り組み》（-0.80点）、《24 企業誘致の取り組み》（-0.66点）などとなっています。

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり

《重要度》

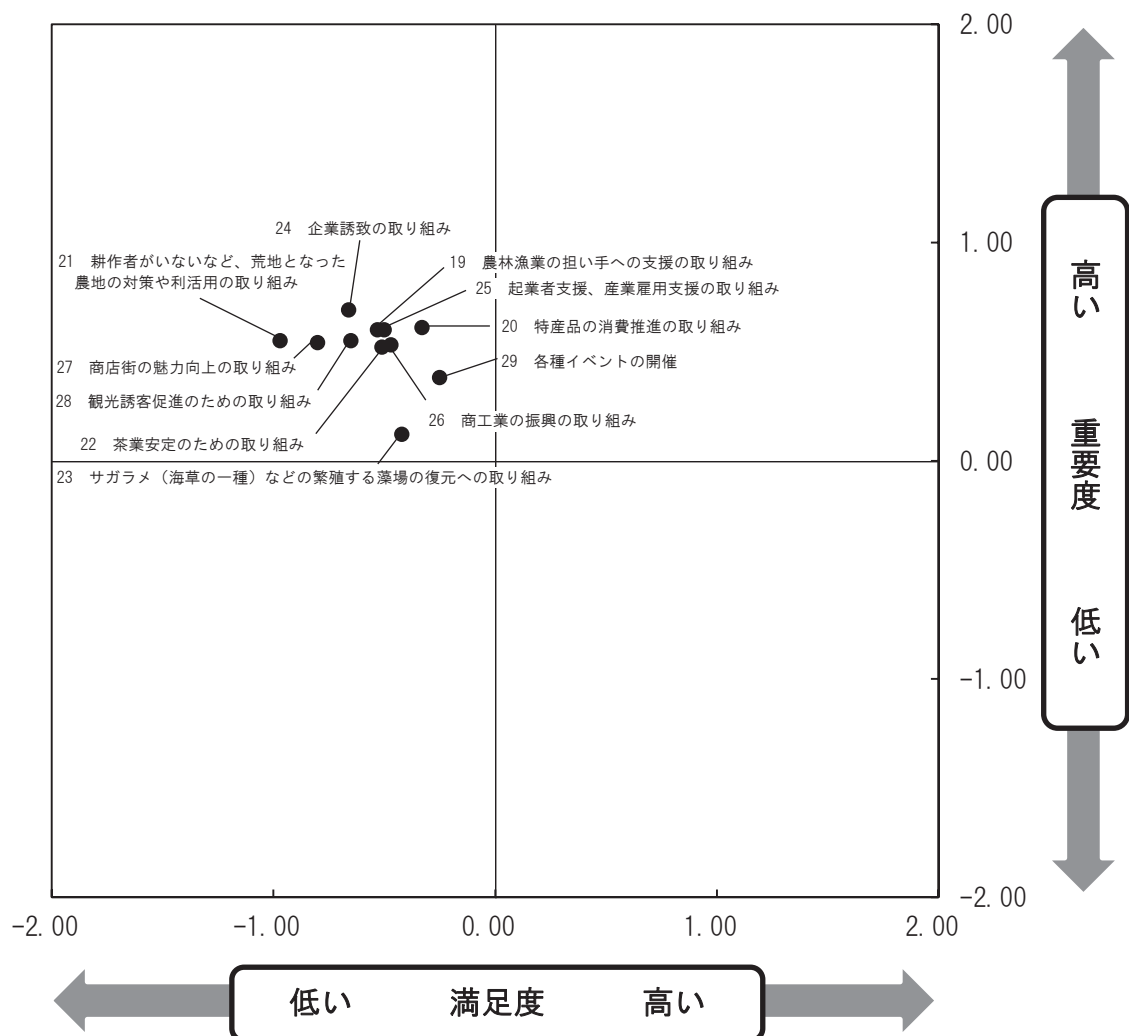
平成30年度 (N=796)



重要度が最も高い項目は、《24 企業誘致の取り組み》で、『高い』（「高い」+「やや高い」）が 59.9%、評価点が 0.69 点となっています。次に重要度が高い項目は、《20 特産品の消費推進の取り組み》（0.61 点）、《19 農林漁業の担い手への支援の取り組み》（0.60 点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《23 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み》で、『低い』（「やや低い」+「低い」）が 36.9%、評価点が 0.12 点となっています。次に重要度が低い項目は、《29 各種イベントの開催》（0.38 点）、《22 茶業安定のための取り組み》（0.52 点）、《21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み》（0.55 点）などとなっています。

【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり	満足度	重要度
19 農林漁業の担い手への支援の取り組み	-0.53	0.60
20 特産品の消費推進の取り組み	-0.33	0.61
21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	-0.97	0.55
22 茶業安定のための取り組み	-0.51	0.52
23 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み	-0.42	0.12
24 企業誘致の取り組み	-0.66	0.69
25 起業者支援、産業雇用支援の取り組み	-0.50	0.60
26 商工業の振興の取り組み	-0.47	0.53
27 商店街の魅力向上の取り組み	-0.80	0.54
28 観光誘客促進のための取り組み	-0.65	0.55
29 各種イベントの開催	-0.25	0.38



散布図でみると、すべての項目が、満足度が低く、重要度が高い第2象限に位置しています。その中でも、《21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み》は満足度が最も低くなっています。《24 企業誘致の取り組み》は重要度が最も高いものの、満足度は3番目に低くなっています。

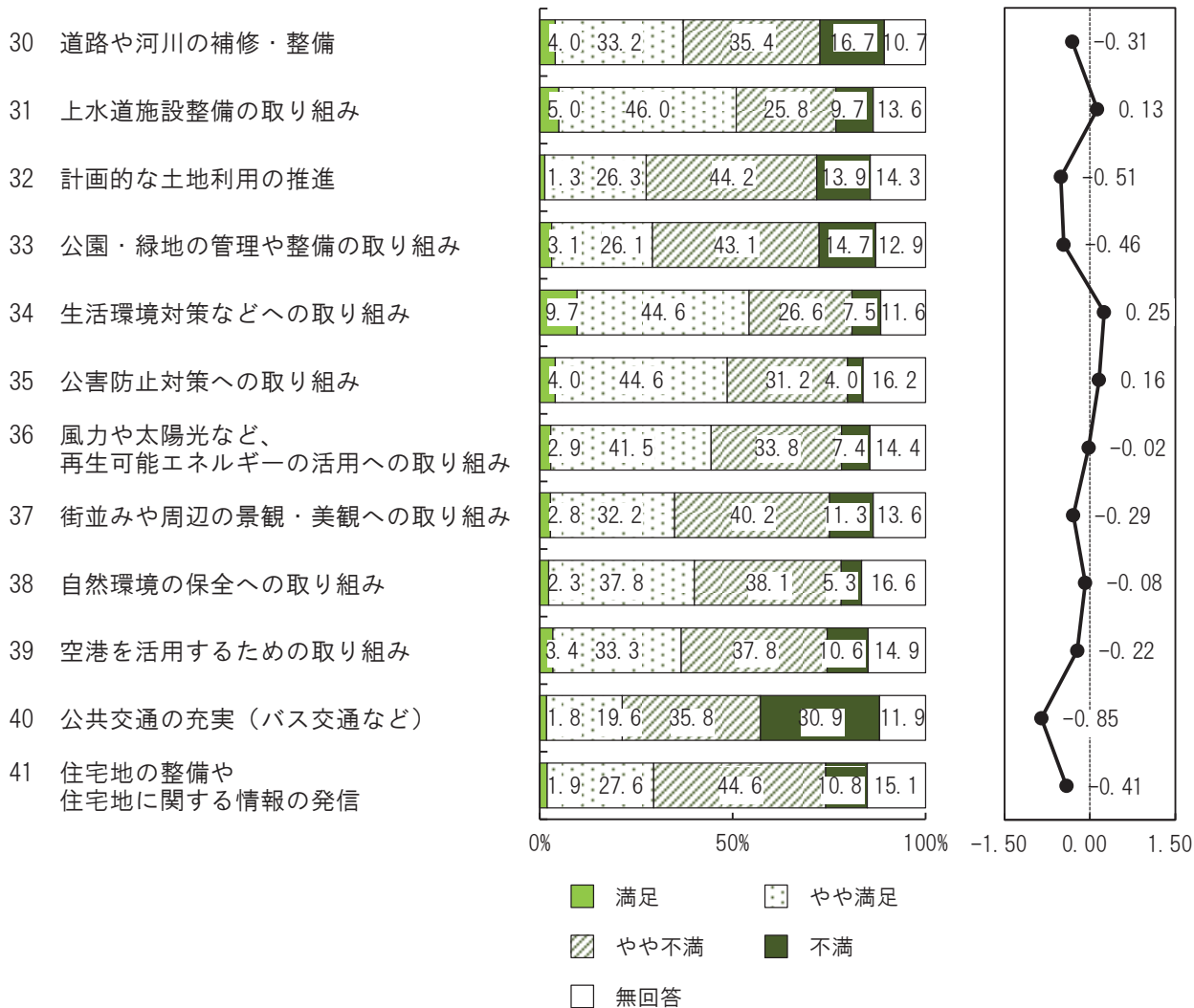


(32) 満足度・重要度【生活基盤】

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

《満足度》

平成30年度 (N=796)



満足度が最も高い項目は、《34 生活環境対策などへの取り組み》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が54.3%、評価点が0.25点となっています。次に満足度が高い項目は、《31 上水道施設整備の取り組み》（0.13点）、《35 公害防止対策への取り組み》（0.16点）などとなっています。

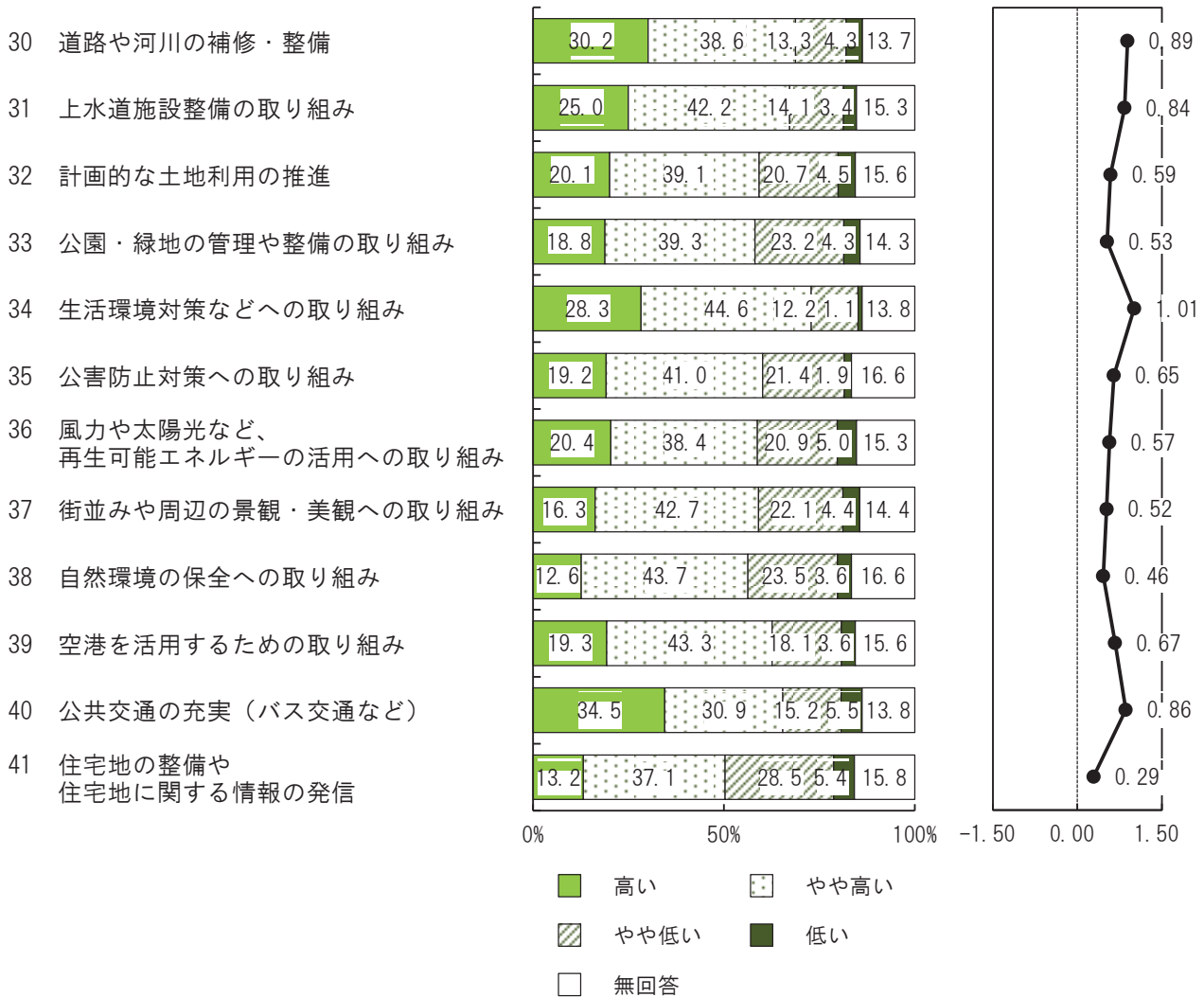
満足度が最も低い項目は、《40 公共交通の充実（バス交通など）》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が66.7%、評価点が-0.85点となっています。次に満足度が低い項目は、《32 計画的な土地利用の推進》（-0.51点）、《33 公園・緑地の管理や整備の取り組み》（-0.46点）などとなっています。



## 【生活基盤】 快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり

## 《重要度》

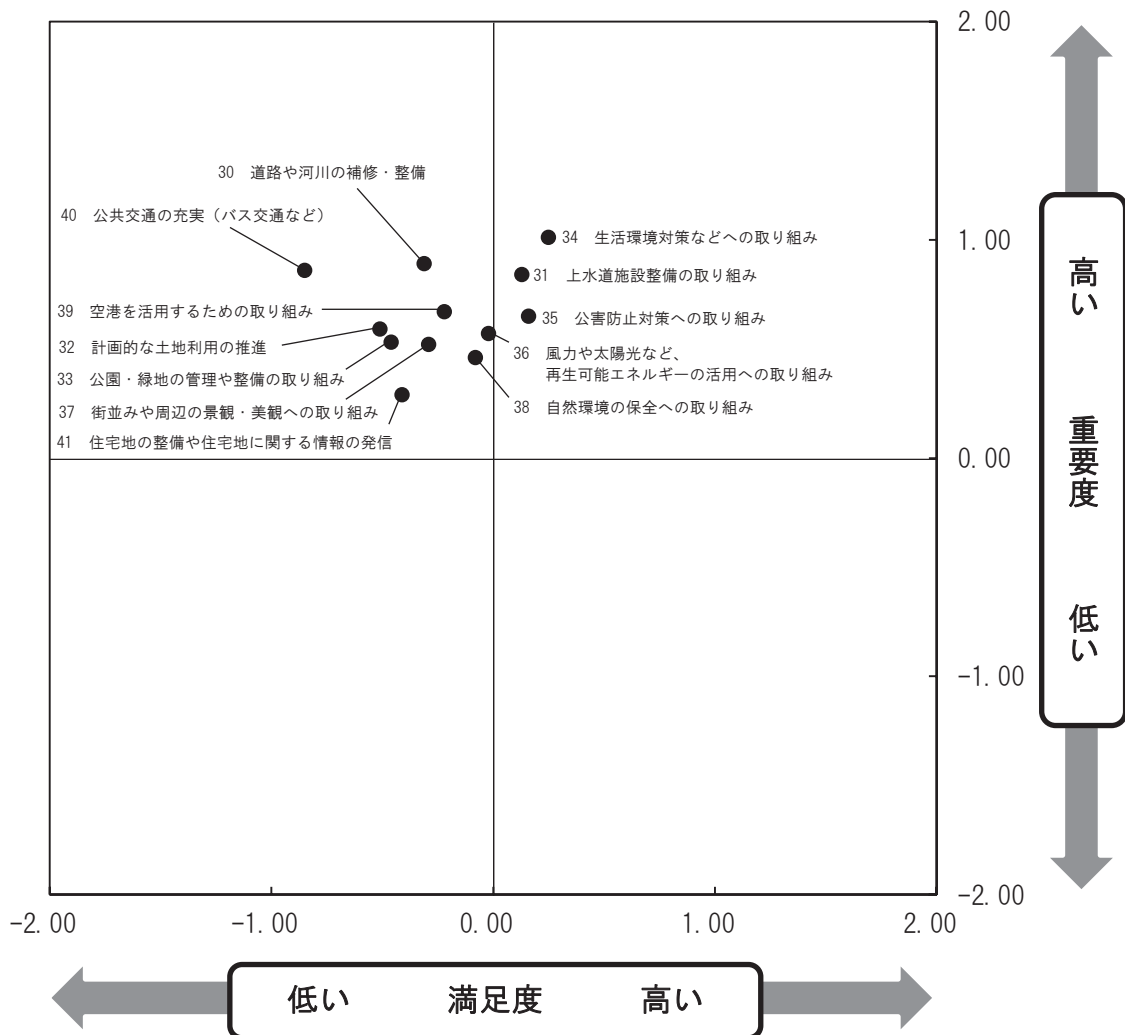
平成30年度 (N=796)



重要度が最も高い項目は、《34 生活環境対策などへの取り組み》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が72.9%、評価点が1.01点となっています。次に重要度が高い項目は、《30 道路や河川の補修・整備》（0.89点）、《31 上水道施設整備の取り組み》（0.84点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《41 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が33.9%、評価点が0.29点となっています。次に重要度が低い項目は、《38 自然環境の保全への取り組み》（0.46点）、《33 公園・緑地の管理や整備の取り組み》（0.53点）などとなっています。

【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり	満足度	重要度
30 道路や河川の補修・整備	-0.31	0.89
31 上水道施設整備の取り組み	0.13	0.84
32 計画的な土地利用の推進	-0.51	0.59
33 公園・緑地の管理や整備の取り組み	-0.46	0.53
34 生活環境対策などへの取り組み	0.25	1.01
35 公害防止対策への取り組み	0.16	0.65
36 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	-0.02	0.57
37 街並みや周辺の景観・美観への取り組み	-0.29	0.52
38 自然環境の保全への取り組み	-0.08	0.46
39 空港を活用するための取り組み	-0.22	0.67
40 公共交通の充実（バス交通など）	-0.85	0.86
41 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	-0.41	0.29



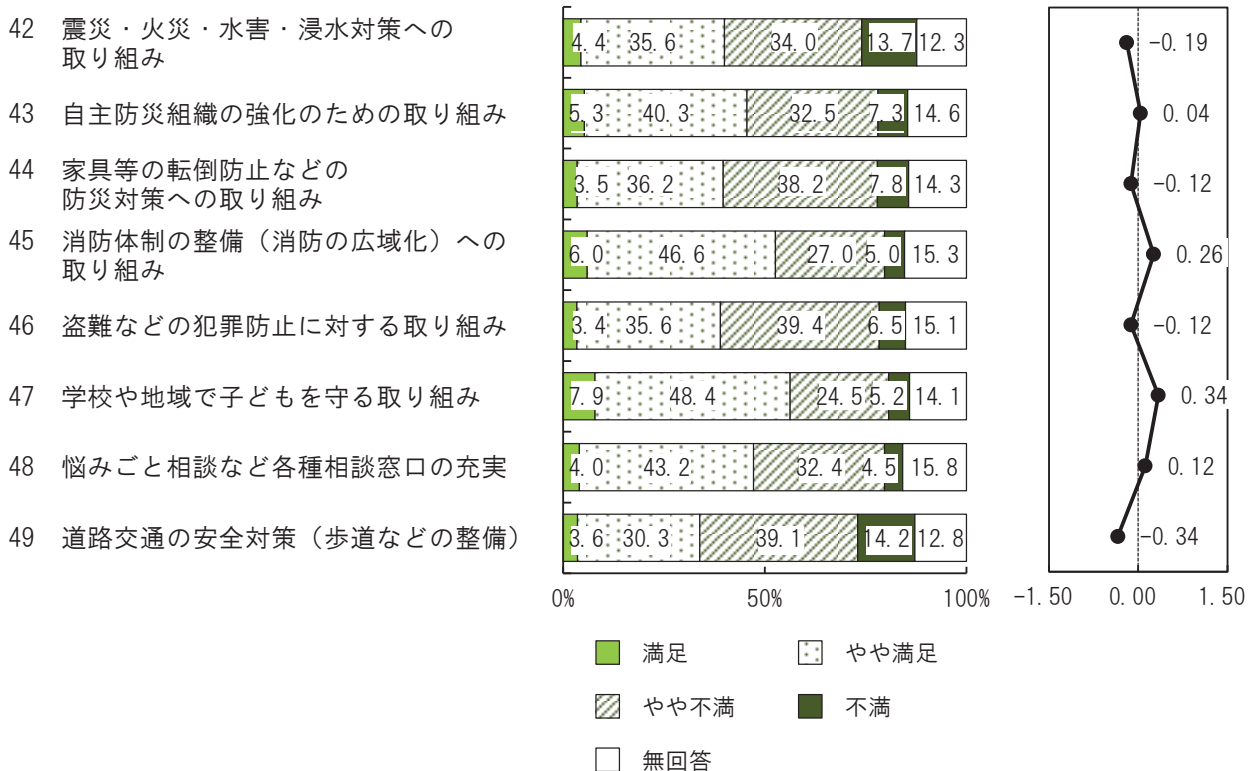
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、《34 生活環境対策などへの取り組み》は満足度が最も高くなっています。一方で、《40 公共交通の充実（バス交通など）》は重要度が3番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

## (33) 満足度・重要度【防災】

## 【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

## 《満足度》

平成30年度 (N=796)



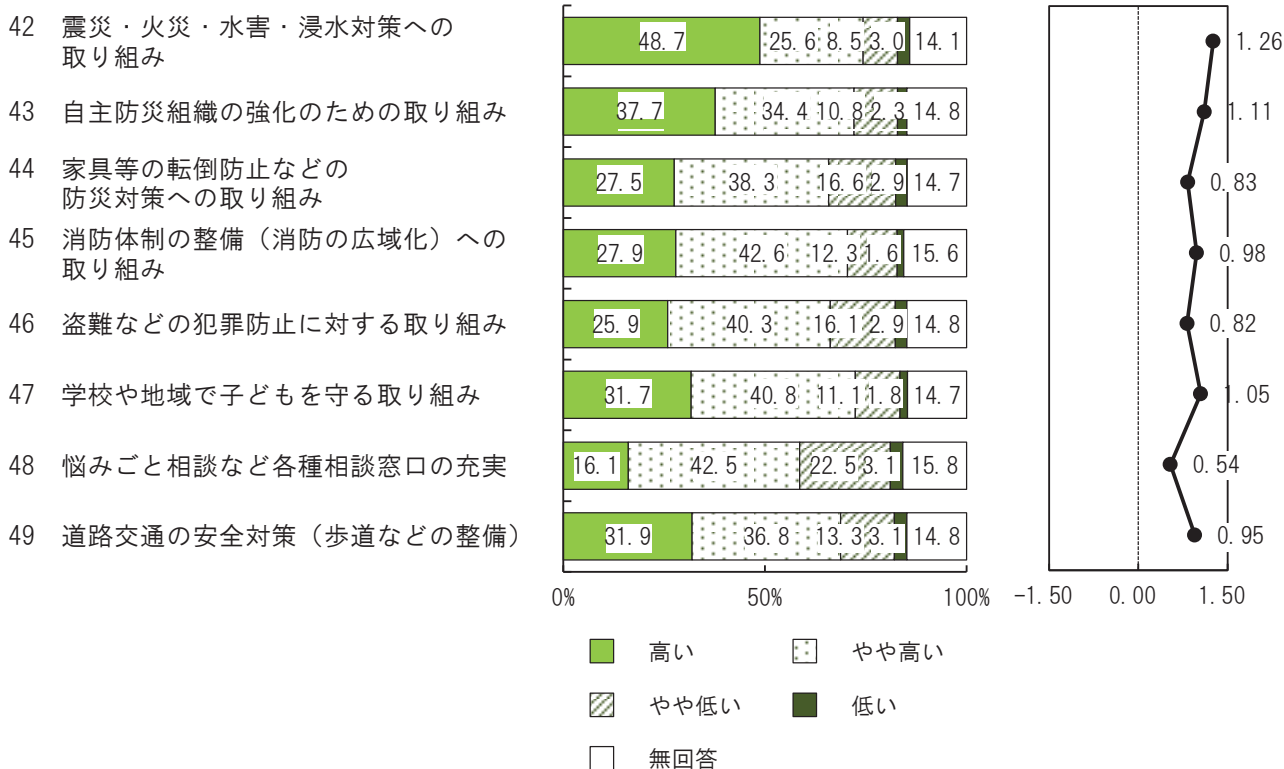
満足度が最も高い項目は、《47 学校や地域で子どもを守る取り組み》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が56.3%、評価点が0.34点となっています。次に満足度が高い項目は、《45 消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み》（0.26点）、《48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実》（0.12点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《49 道路交通の安全対策（歩道などの整備）》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が53.3%、評価点が-0.34点となっています。次に満足度が低い項目は、《42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み》（-0.19点）、《44 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み》（-0.12点）などとなっています。

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり

《重要度》

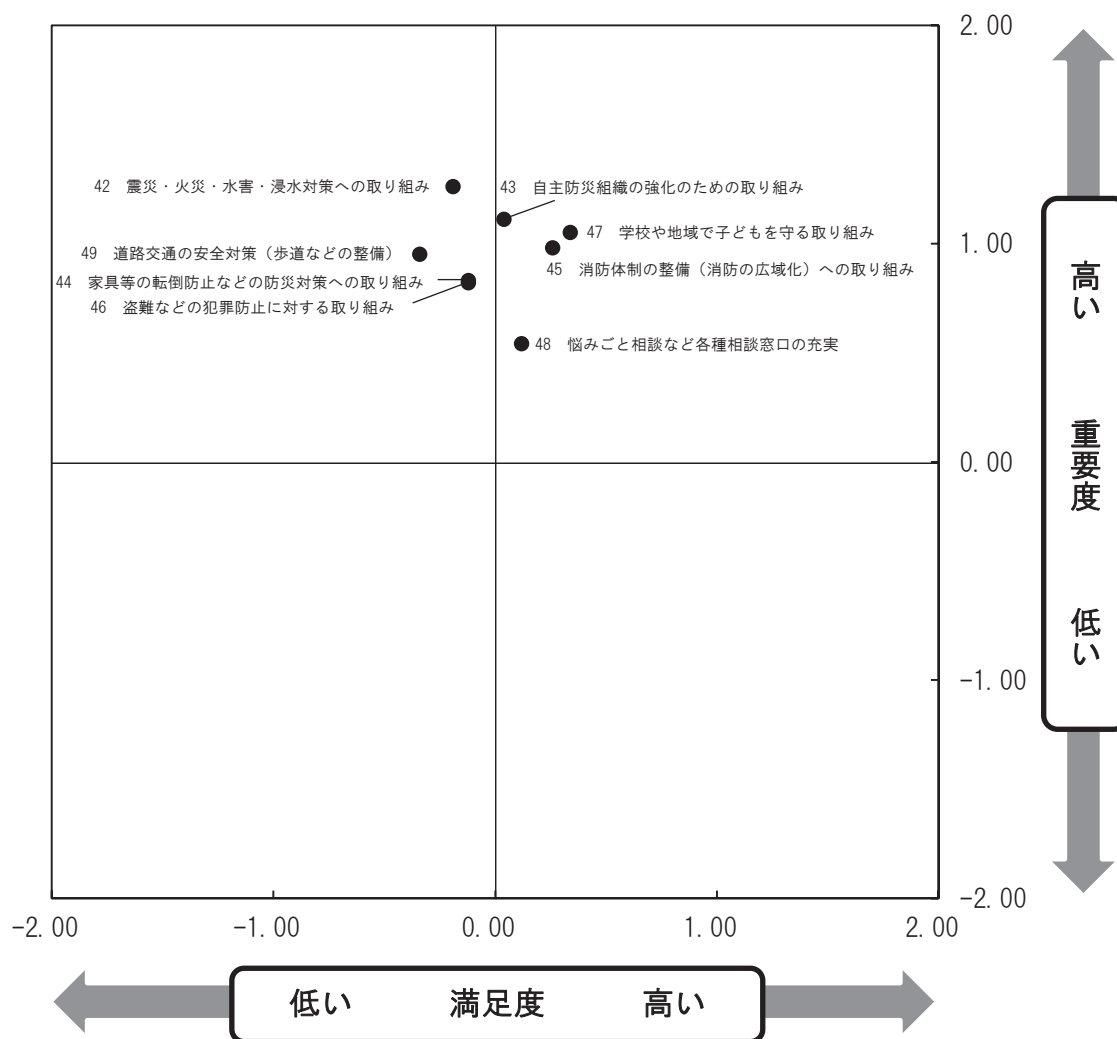
平成30年度 (N=796)



重要度が最も高い項目は、《42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が74.3%、評価点が1.26点となっています。次に重要度が高い項目は、《43 自主防災組織の強化のための取り組み（防災訓練など）》（1.11点）、《47 学校や地域で子どもを守る取り組み》（1.05点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が25.6%、評価点が0.54点となっています。次に重要度が低い項目は、《46 盗難などの犯罪防止に対する取り組み》（0.82点）、《44 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み》（0.83点）などとなっています。

【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり	満足度	重要度
42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	-0.19	1.26
43 自主防災組織の強化のための取り組み	0.04	1.11
44 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	-0.12	0.83
45 消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み	0.26	0.98
46 盗難などの犯罪防止に対する取り組み	-0.12	0.82
47 学校や地域で子どもを守る取り組み	0.34	1.05
48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	0.12	0.54
49 道路交通の安全対策（歩道などの整備）	-0.34	0.95



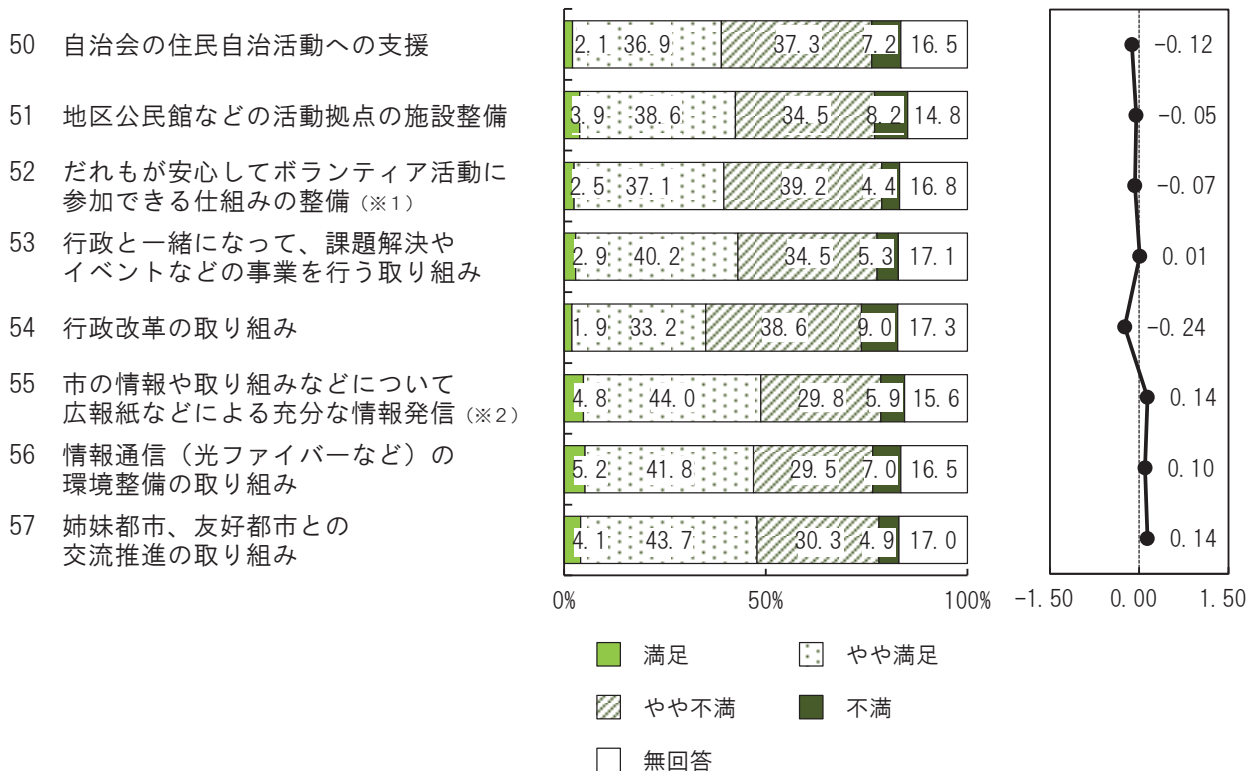
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、「47 学校や地域で子どもを守る取り組み」は満足度が最も高くなっています。一方で、「49 道路交通の安全対策（歩道などの整備）」は重要度が5番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。

(34) 満足度・重要度【市政経営】

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり

《満足度》

平成30年度 (N=796)



※1 52 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備

※2 55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信

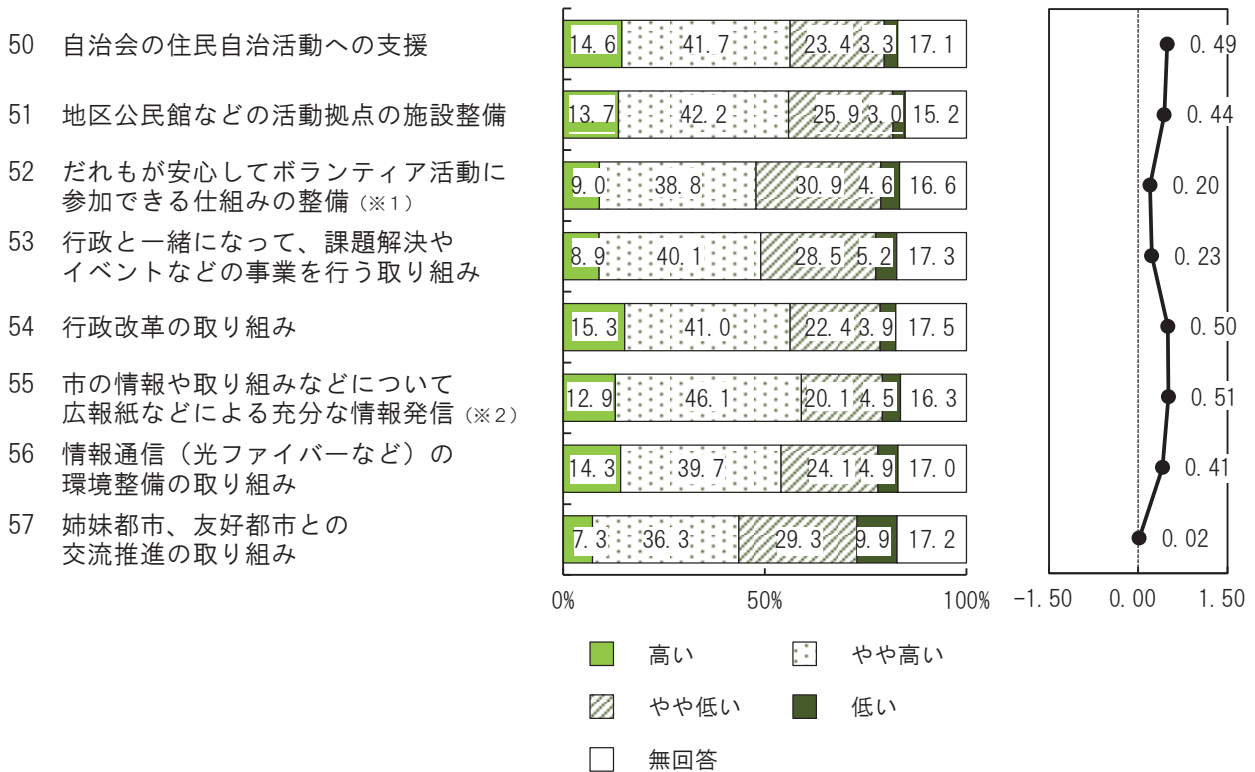
満足度が最も高い項目は、《55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信》で、『満足』（「満足」＋「やや満足」）が48.8%、評価点が0.14点となっています。次に満足度が高い項目は、《57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み》（0.14点）、《56 情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の取り組み》（0.10点）などとなっています。

満足度が最も低い項目は、《54 行政改革の取り組み》で、『不満』（「やや不満」＋「不満」）が47.6%、評価点が-0.24点となっています。次に満足度が低い項目は、《50 自治会の住民自治活動への支援》（-0.12点）、《52 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備》（-0.07点）などとなっています。

## 【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり

## 《重要度》

平成30年度 (N=796)



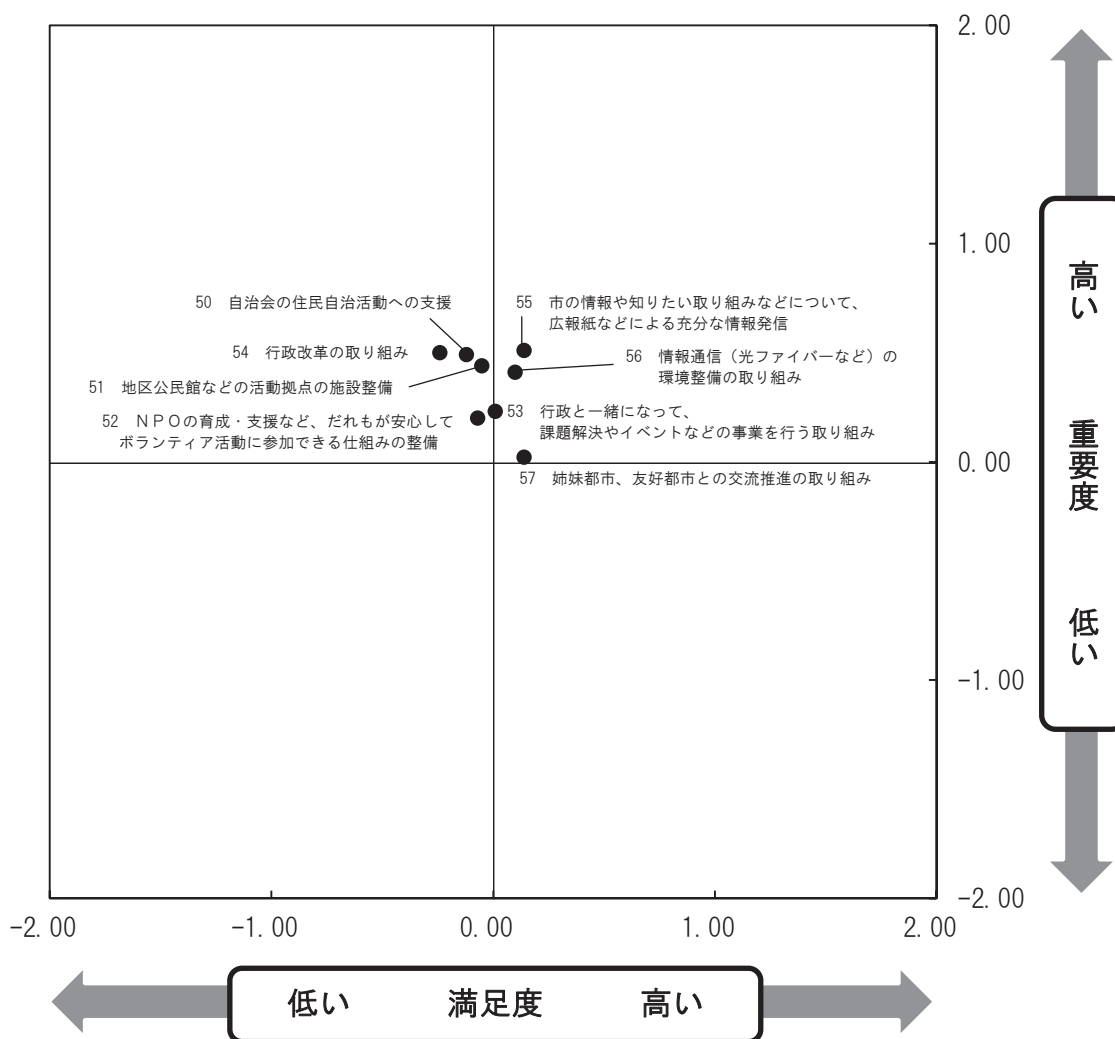
※1 52 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備

※2 55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信

重要度が最も高い項目は、《55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信》で、『高い』（「高い」＋「やや高い」）が59.0%、評価点が0.51点となっています。次に重要度が高い項目は、《54 行政改革の取り組み》（0.50点）、《50 自治会の住民自治活動への支援》（0.49点）などとなっています。

重要度が最も低い項目は、《57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み》で、『低い』（「やや低い」＋「低い」）が39.2%、評価点が0.02点となっています。次に重要度が低い項目は、《52 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備》（0.20点）、《53 行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業を行う取り組み》（0.23点）などとなっています。

【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり	満足度	重要度
50 自治会の住民自治活動への支援	-0.12	0.49
51 地区公民館などの活動拠点の施設整備	-0.05	0.44
52 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組みの整備	-0.07	0.20
53 行政と一緒にになって、課題解決やイベントなどの事業を行う取り組み	0.01	0.23
54 行政改革の取り組み	-0.24	0.50
55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信	0.14	0.51
56 情報通信（光ファイバーなど）の環境整備の取り組み	0.10	0.41
57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み	0.14	0.02



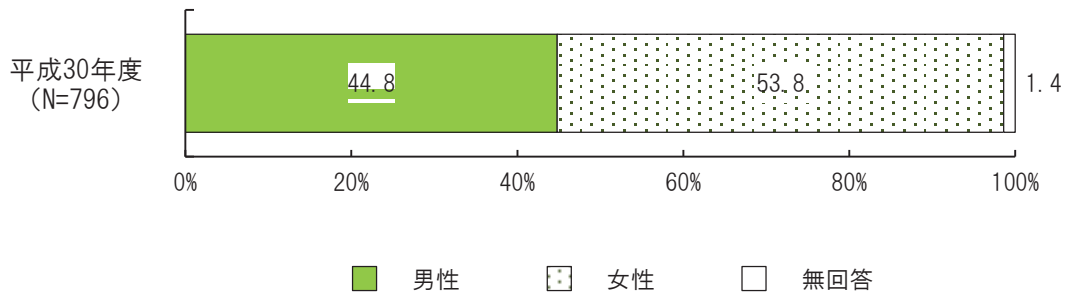
散布図でみると、すべての項目において重要度が高くなっています。その中でも、「55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信」、「57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み」は満足度が最も高くなっています。一方で、「54 行政改革の取り組み」は重要度が2番目に高いものの、満足度は最も低くなっています。



## ⑨回答者自身のことについて

### (35) 回答者の属性 ①性別

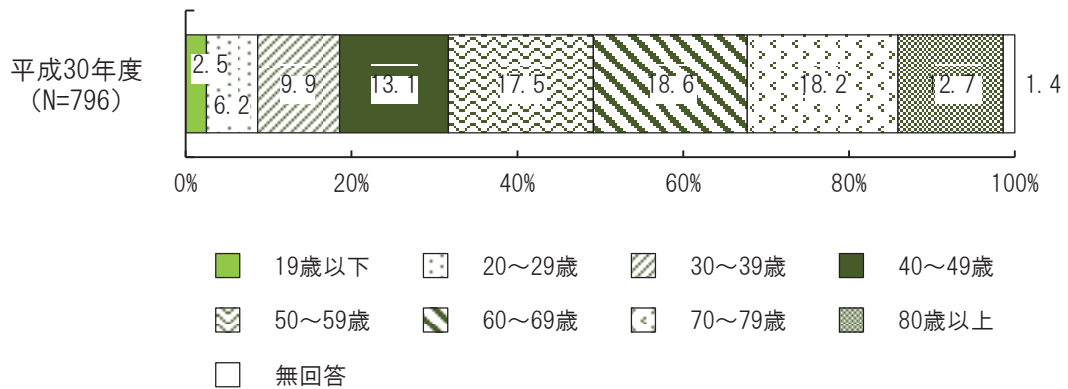
問 25 1 あなたの性別は？（○は1つ）



回答者の性別は、「男性」が44.8%、「女性」が53.8%となっています。

### (36) 回答者の属性 ②年齢

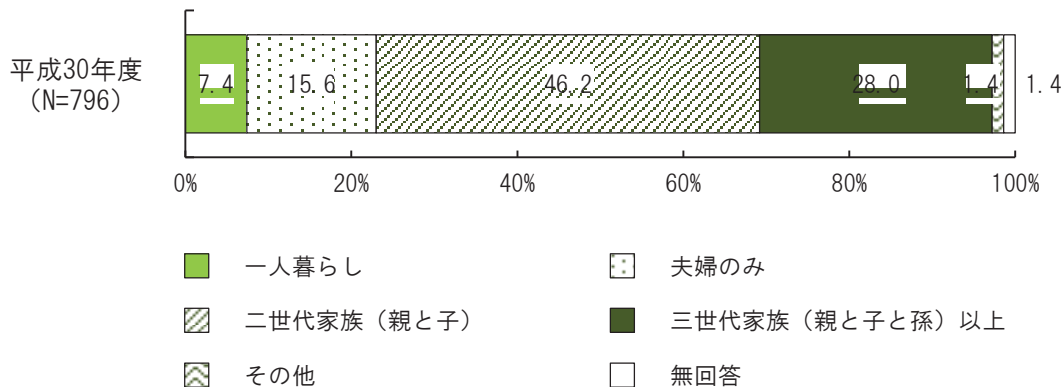
問 25 2 あなたの年齢は？（○は1つ）



回答者の年齢は、「60～69歳」が18.6%と最も多く、次いで「70～79歳」が18.2%、「50～59歳」が17.5%などとなっています。

(37) 回答者の属性 ③同居世帯の構成

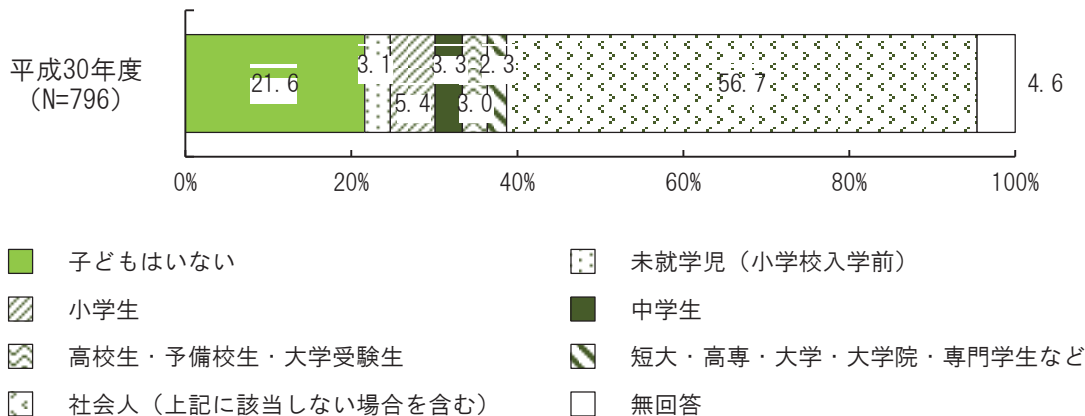
問 25 3 あなたを含む同居世帯の構成は？（○は1つ）



回答者の同居世帯の構成は、「二世世代家族（親と子）」が46.2%と最も多く、次いで「三世世代家族（親と子と孫）以上」が28.0%、「夫婦のみ」が15.6%などとなっています。

(38) 回答者の属性 ④子どもの有無・一番上の子どもの年ごろ

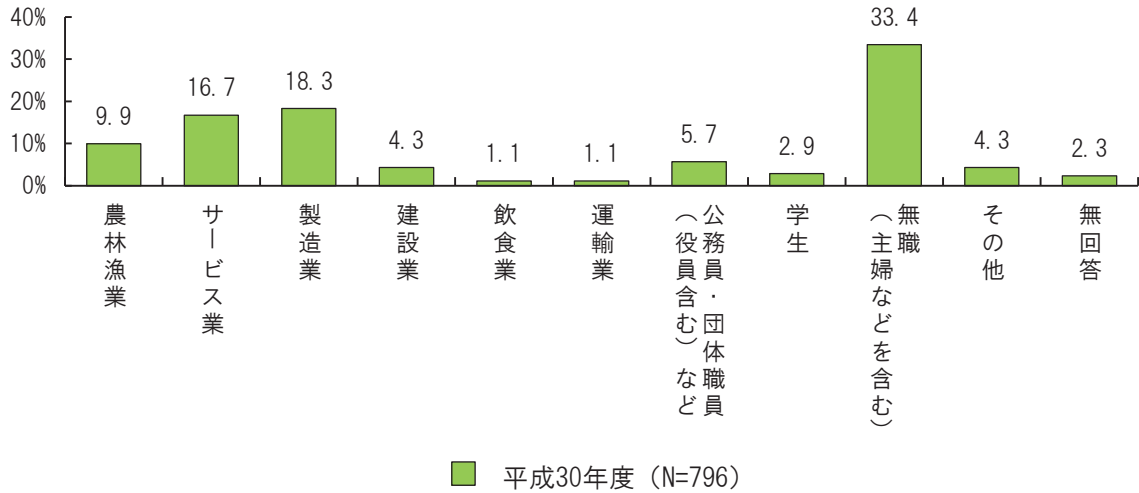
問 25 4 あなたにお子さんはいますか？また、いる方は、一番上のお子さんの年ごろを教えてください。（○は1つ）



回答者の子どもの有無・一番上の子どもの年ごろは、「社会人（上記に該当しない場合を含む）」が56.7%と最も多く、次いで「子どもはいない」が21.6%、「小学生」が5.4%などとなっています。

## (39) 回答者の属性 ⑤職業

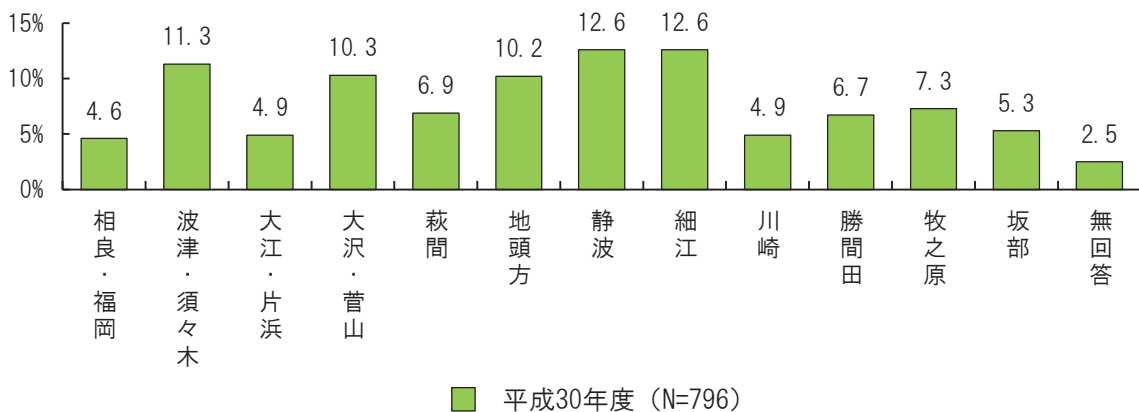
問 25 5 あなたの職業は？（○は1つ）



回答者の職業は、「無職 (主婦などを含む)」が 33.4%と最も多く、次いで「製造業」が 18.3%、「サービス業」が 16.7%などとなっています。

## (40) 回答者の属性 ⑥居住地域

問 25 6 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？（○は1つ）



回答者の居住地域は、「静波」、「細江」がそれぞれ 12.6%と最も多く、次いで「波津・須々木」が 11.3%、「大沢・菅山」が 10.3%などとなっています。

### 3. 調査票

牧之原市の取り組みに「あなたの声」を聴かせてください!

# 牧之原市 市民意識調査

～ 調査ご協力 の お 願 い ～

日頃から市政推進のためにご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、牧之原市では、「対話による協働のまちづくり」のもと、1,500人を超える市民が関わり策定した「第2次総合計画」が、平成30年度で4年目を迎えます。  
総合計画では、将来都市像「絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEXT まきのはら」を実現するため、28の施策すべてに設定した数値目標を毎年検証し、改善するPDCAサイクルを導入しています。  
この調査は、市民の皆様の声をお聴きするとともに、総合計画に設定した数値目標の進捗をチェックするために実施するものです。  
調査の対象は、市内にお住まいの16歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた1,400人の方々としており、この度、あなたに回答をお願いすることとなりました。  
調査結果は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。また、回答した個人は特定されませんので、ご安心ください。  
設問数が多く、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、皆様の声を必ず市政に反映しますので、ご協力をよろしく願います。  
なお、調査結果については、本年7月に公表を予定しています。

平成30年4月

牧之原市長 杉本基久雄



#### ■記入にあたってのお願い

- この調査はあて名のご本人がご記入ください。  
※ご本人が高齢等で記入できない場合は、お手数ですが、ご家族が聞き取り等でご記入ください。  
(ご家族がご対応できない場合は職員が伺いますので、下記担当までご連絡ください。)
- 回答は、無記名でお願いします。
- 回答は、設問ごとに「1つ」「3つ以内」などそれぞれ指定されています。  
お間違えないようお気を付けてください。  
○は番号を囲むように濃くつけてください。例 (①)

#### ■調査票の返送と調査に関するお問い合わせ

調査票への記入が済みましたら、同封した返信用封筒に入れ、牧之原市 企画政策部 秘書政策課までご返送ください。(切手は不要です)  
お手数をお掛けしますが、お近くの郵便ポストへ**5月11日(金)**までにご投函ください。  
この調査や質問内容についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

牧之原市 企画政策部 秘書政策課 (担当: 田中・池田) 電話0548-23-0052

### <牧之原市での暮らしについてお聞きします>

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後も住み続けたいと思いますか？あてはまるものに1つ ○印をつけてください。

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 1. 住み続けたい  | 2. 市内の他の場所へ移りたい |
| 3. 市外へ移りたい | 4. わからない        |

(問1で「2. 市内の他の場所へ移りたい」または「3. 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

▶問2 他の場所へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから | 2. 通勤や通学など交通面が不便だから  |
| 3. 道路などの生活基盤が整備されていないから  | 4. 子育てや教育の環境が良くないから  |
| 5. 医療や介護の環境が良くないから       | 6. 自然環境が悪化しているから     |
| 7. 地震や津波などの被災のおそれがあるから   | 8. 人間関係やしきたり等が煩わしいから |
| 9. 知人や親族がいないから           | 10. 故郷ではないから         |
| 11. 勤めたい会社が市内にないから       | 12. その他(具体的に: )      |

問3 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- |            |             |              |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う   | 2. ある程度思う   | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない     |

(問3で「1. 大いに思う」または「2. ある程度思う」と答えた方にお聞きします。)

▶問4 幸せだと思う理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 健康であるから               | 2. 生きがいがあるから       |
| 3. 生活環境が良好であるから          | 4. 家族や友人との関係が良好だから |
| 5. 治安が保たれているから           | 6. 住まいがあるから        |
| 7. 生活に余裕があるから            | 8. 災害がないから         |
| 9. 食生活が良好であるから           | 10. 良い職場に勤めているから   |
| 11. 活躍できる場があるから          | 12. 社会貢献する場があるから   |
| 13. スポーツ活動などの趣味が充実しているから | 14. その他(具体的に: )    |

**<原子力発電についてお聞きします>**

問5 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい
2. 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい
3. どちらともいえない
4. わからない
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

**<子育て環境についてお聞きします>**

**ちょっと見て！① 子育て世帯を支援するため、次の取り組みを行っています。**

- ・（平成 30 年度新規事業）
  - ・ 第3子以降の保育料の無償化・・・3歳児から5歳児を対象に実施（平成 30 年 9 月から）
  - ・ 「こどもセンター」の設置・・・育児相談や発達支援相談の実施
  - ・ 産後ケア事業・・・産後の母子やその家族に対し、助産師等が育児や栄養の指導を実施
- ・（継続事業）
  - ・ こども医療費助成・・・0歳から中学生まで個人負担（保険診療分）なし
  - ・ まきはぐ・・・スマートフォンやパソコンから予防接種の案内や健診結果、保育園、幼稚園、学校からの連絡など子育て情報を総合的に確認できるシステムを提供
  - ・ 放課後児童クラブ・・・小学1～6年生を対象に、各地区に設置
  - ・ 妊産婦通院等支援・・・通院などの費用として、3万円の商品券を助成
  - ・ 病後児保育・・・保育室で病後の回復期の幼児の預かりを実施



問6 あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- |            |             |              |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う   | 2. ある程度思う   | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない     |

問7 あなたは、子どもを産み育てやすい環境にするため、市が取り組むべきことはどれだと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 小児科や産婦人科などの医療機関の充実 | 2. 親子で遊べる施設や公園の整備  |
| 3. 子育てに関する経済的支援の充実    | 4. 悩みごとを話せる相談窓口の充実 |
| 5. 教育・文化水準の向上         | 6. 一時的に子どもを預かる施設   |
| 7. 地震・津波などの災害対策       | 8. 地域で子どもを育てる意識の向上 |
| 9. 子育てについての積極的な情報提供   |                    |
| 10. その他（具体的に： _____ ) |                    |



<“公共施設の更新問題”についてお聞きします>

日本では、昭和40年代から50年代にかけて、高度経済成長や都市化の進展に伴い、道路や橋を含めた公共施設を一齐に整備しました。現在、これらの公共施設は、一齐に老朽化しつつあり、また、近い将来、一齐に作り直さなければいけない時期を迎えますが、高齢化と人口減少が進む中で財政状況は悪化し、全ての公共施設を維持することが難しくなります。このことは、「公共施設の更新問題(老朽化問題)」とされています。

問8 あなたは、この「公共施設の更新問題(老朽化問題)」を知っていましたか？あてはまるものに1つ〇印をつけてください。

1. 知っている                      2. 聞いたことがある                      3. 知らない

問9 牧之原市では、この「公共施設の更新問題(老朽化問題)」に対応するための取り組みを行っています。あなたは、この取り組みを知っていましたか？あてはまるものに1つ〇印をつけてください。

1. 知っている                      2. 聞いたことがある                      3. 知らない

(問9で「1. 知っている」または「2. 聞いたことがある」と答えた方にお聞きします。)

→問10 その情報を何で見聞きしましたか？あてはまるもの全てに〇印をつけてください。

1. 広報まきのはら                      2. ホームページ                      3. 市の会合  
4. 市民グループの会合                      5. 職員の話                      6. 議員の話  
7. 家族や知人                      8. その他(具体的に:                      )

問11 「公共施設の更新問題(老朽化問題)」への対応を進めると、施設の統合や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりしたりする場合があります。あなたは、このことに対してどう思いますか？あてはまるものに1つ〇印をつけてください。

1. 容認できる                      2. ある程度までは容認できる                      3. 容認できない

<産業・雇用についてお聞きします>

ちょっと見て！② 市の産業を統計で見ると

【製造業】製造品出荷額の伸び率 県内の市で第 4 位（工業統計調査 平成 27 年から 28 年の伸び率）

【商 業】年間商品販売額（小売業）の伸び率 県内の市で第 2 位  
（商業統計調査 平成 24 年から 26 年の伸び率）

【雇 用】有効求人倍率（平成 28 年度）1.53（ハローワーク榛原出張所管内）  
6 年前から毎年度上昇、全国及び静岡県の数値を上回る



問 12 あなたは、市の産業に、活力(元気)があると思いますか。あてはまるものに 1 つ ○印をつけてください。

- |            |             |              |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 大いに思う   | 2. ある程度思う   | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり思わない | 5. まったく思わない | 6. わからない     |

（問 12 で「1. 大いに思う」または「2. ある程度思う」と答えた方にお聞きします。）

問 13 あなたは、どの産業に活力(元気)があると思いますか。あてはまるもの 全て に ○印をつけてください。

- |                     |        |       |
|---------------------|--------|-------|
| 1. 農業               | 2. 水産業 | 3. 商業 |
| 4. 工業               | 5. 観光業 |       |
| 6. その他（具体的に： _____） |        |       |

問 14 あなたは、市の産業が活力(元気)を持つために、市が力を入れるべき取り組みは何だと思えますか？次の中から 3 つ以内で選んで ○印をつけてください。

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 企業誘致の促進              | 2. 既存産業の設備投資などへの支援 |
| 3. 特産品・製品の市外への P R      | 4. 販路開拓や市場調査への支援   |
| 5. 後継者の育成への支援           | 6. 地域資源の活用         |
| 7. 起業・新規就農に対する支援        | 8. イベントの開催         |
| 9. 異なる業種との交流の促進         | 10. 事業者の意識改革       |
| 11. 新たな特産品、新製品、新技術の開発支援 |                    |
| 12. その他（具体的に： _____）    |                    |



**<地域活動についてお聞きします>**

問 15 あなたは、週に何日くらい外出しますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- |               |           |           |
|---------------|-----------|-----------|
| 1. 毎日（週に6～7日） | 2. 週に4～5日 | 3. 週に2～3日 |
| 4. 週に1日       | 5. ほとんどない |           |

問 16 あなたは、何のために外出しますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- |                     |              |                |
|---------------------|--------------|----------------|
| 1. 買い物              | 2. 仕事（農作業含む） | 3. 通学          |
| 4. 塾                | 5. スポーツや部活動  | 6. 外食          |
| 7. 旅行               | 8. 散歩        | 9. 趣味や娯楽       |
| 10. 医療機関への通院        | 11. 学習活動     | 12. 地域活動       |
| 13. 友人や子どもの家などへの訪問  |              |                |
| 14. その他（具体的に：_____） |              | 15. 外出はほとんどしない |

問 17 あなたは、30分以上の運動を週に何日くらいしますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- |               |           |           |
|---------------|-----------|-----------|
| 1. 毎日（週に6～7日） | 2. 週に4～5日 | 3. 週に2～3日 |
| 4. 週に1日       | 5. ほとんどない |           |

問 18 あなたが現在参加している地域活動は何ですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- |                                |                         |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 健康づくり                       | 2. 高齢者や障がい者の支援          |
| 3. 環境美化や保全                     | 4. イベントの開催              |
| 5. 公園や施設の維持管理                  | 6. 生涯学習                 |
| 7. 地域の計画づくり（地域の絆づくり等）          | 8. 文化芸術（伝統行事、まつり等）      |
| 9. 学校行事（子ども会、PTA活動等）           | 10. 自治会の行事（地域の会合、奉仕活動等） |
| 11. スポーツ（地区のスポーツ大会、スポーツ少年団等）   |                         |
| 12. 子育て支援（子育てサークル・託児ボランティアを含む） |                         |
| 13. 防犯や防災（防犯活動、防災訓練、交通安全運動等）   |                         |
| 14. その他（具体的に：_____）            |                         |
| 15. 参加していない                    |                         |

問 19 あなたは、地域活動の活発・活性化に何が必要だと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. 住民の自治意識の向上 | 2. 行政と住民との地域情報の共有 |
| 3. 人材育成       | 4. 活動拠点の整備        |
| 5. 行政からの人的支援  | 6. 地域のことは地域に任せる   |
| 7. 各種組織団体の連携  | 8. 活動団体の自己財源の確保   |
| 9. 行政からの財政支援  | 10. その他（具体的に： )   |

**<市からの情報発信についてお聞きします>**

問 20 あなたは、市からどんな情報を得たいと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- |                |                 |          |
|----------------|-----------------|----------|
| 1. 子育て         | 2. 健康・医療・福祉     | 3. 防災・防犯 |
| 4. 道路整備        | 5. 観光・イベント      | 6. 環境    |
| 7. 教育          | 8. 産業           | 9. 生活    |
| 10. スポーツ・文化・歴史 | 11. その他（具体的に： ) |          |

問 21 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- |                 |               |             |
|-----------------|---------------|-------------|
| 1. 広報まきのはら      | 2. ホームページ     | 3. フェイスブック  |
| 4. 教育委員会だより     | 5. 新聞、テレビ、ラジオ | 6. 区、町内会の会合 |
| 7. 市民グループの会合    | 8. 議員の話       | 9. 職員の話     |
| 10. 家族や知人       | 11. 公共施設の資料等  | 12. 議会だより   |
| 13. その他（具体的に： ) |               |             |

（問 21 で「1. 広報まきのはら」と答えた方にお聞きします。）

→ 問 22 広報まきのはらのどこを読みますか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- |                |             |                   |
|----------------|-------------|-------------------|
| 1. 全て          | 2. 表紙       | 3. 特集・お知らせ        |
| 4. 市政情報        | 5. まちのわだい   | 6. 健康ひろば（各検診日程等）  |
| 7. 困りごと・悩みごと相談 | 8. 図書館へ行こうよ | 9. 集まれ！まきのはら KIDS |
| 10. 生活情報       | 11. 巻末特集    | 12. 輝け！未来（裏表紙）    |

問 23 あなたは、広報まきのはらの構成や内容などについてどう思いますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに1つ〇印をつけてください。

## ① 文字の大きさ

1. 大きい                      2. ちょうど良い                      3. 小さい

## ② 文字の量

1. 多い                      2. ちょうど良い                      3. 少ない

## ③ ページ数

1. 多い                      2. ちょうど良い                      3. 少ない

## ④ 見やすさ

1. 見やすい                      2. どちらかといえば見やすい                      3. どちらともいえない  
4. どちらかといえば見にくい                      5. 見にくい

## ⑤ 内容

1. 良い                      2. どちらかといえば良い                      3. どちらともいえない  
4. どちらかといえば悪い                      5. 悪い

**ちょっと見て！③ 今、こんな事業に取り組んでいます。**

- ◆2020年東京五輪の中国・アメリカのホストタウンに登録
  - ・ビーチスポーツを活用した沿岸部のにぎわいを創出
  - ・文化交流やスポーツ交流を深め、おもてなしの体制づくりを推進
- ◆東名相良牧之原インターチェンジ北側の開発
  - ・新たな賑わいと安心安全な住宅地を創出し、定住・交流人口を拡大
- ◆富士山静岡空港の立地を活かし、中国資本の国内投資を呼び込むための事業を推進
- ◆平成30年10月の富士山静岡空港の旅客ターミナルビルの増築・改修工事の完成に向けたインバウンド観光の推進
- ◆高齢者や免許返納者などの交通弱者の移動手段の確保のため、坂部地区において、予約に応じて目的地まで運ぶデマンド乗合タクシーの試験運行を実施中
- ◆教育環境の整備
  - ・小中学校の英語指導助手（ALT）の増員や「イングリッシュキャンプ」など、英語を通じてコミュニケーションを図る英語教育を推進
  - ・児童生徒の学力向上に向けた授業の改善を図るため、ICT（情報・通信技術）の活用を整備
- ◆市内への企業立地に伴う補助金を一部地域から市内全域に拡大
- ◆平成28年度から市内での医師の開業を積極的に支援するための補助金を創設



**<牧之原市の行政サービスについてお聞きします>**

問 24 あなたは、市の取り組みについて満足していますか？また、その取り組みが重要であると  
考えますか？それぞれの項目ごとにあてはまるものに○印をつけてください。

※取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれるかもしれませんが、ご家族や  
知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。

(満足度・重要度について、○はそれぞれ1つずつ)

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
〔記入例〕 行政改革の取り組み	1	2	③	4	1	②	3	4
<b>【健康福祉】 支え合い、生き活きと暮らせる地域と人づくり</b>								
1 子育て支援の取り組み (放課後児童クラブや学習支援教室などの取り組み、子育て支援センターや児童館の施設整備など)	1	2	3	4	1	2	3	4
2 幼稚園・保育園・認定こども園等の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
3 こども医療費制度 (医療費の助成により中学生まで個人負担なし)	1	2	3	4	1	2	3	4
4 高齢者への福祉サービスの取り組み (介護予防や高齢者の自主的な活動への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
5 障がい者への福祉サービスの取り組み (生活支援の取り組みなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
6 福祉施設などの整備 (介護の必要な方や障がいのある方が利用する施設などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
7 健康づくりサービスの推進 (介護予防、健診、スポーツ支援)	1	2	3	4	1	2	3	4
8 健康相談などの日常的な保健活動	1	2	3	4	1	2	3	4
9 公共スポーツ施設の整備 (グラウンド、体育館、プール、テニスコートなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
10 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制 (指定管理者制度により運営されています。)	1	2	3	4	1	2	3	4
11 地域福祉活動を行うボランティア等への支援	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
<b>【教育文化】地域全体で学び、育てる教育の場づくり</b>								
12 子どもを通わせたいと思える学校づくりへの取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
13 小・中学校施設の整備 (校舎の改修やトイレの洋式化、空調の設置など)	1	2	3	4	1	2	3	4
14 生涯学習など教養を高める機会の提供 趣味などのサークル活動への参加機会の提供 (はりはら塾や田沼塾などの取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
15 学校・家庭・地域での子どもたちへの教育力 向上の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
16 文化や芸術に触れる機会を提供(充実)する 取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
17 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく 取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
18 図書館の機能充実や図書館整備に関する取 組み	1	2	3	4	1	2	3	4
<b>【産業経済】活力と賑わい、人を呼び込む産業づくり</b>								
19 農林漁業の担い手への支援の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
20 特産品の消費推進の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
21 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対 策や利活用の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
22 茶業安定のための取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
23 サガラメ(海草の一種)などの繁殖する藻場 の復元への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
24 企業誘致の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
25 起業者支援、産業雇用支援の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
26 商工業の振興の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
27 商店街の魅力向上の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
28 観光誘客促進のための取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
29 各種イベントの開催	1	2	3	4	1	2	3	4



評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
<b>【生活基盤】快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり</b>								
30 道路や河川の補修・整備	1	2	3	4	1	2	3	4
31 上水道施設整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
32 計画的な土地利用の推進 (住宅地、商業地、工場、農地など土地利用の特性に基づいた機能分担)	1	2	3	4	1	2	3	4
33 公園・緑地の管理や整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
34 生活環境対策などへの取り組み (ゴミの収集や処理、ゴミ減量化の啓発、資源回収への支援、環境美化の啓発など)	1	2	3	4	1	2	3	4
35 公害防止対策への取り組み (工場や事業所に対する取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
36 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
37 街並みや周辺の景観・美観への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
38 自然環境の保全への取り組み (活動団体への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
39 空港を活用するための取り組み (情報発信や交流の推進)	1	2	3	4	1	2	3	4
40 公共交通の充実 (バス交通など) (通勤・通学など生活交通の利便性向上、日常の買い物の利便性の向上の取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
41 住宅地の整備や住宅地に関する情報の発信	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足	←→		不満	高い	←→		低い
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
<b>【防災】安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり</b>								
42 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
43 自主防災組織の強化のための取り組み (防災訓練や防災資機材整備の補助など防災体制整備への取り組みなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
44 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
45 消防体制の整備(消防の広域化)への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
46 盗難などの犯罪防止に対する取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
47 学校や地域で子どもを守る取り組み (軒先運動や青色パトロールなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
48 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
49 道路交通の安全対策(歩道などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
<b>【市政経営】実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり</b>								
50 自治会の住民自治活動への支援 (お金と人の支援)	1	2	3	4	1	2	3	4
51 地区公民館などの活動拠点の施設整備	1	2	3	4	1	2	3	4
52 NPOの育成・支援など、だれもが安心して ボランティア活動に参加できる仕組みの整備	1	2	3	4	1	2	3	4
53 行政と一緒に、課題解決やイベントな どの事業を行う取り組み (市では協働を進めています。)	1	2	3	4	1	2	3	4
54 行政改革の取り組み (効果的、効率的な取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
55 市の情報や知りたい取り組みなどについて、 広報紙などによる十分な情報発信	1	2	3	4	1	2	3	4
56 情報通信(光ファイバーなど)の環境整備の取 り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
57 姉妹都市、友好都市との交流推進の取組み (市では三戸町、松川町などとの交流推進に取り 組んでいます。)	1	2	3	4	1	2	3	4

**<あなたご自身のことについてお聞きします>**

問 25 それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。(○はそれぞれ1つ)

1 あなたの性別は？

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

2 あなたの年齢は？

- |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 19 歳以下  | 2. 20～29 歳 | 3. 30～39 歳 | 4. 40～49 歳 |
| 5. 50～59 歳 | 6. 60～69 歳 | 7. 70～79 歳 | 8. 80 歳以上  |

3 あなたを含む同居世帯の構成は？

- |                    |                     |                |
|--------------------|---------------------|----------------|
| 1. 一人暮らし           | 2. 夫婦のみ             | 3. 二世世代家族（親と子） |
| 4. 三世世代家族（親と子と孫）以上 | 5. その他（具体的に： _____） |                |

4 あなたにお子さんはいますか？また、いる方は、一番上のお子さんの年ごろを教えてください。

- |                        |                   |                        |
|------------------------|-------------------|------------------------|
| 1. 子どもはいない             | 2. 未就学児（小学校入学前）   | 3. 小学生                 |
| 4. 中学生                 | 5. 高校生・予備校生・大学受験生 |                        |
| 6. 短大・高专・大学・大学院・専門学生など |                   | 7. 社会人（1～6に該当しない場合を含む） |

5 あなたの職業は？

- |                      |                |                     |        |
|----------------------|----------------|---------------------|--------|
| 1. 農林漁業              | 2. サービス業       | 3. 製造業              | 4. 建設業 |
| 5. 飲食業               | 6. 運輸業         | 7. 公務員・団体職員（役員含む）など |        |
| 8. 学生                | 9. 無職（主婦などを含む） |                     |        |
| 10. その他（具体的に： _____） |                |                     |        |

6 現在、あなたがお住まいの地域はどちらですか？

- |          |           |          |          |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. 相良・福岡 | 2. 波津・須々木 | 3. 大江・片浜 | 4. 大沢・菅山 |
| 5. 萩間    | 6. 地頭方    | 7. 静波    | 8. 細江    |
| 9. 川崎    | 10. 勝間田   | 11. 牧之原  | 12. 坂部   |

**次ページの設定問へのご回答もお願いします。**



**<日ごろ思うことを、なんでもお書きください>**

問 26 日ごろ暮らしの中で、感じていることや考えていること、市の取り組みやまちづくりに対するアイデアなど、ご自由にお書きください。




チャーフィン

**ご協力ありがとうございました。**

マキティー

お手数ですが、この調査票を同封の返信用封筒にお入れいただき、お近くの郵便ポストに**5月11日（金）**までにご投函ください。

平成 30 年度 牧之原市 市民意識調査  
報告書

発行：平成 30 年 6 月  
発行者：牧之原市

企画・編集：牧之原市役所 企画政策部 秘書政策課  
〒421-0495  
静岡県牧之原市静波 447 番地 1  
TEL 0548-23-0052  
FAX 0548-23-0059  
E-mail [seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp](mailto:seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp)  
<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/>